

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本①沖繩解答

沖繩の海

- 1 飛行機を降りると、ほおをなでる風はしっとりと湿っぽかった。そのとき私はあの色あざやかなサンゴ礁と様々な珍しい形の海洋生物に一目で魅せられた/心が奪われた。
- 2 沖繩の大海原は忘れがたいほどだ。海水はとてもすきとおっていて、40mの深さまで見通せる。(可視度は40mである)
- 3 日積月累 長い年月を経て
- 4 沖繩の海を流れる黒潮にはマグロなどの魚がいる。
- 5 外洋と交わる場所では色とりどりの熱帯魚が生い茂るサンゴの群れの中でたわむれている。
- 6 毎年多くの海外からのダイバーたちが期待を胸にしてはるばる遠くからやってくる。
- 7 河口のマングローブの沼や浜辺などもある。その中にはラムサール条約で保護されている沼も含まれる。
- 8 戦後実施された護岸工事の実施過程により、沖繩本島の樹木は絶えず伐採され減少してきて、今はほとんど残っていない/残り少ないほどだ。
- 9 ここにやって来て砂浜をきれいにしている(ビーチクリーンアップに参加する)ボランティアも多い。
- 10 自然環境を守り、次の世代にそれを伝えることが、一人一人の責任なのだ。

首里城

- 1 海外貿易の中枢
- 2 夜不閉戸 夜も戸締りをしないほど治安が良い
- 3 琉球特産のサトウキビ
- 4 薩摩藩士に伴われて
- 5 宝庫
- 6 オリジナルのまま伝えられてきた
- 7 中華文明の素晴らしさと日本文化の神髄が一つに溶け合っている
- 8 石と石との間に隙間を開け、斜めに積んだものである。
- 9 くねくね曲がって伸びており、四角形の石が垂直に積まれている。
- 10 シンボリック建造物-天守
- 11 それどころかそこで見られるものは屋根に劉の形をした飾りのある朱色の正殿である。
- 12 四つ指の龍
- 13 琉球国王が下座に座るジオラマ
- 14 片方は朱塗りで(赤い漆が塗られていて)、もう片方は塗られていない(白木のままだ)
- 15 左右非対称の美意識(美的センス)

- 16 天子は北に座って南を向く
- 17 一見（ぱっと見では）日中両国の文化が相いれない（溶け込んでいない）ようでもある。
- 18 日本以上に日本的なところもある
- 19 きらびやかだ
- 20 首里城見学がますます面白いこととなるのは間違いないだろう。
- 21 跡形もなくなった城跡に再建した（建て直した）ものだ。

沖縄美ら海水族館

- 1 海に面した坂の上に建てられた、ひな段状（台形）の建物の裏側は広々とした東シナ海で
- 2 この三つのコーナー（テーマ）は、浅瀬に分布するさんご礁、暖流（黒潮）にはぐくまれた豊かな海、深海の神秘的な世界に分かれている。
- 3 海底の地形が異なれば、棲む生物の特徴も異なる。
- 4 見学コース全体が深海をたわむれる夢の旅である。
- 5 大放异彩 異彩を放つ、際立った
- 6 世界一、または世界初といえよう。
- 7 当水族館の広報担当者
- 8 本当に海底にいるかのような錯覚をおこす。
- 9 透明度を維持するという前提の下、技術者たちは数層ものアクリル板を重ねて一枚に貼り合わせた。
- 10 「ギネスブック」に載った。
- 11 子どもたちにとって一番のお気に入りには迫力満点の（ダイナミックな）「イルカショー」
- 12 千姿百态 様々な姿の
- 13 全球变暖 地球温暖化
- 14 見学者一人ひとりが美ら海水族館で海の広大さと豊かさ、そして海洋生物の珍しさと大切さを実感していただければ幸いです。

ハーリー

- 1 沖縄のドラゴンボート（ハーリー）は十人一組だ。それはもちろんモーターボートレースのようにモーターを搭載しているものではなく、みな人力で漕ぐ。
- 2 れによって航海の安全（無事）と大漁を祈るのだ。
- 3 今年ここのトーナメントにおいて初めて予選を突破した。
- 4 彼らは海に舟を浮かべ、ポーっとしたり、だらだらしたりしないで一生懸命練習する。
- 5 一糸乱れず動くようになると、ボートは信じられないほどのスピードを出すようになる。
- 6 カジュアルウェアを着てサンバイザーをかぶった喜屋武キャプテンがはつらつとこう述べた
- 7 リーグ戦でも親善試合でも私たちは勝ち負けにこだわらない。

8 ボートが一瞬の間宙に浮き、海面を飛び、その瞬間のスリルこそがハーリー（ドラゴンボート）の醍醐味なのです。

リゾートホテルと民宿

- 1 一飽眼福 目の保養/見ているだけで癒される。
- 2 潮風がほほをなで、心が休まる（ほっとする）
- 3 沖縄屈指の高級リゾートホテル
- 4 私のような仕事中毒（ワーカホリック）も、海を臨むテラスに座ってココナッツミルクを飲みながら落ち着いたひと時を楽しんだ。
- 5 ビーチサンダルをはき、麦わら帽子をかぶってデッキチェアに寝そべりのんびりくつろいだり、ジェットスキーをしたり、みな思い思いに沖縄の海の恵みを楽しんでいる。
- 6 夜はブルースを奏でるサクソやトロンボーン、トランペットなどの音が楽しめる
- 7 岬の先端の林に隠れているコテージを選ぶのも悪くないだろう。
- 8 各棟はそれぞれが二人部屋のスイートルームだ。邪魔するものは何もなく、ただ静かに流れる時間だけがあり、何とも言えない心身の安らぎが沸き起こっ（何とも言えず癒され）てくる。
- 9 海の向こうの燃えるような夕焼け雲を独り占めするときは、このまま時間が止まってほしいと思うものだ。
- 10 そこは 2000 年に日本政府が主催したサミット会場からほど近い。
- 11 開催国（主催者）として、
- 12 筆者の泊まった木造家屋は島の普通の民家となんら変わらない。
- 13 空高く白い入道雲とサンゴ石の垣根の中にある赤瓦屋根の家は一幅の美しい絵になっている。
- 14 ここではルームサービスもランドリーサービスもモーニングコールもないが、沖縄の人たちならではの心の温かさ（人情）に触れることができ、がっかりして帰るようなことはないだろう。
- 15 地元のゴーヤー、パパイヤ等の栄養豊富で新鮮な食材
- 16 家常便飯 家庭料理
- 17 私が一番好きなのは口に入れるととろけるほど煮込んだ豚の角煮（ラフティー）だ。
- 18 動人心弦 心を動かされる
- 19 庭にしいたござに座って、ジャスミン茶（さんびん茶）を飲みながらご主人の弾く三線を聞いたりダイヤモンドのように輝く南十字星をみつめたりした

沖縄戦と米軍基地

- 1 日米両国が同盟を結んだ折、日本政府は米軍が沖縄本島に基地を建設することを認めた。
- 2 ヘルメットをかぶってジープに乗った米兵

- 3 鉄条網には「関係者以外立入禁止」の警告板がかかり
- 4 空母
- 5 花天酒地 酒と女に溺れ
- 6 興ざめ /場違い
- 7 目障り
- 8 学歴の低い海兵隊員、士官学校を出た士官や幹部、そしてその家族など
- 9 米軍は沖縄を封じ込めて(包囲して)砲撃を始め、多くの軍人や民間人が血の海に倒れた。
- 10 米軍による日夜の攻撃によって防空壕に隠れていた日本軍もほぼ壊滅状態になり、切羽詰まった/追い詰められた日本軍は「同胞」たる沖縄人さえも信じられなくなった。
- 11 この上なく軽い命
- 12 方言しか話せない地元の人には米軍のスパイ扱いされてその場で処刑されることも多かった。
- 13 軍と民間人との関係がうまくいかぬ日本軍は総崩れとなり/崩壊し、ついに投降せざるを得ない境地に追い込まれた。
- 14 米軍により引き続き沖縄は統治された。
- 15 やりたい放題の米軍のせいで憤りを感じた沖縄の人たちは反米運動をはじめざるをえず、武装蜂起を起こした。
- 16 沖縄はついに本土に返還されたが、完全な意味での「復帰」とは言えなかった。
- 17 平和を愛する沖縄の人にとって、米軍に依存し(頼り)続ける現状ほど情けないことはない。
- 18 ヘリポート移設
- 19 日本政府は態度を決めかね、この問題の解決を先送り/先延ばしにするだけだ。

中国語で学ぶ日本①沖縄 単語表現帳 氏名

1 しっとり湿っぽい/一目で魅せられる/ (成語)	
2 海水が透き通る/3 長い年月を経る (成語) 4 マグロ	
6 ダイバー/期待を胸にはるばるやってくる。	
7 マングローブの沼/8 護岸工事/伐採/	
7 ほとんど残らない (成語) /9 砂浜をきれいにする。	
10 次の世代にそれを伝える	
1 中枢/2 夜も戸締りをしないほど治安が良い。(成語)	
3 サトウキビ/4 薩摩藩士/5 宝庫/6 オリジナルの	
8 隙間を開ける/10 シンボルの建物/天守/12 四つ指の龍	
13 ジオラマ/朱塗り/17 一見/相いれない (成語)	
18 日本以上に日本的だ/きらびやか/首里城の見学	
1 台形/東シナ海/浅瀬	
2 海底の地形が異なれば、生物の特徴も異なる。	
21 見学コース/5 際立った (成語)	
6 世界一、または世界初といえよう。	
7 当水族館の広報担当者/10 「ギネスブック」に載る	
11 迫力満点の「イルカショー」/12 様々な姿形 (成語)	
13 地球温暖化	
14 見学者一人ひとりが実感していただければ幸いだ。	

1 モーターボートレース/2 モーターを搭載している	
2 これによって/3 トーナメント/予選を突破する	
4 ポーっとしたり、だらだらしたりしない	
5 一糸乱れず/信じられないほどの (各成語)	
6 カジュアルウェア/サンバイザー/キャプテン	
6 はつらつと (成語)。	
7 リーグ戦であれ親善試合であれ、我々は勝敗にこだわらない。	
8 その瞬間のスリルこそがハーリーの醍醐味だ。	
1 目の保養/2 心が休まる (成語)	
3 沖縄屈指の高級リゾートホテル/仕事中毒	
5 ビーチサンダル/麦わら帽子/デッキチェア	
6 トロンボーン/トランペット	
7 岬の先端の林に隠れているコテージを選ぶのも悪くない。	
8 スイートルーム/何とも言えぬ心身の安らぎが沸き起こる	
9 海の向こうの燃えるような夕焼け雲を独り占めする。	
9 このまま時間が止まってほしいと思う。	
10 日本政府が主催したサミット会場	
11 主催国/12 入道雲/赤瓦屋根の家	
14 ルームサービス/ランドリーサービス/モーニングコール	

14 温かい心/がっかりして帰る (成語)	
15 ゴーヤー/パパイヤ/栄養	
16 家庭料理 (成語)/ 17 豚の角煮/18 心を動かす (成語)	
19 庭にしいたござに座って、ダイヤモンドのような南十字星をみつめた	
2 ヘルメットをかぶってジープに乗った兵隊	
3 鉄条網/関係者以外立入禁止/4 空母	
5 酒と女に溺れる (成語)/ 6 興ざめ/7 目障り	
8 学歴の低い海兵隊員、士官学校を出た士官や幹部、そしてその家族	
9 米軍は沖縄を封じ込めて砲撃を始めた。	
10 防空壕/壊滅/切羽詰まる (成語)	
11 命がこの上なく軽い (成語)	
12 彼はスパイ扱いされてその場で殺された。	
13 軍と民間人との関係がうまくいかぬ/総崩れ (成語)	
15 やりたい放題 (成語)/武装蜂起/16 復帰 (二種類で)	
17 米軍に頼る/情ない/18 ヘリポート	
18 態度を決めかねる (成語) / この問題の解決を先送りにする。	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ地理②九州解答

長崎

- 1 細長い形の長崎湾は九州北西部に位置し、屏風のような山々に囲まれている。起伏ある山々の中にある街が長崎県の県庁所在地、長崎市だ。
- 2 異国情緒にあふれた（エキゾチックなムードあふれる）この街は、次々とやってくる各地からの観光客でひきもきらず、旅行シーズンになると黒山の人だかりとなる（人でごった返す）。
- 3 ちょうど鉄砲やカトリック、キャラメル、カステラなどが続々と西欧から日本に伝わったころ、
- 4 日本が外国から孤立していた鎖国期であっても長崎は日本唯一の貿易港だった。
- 5 たくさんのオランダの商船がここに停泊したもののだが、昔の商館、税関、入管、検疫所の建物などが当時の雰囲気を感じさせてくれる。
- 6 当時むさぼるように西洋の科学（蘭学）を学んだ日本の学者たちもここにきて新しい知識を補ったり先端技術に接したりしたものだ。
- 7 チューリップが植えられた庭からは、波止場で出航を待つ豪華客船も見渡せる。
- 8 夜の長崎港は、たくさんのルビーやサファイヤをはめこんだ宝石箱のようだ。
- 9 お盆のときには港で灯籠流し（精霊流し）も見られ、数えきれないほどのカメラマンたちを引きつける/呼び寄せる。

長崎華僑

- ① 長崎をそぞろ歩くと、どこに行っても中国文化の影響が感じられる。
- ② 一衣帯水 海を隔てただけの
- ③ 長崎と中国の関係は深く長い。いわゆる「黄帝の末裔」が残した足跡はあちこち/そこそこに見られる。
- ④ 華僑居住区の唐人屋敷では関帝廟や媽祖廟など、中国大陸ではあまり見られなくなった建物も残っているのだ。
- ⑤ 華僑の檀家が寄進して/お布施を集めて建てた興福寺や崇福寺などの寺院は明朝末期の様式を保っているため、国の重要文化財に指定されている。
- ⑥ 長崎の人々が長きにわたって受け継いできた結果である。
- ⑦ 当時長崎に住んでいた華僑たちは故郷に対する深い思いを抱き、ここに来て線香をあげ、家内安全や商売繁盛を祈ったものだ。
- ⑧ 中国の伝統文化は地元の人々の暮らしの隅々まで浸透した。
- ⑨ 麺にエビやイカ、モヤシ、キャベツ、チンゲン菜などの様々な具を入れて調理したものだ。
- ⑩ 「ちゃんぽん」という言葉は特に「色々なもののごちゃまぜ」を指す代名詞にさえなっ

ている。

- ⑪ 長崎の人がお祝い事や一席設けておもてなし/接待をする時によく食べる「卓袱（しっぽく）料理」
- ⑫ 唐人屋敷からぶらぶら（気の向くまま）歩くと、つきあたりからほど近いところが中華街だ。
- ⑬ 多くの華僑が、故郷に錦を飾るために一生懸命働いたものだ。
- ⑭ 長崎の人たちは中華街にランタンを飾るいわゆる「長崎ランタンフェスティバル」で旧正月を祝い始めた。
- ⑮ 長崎には清の僧侶が寄進したアーチ形の橋があり、眼鏡橋と呼ばれているが、それは石橋の橋脚が川面に映ったとき、眼鏡のように見えるところから名づけられた。
- ⑯ お墓の入り口にはアーチ状の門と「土神」と彫られた四角い石碑があるが、それらはみな福建省南部のお墓の形式を模して作ったものだ。
- ⑰ 長寿の意味を込めた桃の饅頭やカステラを食べる習慣も広まっている。
- ⑱ 国際結婚を通して海外に親戚のいる人もよくいる。
- ⑲ 无处不在 ないところはない
- ⑳ 昔ながらの風情/情緒や風習に触れたいのなら、
- 21 安歩当車 車の代わりに歩く
- 22 長崎は道路が狭いので車が乗り入れできず、坂が多いので自転車でも疲れるからだ。

長崎とカトリック

- ① 天使やマリア様など、カトリックの教えをテーマとしたステンドグラスはとりわけ美しい
- ② 人々は石畳に沿って天主堂に行き、礼拝したり讃美歌をうたったりする。
- ③ 傷風敗俗 風紀を乱すもの
- ④ 地元の仏教徒たちは実にひどい目にあわせられた。
- ⑤ キリシタン文化の最盛期だった 17 世紀初め、国内問題と外国の侵略を憂慮した江戸幕府は、キリシタンが国や民に災いをもたらすと考えて禁教令を出した。
- ⑥ 宣教師は国外追放となり、たとえ捕まって牢屋に入れられてもカトリックの教えをかたく信じたため、殉教したキリシタンもいた。
- ⑦ 「上に政策があれば下に対策あり」、という考えで仏教徒を装い/のふりをし、仏像の前にひざまずくことで本当の信仰を隠した人/隠れキリシタンもいた。
- ⑧ 松倉は着任するや民を威嚇して、残忍な手段でキリシタンを弾圧した。反抗したものは捕まえて市中引き回しの上、見せしめに殺された。
- ⑨ さらに民の血と汗の結晶の年貢をしばりとり続けたりした。
- ⑩ このような徹底して/強引に税を搾り取るやり方に、民のいかり/うらみは募った。ついに十代の少年天草四郎のもと、幕府と本格的に戦うことにした。

- ⑪ 日本中を揺るがした（震撼させた）「太平天国」は
- ⑫ 死んだほうがましなぐらいの境遇
- ⑬ かつての殉教者を称える（偲ぶ）ために
- ⑭ 日本政府がようやくキリシタンを許可/解禁し
- ⑮ 欢天喜地 喜び浮かれて

有田

- ① 日本における磁器発祥の地
- ② ある小春日和の日に
- ③ 漆喰を塗った土蔵/白壁の倉や磁器の直売店が軒を連ね、入口の傘立てや郵便受けも全て陶磁器でできている。店の中は染付（青い模様の磁器）や色とりどりの彩色磁器が所せましと並び、賑やかだ（逸品ぞろいだ）
- ④ 各種の顔料がきちんと並んでいる
- ⑤ 一つ一つの収蔵品が小さな町の歴史を詳しく語りかけてくれる。
- ⑥ ここが昔から人々にぎわった町だということが一目でわかる。
- ⑦ 付近には玉石混交の/当たりはずれがある骨董品街もあるが、玄人でなければ新品を買うのをお勧めする。
- ⑧ 焼き物工房では、まきをくべながら火加減をみている観光客が数人いる。ここは観光客も心ゆくまで焼き物の楽しさが体験できる所だったのだ。
- ⑨ ひっきりなしに目にうつるのはみな磁器に関するものばかりで、はっとさせられる。
- ⑩ 入口に立つ鳥居、狛犬や灯籠、御守りなど、磁器でできていないものはない。
- ⑪ この独自の趣向をこらした神社は現地の磁石場を最初に採掘した朝鮮の陶工、李参平を祀ったところだ。
- ⑫ 彼は仕方なく（不本意ながらも）悔しさをこらえ、有田に居を構えてから無尽蔵の/取り尽くせないほどの磁石場を発見した。
- ⑬ 九牛二虎之力 並大抵でない努力
- ⑭ グローバルスタンダード
- ⑮ 後世の者（彼らの後輩）たちはずっとこの伝統を守っているのだ。

日本の「裏玄関」、薩摩

- ① 長崎の輝かんばかりの光の下では目立たないが
- ② ここは秦の始皇帝が三千人の少年少女を率いた徐福を遣わし、不老長寿の薬を求めて海を渡った船がたどり着いた場所の一つである。
- ③ 徐福一行が海を渡ってたどり着いた霊山の上には高さ 6m の石像が東シナ海を見渡している。
- ④ リアス式海岸が延々と続く

- ⑤ 僧侶は戒律によって受戒するわけにはいかなかった
- ⑥ 日本文化史上の転換点/ターニングポイント
- ⑦ 薩摩藩に経済的利益をもたらしたのは、その多くが琉球経由の東南アジア交易および沿海諸国との密貿易である。
- ⑧ T字路には「石敢当」と書かれた魔よけのための石が立っている
- ⑨ なんとといっても「薩摩焼」だろう
- ⑩ 李朝白磁のようでもあるが、独特な光を放つ作品
- ⑪ 独立した/単独の地方政権として出展した
- ⑫ 薩摩藩が他藩に先駆けて欧米事情を理解するようになったきっかけは「薩英戦争」である。
- ⑬ 薩摩藩主の大名行列にぶつかった。
- ⑭ 藩主に対するこうした無礼な/ありえない行為をした者を成敗すべく、お付きの侍は英国人を切り捨てた。
- ⑮ それまで薩摩藩は蘭学を研究し、欧州の技術者を雇っていた。近代製鉄技術を持っていた薩摩藩は善戦したとはいえ、欧米列強の本当の軍事力に呆然とさせられた。
- ⑯ お雇い外国人の招聘など、一連の近代化政治改革の実施を、薩摩藩は二十年も早く採用していたのだ。
- ⑰ 長崎が江戸時代の外交の表玄関ならば、裏門の薩摩もしっかりと西洋の最新情勢を把握していたのだ。
- ⑱ 饮水思源 先人の苦労を思うべきだ。



中国語で学ぶ日本②九州 単語表現帳 氏名

1 県庁所在地/2 エキゾチックなムードあふれる街	
2 旅行シーズン/人でごった返す（成語）	
3 鉄砲/キャラメル/カステラ/4 鎖国	
5 税関/入管/検疫所	
6 むさぼるように（成語） /知識を補う/先端技術	
7 ベランダ/チューリップの植わった畑/波止場	
7 出航を待つ豪華客船 8 ルビー/サファイヤ/宝石箱	
9 カメラマン/	
2 海を隔てただけの隣国（成語）	
3 「黄帝の末裔」が残した足跡はあちこちに見られる。	
5 檀家が寄進して建てた興福寺/重要文化財	
7 線香をあげる/8 暮らしのすみずみに浸透する	
9 ちゃんぽん（20-30字の中国語で説明）	
10 代名詞（比喻）/11 お祝い事/一席設けて接待する	
12 中華街/13 故郷に錦を飾る（成語）/14 ランタン	
15 それは眼鏡のように見えることから名づけられた。	
18 国際結婚を通して海外に親戚のいる人	
19 ないところはない/20 昔の情緒に触れる	

21 車の代わりに歩く（成語）／22 車が入らない。	
1 ステンドグラス／2 石畳／3 風紀を乱す（成語）	
4 仏教徒たちが実にひどい目にあつた。	
5 国内問題と外国の侵略/ 国や民に禍をもたらす（各成語）	
6 宣教師は国外追放となった/殉教する（成語）	
7 上に政策があれば下に対策あり	
8 仏教徒を装う/ 仏像の前にひざまづくことで本当の信仰を隠した。	
8 威嚇する/市中引き回しにする/見せしめに殺す。	
9 徹底して税を搾り取る/10 怒りがつのる（成語）	
12 死んだほうがまし（成語）/13 殉難者/14 解禁する	
15 喜び浮かれる（成語）	
1 発祥の地/2 小春日和/3 漆喰を塗った土蔵／直売店	
3 傘立て／郵便受け／染付け/色とりどりのものが並ぶ（成語）	
5 一つ一つの收藏品／6 人々の往来でにぎわう（成語）	
7 当たりはずれのある（成語）/骨董品街／玄人	
8 まきをくべながら火加減をみていた/10 鳥居/狛犬	
10 御守/11 独自の趣向をこらした神社	
11 最初に採掘した陶工	
12 不本意ながら悔しさをこらえる/12 無尽蔵（各成語）	

13 並大抵でない努力（成語） / 14 グローバルスタンダード / 15 後輩	
1 輝かんばかりの光の下 / 2 不老長寿 / 3 東シナ海を見渡す	
4 リアス式海岸が延々と続く / 6 ターニングポイント	
7 密輸 / 8 T字路 / 9 なんといっても薩摩焼だ	
10 独特な光を放つ / 11 出展する / 13 大名行列 /	
14 切りつける / 15 善戦する / 16 呆然とする / 16 お雇い外国人	
17 表玄関⇔裏口 / 18 先人の苦勞を思うべきだ（成語）	

通訳案内士試験道場中国語で学ぶ日本③中四国解答例

松山

- ①美しくひっそり静かな/落ち着いたこの街では、ちんちん電車（路面電車）が主な交通機関（手段）である。
 - ②古色古香 古い味わいのある/古き良き味わい
 - ③ここでは清潔な浴衣とタオル（手ぬぐい）を貸し出していて、気持ちよく一風呂浴びることができる。
 - ④オフシーズン（閑散期）でも、一日中人の流れは途切れない。
 - ⑤俳句は日本伝統の短い詩で、わずか十七の音節で構成されていて、季語も含まれる。
 - ⑥句は短い、練り上げた言葉がむしろ作者の気持ちと奥深い思想を凝縮して/ぎゅつと詰まっている。
 - ⑦松尾芭蕉が日本各地を遍歴（行脚）しながら残した紀行文の一つである。
 - ⑧通俗易懂 誰にとっても分かりやすい
 - ⑨弦外之音 言外の意味・含み
 - ⑩俳句には韻を踏んだりする複雑なルール/決まりはない。
 - ⑪やや風刺をこめたユーモア小説「坊ちゃん」
 - ⑫一本気（竹を割ったよう）な青年
 - ⑬彼と意気投合し、力を合わせて上司に立ち向かう
 - ⑭表里如一 裏表のない
- 17 彼らと水と油のように相いれない教頭はきれいごとばかり言う腹黒い人物だ
- ⑮教頭におべっかを使い（こびへつらい）、彼の手先になる美術教師、またどっちつかずの校長
 - ⑯非常に個性的な（アクが強い）キャラクター
 - ⑰ぬくもりを感じさせてくれる心の故郷である。

出雲・松江と小泉八雲

- ①山清水秀 山紫水明/風光明媚
- ②男女の仲を取り持ってくれる、縁結びの神
- ③このように壮大な神社が建てられるのかどうか。これはかつて多くの研究者が疑問を呈していたことだ。
- ④そして古文書に記載されているその巨大な建築はもしかしたら存在したのかもしれない、ということで、世の人々の注目を集めた。
- ⑤晴れの日には美しいことこの上ない夕陽が湖面に映え、曇りでも霧（もや）が立ち込め、また格別な風情である。

- ⑥この湖は水が流れていて、橋が数本南北にかかっている。その下流にあるのが島根の県庁所在地、松江市だ。
- ⑦松江は蘇州にもたとえられる詩や絵になりそうな水の都である。縦横に行きかう堀は、松江の交通手段として役立っている。
- ⑧当時彼がこの極東の神秘的な国に来たのは、単に創作のインスピレーション/ひらめきと新しい文学的素材を見つけるため、ここで放浪の半生に終止符を打ち、日本で晩年を送ろうとは思っていなかった。
- ⑨しかし住めば都で、彼は松江滞在時にこの素朴で飾り気のない気風とおとなしい（素直な/やさしい）民衆に強く心を打たれた。
- ⑩詩的な味わいのある松江と出雲の田舎をテーマとして、
- ⑪自分が死んでから、日本の妻子に遺産を残せるように、彼は小泉家の養子になって帰化し「小泉八雲」と名乗ることに決めた。
- ⑫日本文化に心惹かれた（傾倒した）作家でもあり、学者でもある。
- ⑬何を考えているかわけが分からない
- ⑭よってたとえ取り乱しているときでも顔にはちゃんと笑顔を浮かべるのだ。これはごまかしなどではなく、相手のことを思いやっているのである。
- ⑮外国人にとって日本人の多くは何をするにも引っ込み思案で、風変わりな習慣を守っているように見えるため、日本人の心の奥底は理解しがたい。
- ⑯日本人でもうまく説明がつかない日本の風習
- ⑰日本を利用してうまい汁を吸うにすぎない。

広島

- ①ゴジラは元々水爆実験により偶然に生まれた怪獣だ
- ②無情に町を破壊した。
- ③そこはかつて長崎とともに、思いもよらぬことに原爆を投下された。
- ④あたり一面たちまち見るに忍びない一面の死の海と化し、同時に 15 万もの尊い命を奪った。
- ⑤たとえ血の海の中、嗚咽して（泣き叫んで）助けを求める人をみても救いの手を伸べることができない。自分のことで精いっぱいなのだ。
- ⑥习以为常 慣れっこになる
- ⑦原爆は罪のない人々の家をめちゃくちゃにし、死んだほうがましだというような思いまでさせた。また彼らの心にこの上なく深い傷をおわせた。
- ⑧雪上加霜 追い打ちをかけるように
- ⑨九死に一生を得た人々も、放射能の後遺症に直面した。
- ⑩千羽の折鶴を糸でつないで「千羽鶴」を作る。
- ⑪それは元々病人にあげて早くよくなることを祈るものだったが、後に多くの子供が放

射能のため亡くなったので、それを子供の彫像の足元にそなえ、平和を祈るようになったのだ。

⑫追悼式典

⑬彼らの魂があので安らかに眠られるように祈るのだ。

⑭今は平和なこの地で、かつては身の毛もよだつほどのこの世の地獄（惨劇）が繰り広げられたということを、我々は決して忘れてはならない。

⑮东山再起 立ちなおる

吉田松陰

①現代人にはこの萩のような小さい町から、かつて近代日本史上の風雲児たちを輩出したことが想像しがたいかもしれない。

②英国は緒戦で圧勝し、列強は中国の国土を侵略・分割し始めた。

③列強は虎視眈々と日本をねらい、江戸幕府は目覚めざるをえなくなった。

④軟弱で弱腰な江戸幕府と強圧的な列強によって、吉田松陰は危機感を抱かざるをえず（足元に火がつき）旧態依然とした考えの幕府を倒すことにした。

⑤当時の思想的リーダーであった松陰は、萩に戻り、一棟 50 平米だけの木造平屋建ての塾で教鞭を取った。

⑥彼は並みならぬ気概の持ち主で心意気と志あふれる人物だった。よって多くの闘志あふれる侍たちが彼を慕い弟子となった。

⑦ずっと草深い僻地/在野にあっても彼はたゆまず向上しようとし、自己研さんに努めた。こうして教鞭をとる時にも深い内容もかみくだいて、わかりやすく教えた。

⑧近朱者赤，近墨者黒 朱に交われば赤くなる

⑨彼の思想の影響で多くの熱血漢たちが志士となった。

⑩維新の中心人物がまだ「青二才」だったころ

⑪畳の上で死ぬ（大往生でき）なくても、世のため人のためなら喜んで命を捨てようと普段は言いつつ、両親に親孝行できないことが恥ずかし/やるせなかった。

⑫ 后继有人 跡を継ぐ者がいた

⑬討幕派が何度かの戦の教訓をまとめて分かったことは、開国して国費留学生を派遣することで欧米に学び、富国強兵を行うことでしか列強に対抗することはできないということだった。

⑭このようなのんびりした中でも過ぎ去った日々の脈打つ音がするのだ。

日本史の名脇役、瀬戸内海とその海の民

① 見飽きることはない

②潮の流れは穏やかだが、急になるところもある。

③かじ取りが潮の流れに熟知していなければ潮に流される恐れがある。

- ④潮の流れに熟知した瀬戸内海の海の民を味方につけなければ
- ⑤この周辺海域では数多くの政界や宗教界の指導者を生み出した。
- ⑥彼らはこの海域が強くて豊かな唐とつながっていると実感していたことだろう。
- ⑦朝廷という「陸地の王」は、純友という「海の王」を平定するのに心血を注いだことが見て取れる。
- ⑧彼は各地に税関を置いて徴税し、神戸港を国際港として開いた。
- ⑨生まれた子ども、すなわち次の天皇を操り、朝廷のまつりごとを独占する
- ⑩第三者を利用して敵を倒す
- ⑪天下統一を図った織田信長さえも大敗を喫した。
- ⑫いつの時代であってもいかにして瀬戸内海の民をてなすける（懐柔する）かというのが陸の王の悩みの種であった。
- ⑬見方を変えると
- ⑭将軍の代が変わるたびに朝鮮は祝賀のための使節団を送った。
- ⑮通り道
- ⑯絶賛する
- ⑰明治維新のゆりかご（ふるさと）
- ⑱列強に対し素早く対処できたのも彼らが海の民だったからである。
- ⑲「名脇役」だったのはこの穏やかな海の民だったのだ。

通訳案内士試験道場中国語で学ぶ日本③中四国 氏名

① 路面電車／交通機関	
② 古い味わいのある（成語）③浴衣をレンタルする	
④オフシーズン	
⑤俳句（20字前後の中国語で説明せよ）	
⑥凝縮／⑦行脚／紀行文	
⑧誰にとっても分かりやすい／	
⑨言外の意味（各成語）	
⑩韻を踏む/複雑なルール	
⑪やや風刺をこめたユーモア小説	
⑬彼と意気投合し、力を合わせて上司に立ち向かう	
⑭裏表のない	
⑰水と油のように相いれない（各成語）	
教頭/きれいごとばかり言う腹黒い人物。	
⑮おべっかを使い、彼の手先になる	
⑮どっちつかずの（成語） /	
⑯アクが強いキャラクター	
⑰ぬくもりを感じさせてくれる心の故郷	
① 風光明媚（成語）②縁結びの神	
③このように壮大な神社が建てられるのかどうか。	
④もしかしたら本当に存在したのかもしれない。	

⑤美しいことこの上ない夕陽が湖面に映える。	
⑤霧が立ち込め、また格別な風情である。	
⑦詩や絵になりそうな水の都/縦横に行きかう堀	
⑧インスピレーション/放浪の半生/晩年を送る	
⑨住めば都/素朴で飾り気のない気風/おとなしい民衆	
⑪彼は小泉家の養子になって帰化した	
⑫日本文化に心惹かれる作家でもあり、学者でもある。	
⑬何を考えているのかさっぱりわけが分からない (歇后语)	
⑭これはごまかしなどではなく、相手のことを思いやる行為なのである。	
⑮何をするにも引っ込み思案で、風変わりな習慣を守っている。	
⑯日本人でもうまく説明がつかない日本の風習	
⑰うまい汁を吸う	
① 水爆実験/③思いもよらぬ/原爆が落ちる	
③ たちまち見るに忍びない一面の死の海と化した	
④ 十五万もの尊い命を奪った。	
⑤ 救いの手を伸べられない/ 自分のことで精いっぱい (成語)	
⑥慣れっこになる/⑦死んだほうがまし (各成語)	
⑧更に悪いことに/⑨九死に一生を得る (各成語)	
⑩⑪千羽鶴 (20-30字の中国語で説明)	

⑫追悼式典／	
⑬あの世で安らかに眠られるように祈る	
⑭身の毛もよだつほどのこの世の惨劇	
⑮立ち上がる（成語）	
① 風雲児/②緒戦で大勝する（対になる成語）	
⑥ 軟弱で弱腰な江戸幕府／危機感を抱く（成語）	
⑦ 木造平屋建ての塾/⑧侍が彼を慕い弟子入りする	
⑦草深い僻地にいるが/深い内容も易しく説く（各成語）	
⑧ 朱に交われれば赤くなる（対になる成語）	
⑨ 熱血漢/⑩中心人物/青二才/⑪畳の上で死ぬ（比喩）	
⑪ 世のため人のため命を捨てる（成語）	
親孝行できないのを恥じ入る/⑬討幕派/開国/	
① 見飽きることはない/③かじ取り/潮の流れ	
③潮に流される/④海の民を味方につける	
⑦見て取れる（成語）⑧徴税する/	
⑨天皇を操り朝廷のまつりごとを独占する	
⑩ 第三者を利用して敵を倒す（成語）⑫いつの時代でも	
⑫彼らをてなずける政策をとる/⑬見方を変える	
⑬ 通り道/⑭絶賛する（各成語）/⑮ゆりかご/⑯脇役	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本④関西解答

奈良

- ① 古都奈良は、京都と並び称される日本の有名な観光地だ。
- ② それは中国の都市、長安をモデルに造られ、街並（都市設計/区割り）は碁盤の目のようにきちんと整備されている。
- ③ 中国ではすでに廃れた文化財や伝統行事
- ④ 举世无双 並ぶものがない
- ⑤ 名列前茅 トップクラスの
- ⑥ 鹿の群れが人間たちの周りを堂々と(のしのしと、我が物顔で)行き来する
- ⑦ 参道を歩いていると、物を売る（売り子の）声が耳に入った。
- ⑧ “鹿せんべい”は米のぬかと小麦粉を原料として焼き上げた鹿のえさだ。筆者は呼び声に足をとめ、「鹿せんべい」を買った
- ⑨ いきなり待っていましたとばかりに十数匹の鹿に囲まれた。
- ⑩ 鹿煎餅はたちまち鹿の胃袋に入ってしまった。
- ⑪ 犹如迷宫, 迷路のようだ
- ⑫ 突然災難が振りかかって、これらの身代わりざるが我々に代わって災難を引き受けてくれる。

神戸

- ① 満載のコンテナ船が、神戸港で出入港/いかりを上げたりおろしたりする。
- ② 一览无余 一望できる
- ③ この神戸という都市にあふれる国際色豊かな文化を垣間見る/に触れることができる。
- ④ ユダヤ教会/シナゴーク
- ⑤ 数人の修道士
- ⑥ スカーフを巻いた女性が数人、荘厳なイスラム教のモスクに入っていくのを見た。
- ⑦ 日本酒はコメを蒸らしてから麴を入れて発酵させ、こして飲む酒である。
- ⑧ 漢詩は日本の中高生にも必須科目だそうで、これらの漢詩もよく知られている。
- ⑨ 「コシヒカリ」の産地新潟県で造った日本酒
- ⑩ マグニチュード7.3
- ⑪ 生離死別 生き別れになる
- ⑫ 頑丈な橋も崩壊し、火災が相次いだ。被災状況は一刻を争うにもかかわらず消火活動はなかなか進まなかった。
- ⑬ 灰心丧气 気を落とす/意気消沈
- ⑭ 失魂落魄 うなだれる/生ける屍のように
- ⑮ 神戸の人たちは直ちに地元の復興/復旧事業に取り組んだ。

- ⑯ 被災者の救助に当たる
- ⑰ ボランティア活動で人と人とのつながり（絆）の尊さを実感した（しみじみ/つくづく感じた）。そこから損得勘定なしに社会への恩返しに力を尽くした。
- ⑱ 全世界の被災地で物資援助と募金（義捐金）活動を展開している。
- ⑲ 各国に地震に警戒するように呼びかけ、耐震（免震）建築の普及を推し進めている。

大坂城と戦国時代

- ① 下剋上の戦国時代
- ② 彼は二重人格だった（二つの顔があった）
- ③ 横暴で権勢を張り、好戦的な独裁者
- ④ 過去にとらわれず、思い切って行動する進歩的な（進取の気質をもつ）人物
- ⑤ わずらわしい礼節を軽んじ、奇をてらうよう（奇抜）な恰好を好んだ。
- ⑥ 敬而远之 敬遠する/距離を置く
- ⑦ 信長は地に足がついた（現実的に問題を解決する）人材を重んじ、豊臣秀吉が名もない足輕のころからその能力を高く買っていた。（一目置いていた。）
- ⑧ しかし突然風向き/情勢が変わり、不満を抱く家臣の謀反に遭い、京都で非業の死を遂げた。
- ⑨ 彼は幼少のころから苦勞人だった（苦勞に苦勞を重ねていた）が、この無一文の貧乏人が織田家に仕えること/使用人になった。
- ⑩ 処世術に長けていた/世渡り上手だったため、武士の家に婿入りしてから、彼の名声はますます高まった。
- ⑪ 所向无敌 向かうところ敵なし
- ⑫ 自分の家系図を改ざんして
- ⑬ なんと彼は大胆にも世界征服を唱えて
- ⑭ 彼のこの「雄大な計画」ははかない夢と消えた。
- ⑮ 再び情勢が高まり/緊迫し始めた。
- ⑯ 徳川家康とにらみ合い/対峙し、
- ⑰ 心理作戦
- ⑱ 徳川家康に降参して和平（講和）を求めた。
- ⑲ 大阪市役所が資金を集り、本丸にそびえる威風堂々とした天守閣を復元した。
- ⑳ 細かいところの金色の装飾は、よく調和がとれて美しい。豪華で力強くもある。
- ㉑ 地位や身分の高い人しか入れなかった。
- ㉒ 今ではここを訪れる全ての人に対して門戸を開き/一般開放し、歓迎している。

大阪人

- ① 大阪の人は明るく開放的で、世話好きなためつきあいやすい。

- ② 大阪人がいれば自分からボケたりしてコント（漫才）が始まり、笑いをとる。
- ③ 彼らは手間暇をかけないことを重んじ、
- ④ 事半功倍 費用対効果・コストパフォーマンスの高さ
- ⑤ 脚踏实地 地に足がついた
- ⑥ 商人たるもの仏頂面で役人風を吹かせたりしても、時間の無駄なだけで儲からない。
- ⑦ 寄席・演芸場
- ⑧ 涙もろい観客が好きな大阪伝統の浪曲
- ⑨ 怨み悲しみがこもった/哀調帯びた節回しと独特なリズムでうなる（語る）。
- ⑩ 出し物の演目の多くが男女の心中や、義理と人情の間で板挟みになった人々の複雑な心などである。
- ⑪ 本格的に始まる前の、客がまだそろわないときには、座がしらせないように新人の噺家が前座を務める。
- ⑫ 彼らは巧みな話芸で笑いを取り、最後に笑い声の中でうまくオチをつける（しめる）。
- ⑬ とりはたいてい真打ちとよばれるベテランが行う。
- ⑭ アーケード街
- ⑮ たこやき、お好み焼き、豚まんなど、たくさんの飲食店がここでしのぎを削っている。
- ⑯ 京の着倒れ、大阪の食い倒れ
- ⑰ 舌の肥えた/グルメな大阪人たちが、いまなおこの軽食に思い入れが深い。

近江八幡

- ① 渡し船の船着き場
- ② 故郷を後にし、実業界に身を投じた近江商人たちは数限りない。
- ③ 商売上手な近江商人が人に与える印象といえば、頭は切れる/頭の回転は速いが、計算高さが徹底している人/ビジネスライクに徹している人であろう。
- ④ このようなレッテルを張る/決めつける見方には、私は感心しない（どうかと思う/賛成しかねる）。異議を唱えないわけにはいかないのだ。
- ⑤ 危ない橋を渡る/危険を冒すだけの守銭奴
- ⑥ 梅雨明け
- ⑦ 現在一般公開（開放）されており、観光客も見学できる。
- ⑧ 蚊帳や布団などの寝具のメーカーであり、チェーン店の経営もする
- ⑨ この屋敷では意外に室内装飾もきわめて簡素で、想像していたような豪華なものは見られなかった。
- ⑩ その高い屋根を支える太い梁と黒光りする柱、庭の素朴な庭石と飛び石などは、世故にたけた（世の中を知り尽くした）者の人生哲学を理解するに十分だった。
- ⑪ 売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」
- ⑫ 「出る杭は打たれる」、「情けは人のためならず」

- ⑬ 陳腐に見えながらも実に重み/深みのある言葉だ。
- ⑭ 所見所聞 見聞きしたところでは
- ⑮ 正人君子 聖人君子
- ⑯ 仕事に励み、儉約家で、なおかつきちんとした哲学を持った商人なのだ。

日本人の心のふるさと、熊野

- ① 試しにネットで「日本人の心の故郷」と検索してみると
- ② 奈良の町のあちこちを歩き回る
- ③ 純朴な田園風景が一望できる
- ④ 唐風の壁画
- ⑤ 奈良以南の山岳地帯にまで行き着く／さかのぼる
- ⑥ ここでは「基層文化」の上に文化が重なる面白い土地であることがうかがい知れる
- ⑦ うっそうとした木々の生い茂る紀伊山地
- ⑧ ヒキガエルの形をした巨大な岩は神の乗り移った依り代（よりしろ）/神聖なるものであり、これがいわゆる「磐座信仰」である。
- ⑨ 手に松明（たいま）をもって坂を駆け下りる
- ⑩ 黒潮が押し寄せる
- ⑪ 鯨ショー
- ⑫ 三重塔越しに滝を拝む
- ⑬ グローバルな文化

中国語で学ぶ日本④関西 単語表現帳 氏名

① 京都と並び称される日本の有名な観光地	
② 都市設計は基盤の目のようにきちんと整備されている。	
③ すでに廃れた文化財や伝統行事/ ④ 並ぶものがない (成語)	
⑤ トップクラスの/⑥堂々と行き来する (各成語)	
⑦物を売る声が耳に入った。⑧鹿のえさ	
⑨十数匹の鹿に囲まれた	
⑩ 鹿の胃袋に入ってしまった。	
⑪ 迷路のようだ (成語) ⑫災いが突然降りかかる	
① コンテナ/いかりを上げたりおろしたりする。	
② 一望できる (成語) ③国際色豊かな文化	
④ ユダヤ教⑤修道士⑥スカーフを巻いた⑦モスク	
⑦ 日本酒 (20~30 字の中国語で説明)	
⑧ 漢詩/必須科目/よく知られている。	
10 マグニチュード 7.3⑪ 生き別れになる (成語)	
12 被災状況は一刻を争う/消火活動はなかなかすすまない	
⑬気を落とす⑭うなだれる (各成語)	
⑮ 地元の復興事業に取り組む⑯被災者を救援する	
⑰ボランティア活動で人と人との絆の尊さをしみじみ感じた。	

⑰ 損得勘定なしで社会への恩返しに力を尽くす。	
⑱ 被災地/⑲地震に警戒するように呼びかける。	
20 耐震建築の普及を推し進める。	
1 下剋上（成語）／2 二重人格	
4 思い切って行動する進歩的な人物	
5 奇抜な恰好/6 敬遠（各成語）	
7 現実的に問題を解決する／名もない足軽（各成語）	
7（人の）能力を高く買う／8 不満を抱く	
9 苦勞に苦勞を重ねていた（成語）／無一文の貧乏人	
10 世渡り上手の／11 向かうところ敵なし 12 家系図	
13 世界征服を唱える（成語）／13 はかない夢	
15 再び情勢が高まり始めた／17 心理作戦	
19 市役所が資金を集る	
19 本丸にそびえる威風堂々とした天守を復元した。	
1 世話好き／つきあいやすい	
2 自分からボケたりして漫才が始まり、笑いをとる。	
3 手間暇をかけない/4 費用対効果の高さ/ 5 地に足がついた（各成語）	
6 仏頂面で役人風を吹かせる／儲からない。	
7 寄席 8 涙もろい／浪曲	
9 節回し/10 出し物の演目／男女の心中	
10 義理と人情の間で板挟みになる	

11 座がしらける／新人／前座を務める	
12 話芸で笑いを取る／オチをつける。	
13 トリ（を務める）／14 アーケード街	
15 たこ焼き／お好み焼き	
16 京の着倒れ、大阪の食い倒れ	
17 舌の肥えた	
2 渡し船の船着き場/故郷を後にする（成語）	
2 実業界に身を投じる/数限りない（成語）	
3 商売上手／頭が切れる	
4 決めつける/感心しない／異議を唱える	
5 危ない橋を渡る（成語）／守銭奴／6 梅雨明け	
7 一般公開 8 寝具のメーカー／チェーン店	
10 梁／庭石と飛び石／世の中を知り尽くした（成語）	
12 出る杭は打たれる／情は人のためならず（各成語）	
13 陳腐に見えながらも実に重みのある言葉	
1 試しにネット検索する/3 町のあちこちを歩き回る	
6 うかがい知れる/8 ヒキガエル/神の乗り移った依代	
9 松明/10 黒潮が押し寄せる/11 伝説の信憑性はさておき	
11 確かに荒波を超えて来た人がいた/三重塔越しに滝を拝む	

通訳案内士試験道場中国語で学ぶ日本⑤京都解答例

- 1 举世瞩目 世の注目を集める
- 2 数不胜数 数えきれない
- 3 四通八达 交通の便が良い
- 4 南北を貫く朱雀大路を軸にして左京と右京に分け、左京は洛陽を、右京は長安をモデルに建設した。
- 5 漢字の偏とつくり、部首や、一部の草書体をとって作った
- 6 上の句と下の句からなる短い詩で、たいてい日本人は何首かそらんじることができる。
- 7 山盟海誓 永遠の愛を誓う
- 8 不倫、浮気
- 9 まずは斬新なデザインの京都駅に行くことをお勧めする。その観光案内所では相談に乗ってくれるからだ。

清水寺

- ① 泉の水は三つに分かれ、それぞれ長寿、健康、知恵を表わしており、
- ② 参拝客はここを通ると必ず一口その水を飲む。無病息災のご利益があるというのだ。
- ③ 12幅19m、奥行き16mである。
- ④ 高さ13mの丸い柱139本で支えている。
- ⑤ 一か八か（背水の陣）で思い切って（捨て身で）やる時
- ⑥ 神社と寺は本来全く関係ない別々の宗教だ。
- ⑦ 国内外の観光客が連れ立ってぶらつき、身振り手振り/ジェスチャーで値切っている/値段交渉をする。
- ⑧ 舞妓に扮した（舞妓のコスプレをした/変身した）

祇園

- ① 妓楼が集まる花街/色街
- ② 顾名思义 文字通り/読んで字のごとく
- ③ 客にお酌をし
- ④ 多才多艺 多芸多才
- ⑤ 艶やかに着飾り恥ずかしげに微笑みを浮かべる舞妓に運よく出会えたときには、まるで時間が逆戻りしたかのような感じがする。
- ⑥ 芸妓の修業（見習い）中
- ⑦ 「若旦那衆」のなかには妄想（勘違いなことを期待）する人もいて

- ⑧ それは全く勘違い（お門違い）で、芸妓という仕事は「芸は売っても体は売らない」のだ。
- ⑨ 芸妓らはとても教養にあふれ、
- ⑩ 琴棋书画 文化人のたしなみ
- ⑪ まず話し上手でなければならず、賢く気が利かねばならない。
- ⑫ 口が堅くなければならない。
- ⑬ お座敷（大広間）には畳が敷かれていて、ふすまには絵がかかっている。
- ⑭ 壁には掛け軸（書画）が掛かっている。床の間の前が上座である。
- ⑮ なじみの客の紹介がなければ入れない（一見さんお断り）。
- ⑯ 京都は三方を山に囲まれていて、湿気が逃げない。
- ⑰ 夏の夕方には各店の前で暑さを和らげ、ほこりがたたないように打ち水をし、客にこの上ない涼しさ/さわやかさを感じてもらうのだ。
- ⑱ 雨の日には時に赤いから傘をさした婦人を見ることもある。

着物

- ① 落地生根 根付く
- ② 未婚女性は振袖を、既婚女性は留袖を着ると、非常に上品であてやかだ。
- ③ 承先启后 先人から引き継いで発展させ
- ④ 西軍はここに陣、すなわち本拠地を構えた。
- ⑤ 金糸や銀糸を織り込んだ豪華な織物
- ⑥ 友禅染の着物を身にまとったおしゃれな女性であふれていた。
- ⑦ 風呂上りに寝巻代わりに着る「浴衣」
- ⑧ 桐箆筒
- ⑨ 古为今用 昔のものを今に生かす
- ⑩ ブーツをはく

京土産

- ① 様々な伝統工芸品に京都の旅の趣きがより一層深まることだろう。
- ② どの世界/業界にも名人はいる
- ③ 全国に名をとどろかす
- ④ 風花雪月 花鳥風月
- ⑤ 昔から団扇は世界各地でごくありふれたものだった
- ⑥ この平べったいものを折りたたんで小さくし、コンパクトなものにした。
- ⑦ それは当時このようなアイディアは彼ら独自のものだったということなのだ。/ということの意味する。
- ⑧ その店構えや包装紙にまで深い歴史の息遣いがしみこんで/にじんできている。

- ⑨ もし気に入った工芸品を手軽に手に入れたいなら、
- ⑩ 通（玄人/目利き）ならば弘法市に行って物色するのも悪くない。
- ⑪ 跳蚤市場 蚤の市 フリーマーケット
- ⑫ 着物のはぎれやリサイクルの着物など様々な品物が露店にぎっしり並ぶ。
- ⑬ それは布を足の裏の形に縫いあげ、親指と他の指を分け、くるぶし/足首まで包み込んだ靴下である。

京都流コミュニケーション

- ① 日本人は何事も丸く収めようとする性分だ。一方笑いものになるのを嫌がるので、
- ② 开门见山 ストレートに、ズバリ
- ③ 外国人はじれったく（もどかしく）、時にはイライラしたりさえする。
- ④ 日本で最も回りくどく/遠まわしで、相手の本音をくみ取らねば/察しなければならないのは京都の人だ。
- ⑤ 「察し/言わなくてもわかること/以心伝心」が大切な付き合い方
- ⑥ 相手の意見をきっぱり否定したり、相手と真っ向から対立したりする
- ⑦ 相手に恥をかかせることになるので、怒りをこらえてやんわりと断わるのだ。
- ⑧ 思わせぶり/禅問答のように
- ⑨ 口是心非 いうことと考えることが違う/腹黒い
- ⑩ 心心相印 心が通じる/言わなくてもわかる/以心伝心
- ⑪ 「勉強になりました。」
- ⑫ このようにつきあい方は京都では通用しないのだ。

京都の庭

- ① 建物の前の庭園、花が咲き乱れる庭園、池のほとりに木が生い茂る庭園、池の周りに築山や樹木、東屋/四阿を配した庭園
- ② 国がまえのなかに「土（土を固めて作った築山を表す）」と「口（池の形を表す）」、そして「衣（すなわち衣を着た人）」
- ③ 京都の庭園は単なる桃源郷ではない。それはあの世（黄泉の国）と隣り合わせだからだ。
- ④ 西方（さいほう）極楽浄土を具体的に表現したものだ。
- ⑤ 貴族ら権力者は極楽浄土にあこがれたが、往生を果たすことはできなかった。
- ⑥ 衣笠山を借景とした鹿苑寺庭園は通称「金閣寺」と呼ばれる。
- ⑦ 観光客たちはみな金閣に向かってピントを合わせ、シャッターを切る。
- ⑧ きらびやかな金閣は明の使節たちに対する一種の誇示/ひけらかしであった。
- ⑨ これらの不老不死の島には「常に青い」、すなわち永遠に若さを保つ松の木が植えられており、往生や長寿を願う人々に思いをはせないではいられない。

- ⑩ これが盛んに山水画を立体化させた枯山水の様式である。
- ⑪ 竹の熊手で白砂の上に波の模様を描いただけで海を表すのだ。
- ⑫ 太湖石のような奇岩怪石ではなく、何の変哲もないどこにでもある岩である。
- ⑬ 「引き算の美学」すなわち白黒のモノトーンで表した枯山水庭園である。
- ⑭ 人間は生死に直面すると花鳥風月を愛でる気にはならない。それよりも物事の根源を突き詰めようとするものだ。
- ⑮ 美しさの裏に生死と向き合った世界観があるのだ。

中国語で学ぶ日本⑤京都 単語表現帳 氏名

1 世の注目を集める／2 数えきれない／ 3 交通の便が良い（いずれも成語）	
5 偏とつくり、部首（成語）／6 上の句/下の句 7 永遠の愛を誓う（成語）	
8 不倫／9 斬新な／観光案内所で相談にのって くれる	
2 参拝客／無病息災／3 幅 19m、奥行き 16m	
4 高さ 13mの丸い柱 139 本で支えている。	
5 一か八かで思い切ってやる。	
6 全く関係ない別々の宗教/7 身振り手振りで値切 る	
8 舞妓に扮した	
1 花街／2 文字通り（成語）／3 お酌する	
5 運よく出会う／ 艶やかに着飾り恥ずかしげに微笑みを浮かべる舞妓	
6 修業（見習い）中／7 勘違いする／8 お門違い	
9 話し上手/10 文人の四種のたしなみ/12 口が堅い／	
13 お座敷/15 なじみの客/16 三方を山に囲まれる	
16 湿気が逃げない/17 暑さを和らげる/打ち水する。	
18 赤いから傘をさした婦人	
1 根付く（成語）/2 既婚／留袖／上品であてやかだ。	
3 先人から引き継ぎ発展させる（成語）／4 本拠地	
5 金糸や銀糸を織り込む/6 おしゃれな女性であふれ る	
8 桐箆筒／9 昔のものを今に生かす（成語）10 ブーツ	

2 どの世界にも名人はいる/4 花鳥風月（各成語）	
5 うちわ/6 コンパクトな（成語）8 深い歴史の息吹	
9 気に入った工芸品を手軽に手に入れる。	
10 通（玄人）/物色する/11 蚤の市/12 着物の端切れ	
12 様々な品物が露店にぎっしり並ぶ。	
13 足袋 ^{たび} （20-30 字で説明）	
1 何事も丸く収める/笑いものになる（各成語）	
2 ストレートに、ズバリ/3 じれったい（各成語）	
3 イライラする（成語）	
4 回りくどい/相手の本音をくみ取る。	
5 言わなくてもわかる/6 きっぱり否定する/ 真っ向から対立する（各成語）	
7 相手に恥をかかせる/怒りをこらえやんわり断わる	
8 思わせぶり/9 いうことと考えることが違う（成語）	
11 「勉強になりました。」/12 通用しない	
1（建物の横の）庭園/（花中心の）庭園/ （木中心の）庭園/（池や築山、東屋のある）庭園	
2 築山/3 あの世と隣り合わせだ/5 権力者/	
6 衣笠山を借景とする/ 7 ピントを合わせ、シャッターを切る	
9 永遠に若さを保つ/思いをはせる（各成語）	
11 熊手/12 何の変哲もない（成語）/13 引き算	
13 モノトーン/14 生死に直面する/物事の根源をつきつめる	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑥中部解答

佐渡島

- 1 佐渡島といえばトキの保護区を思い出す。
- 2 絶滅危惧種の（絶滅に瀕した）鳥類
- 3 潮が引いた後の砂浜にはハマグリ、アサリ、シジミなどの貝類が打ち上げられる。
- 4 定期船乗り場の待合室はキャンプ道具を担いだり、釣りざお、重り、びくなどの釣具を提げたりする人があちこちに見られてこの上なく賑やかだ。
- 5 都落ちした多くの貴族が流刑者として、ここに島流しにあった。
- 6 これら昔の人々が心血を注いで（心を砕いて）磨き上げた舞台芸能
- 7 ワイドスクリーン/シネスコープで放映できる映画館
- 8 能楽のような奥深い伝統芸能は他の地方では人気がない/流行らない。
- 9 こんな小さな島で、このように多くの郷土芸能の舞台があるというのはまずないことだ。
- 10 義理人情をテーマとした人形芝居に対する島民の入れ込みよう（こだわり/思い入れ）もかなりのものだ。
- 11 この辺鄙な小島の田舎芝居などぱっとしないなどと思う/侮るなかれ。彼らの芸は堂に入っていて、リアルで/真に迫っているので観客も多い（評判が高い）。
- 12 ファンたちがこれら一座の芸/妙技を高く評価するだけでなく、本場の文楽/人形浄瑠璃のベテランたちも太鼓判を押すのだ/のお墨付きだ/折り紙つきだ。
- 13 彼らは演ずるときぴったり息を合わせ、舞台は真に迫っている。
- 14 ゴールドラッシュという佐渡金山がその筆頭に挙がる/まず挙がるのが佐渡金山だ。
- 15 クレーンもないなか、坑夫たちは採掘と同時に坑内に染み出てきた水を絶えずくまな（すくわな）しなければならなかった。
- 16 人地生疏 不案内な
- 17 一方通行の道が交差する狭い町は迷路のようだ。
- 18 人々はみなお互い微笑みながらあいさつを交わしてすれ違う。
- 19 油然而生 なんとなくわき起こる
- 20 が、まさにこの不便さのおかげで、古き良き日本の面影/原風景を保ちえたのだ。
- 21 富が集まれば集まるほどプレッシャー/ストレスを受けてしまう今の時代、本当の豊かさに対する感覚がどんどん鈍くなりつつある。

金沢

- 1 伝統に縛られ/とらわれ、融通が利かぬ
- 2 移風易俗 伝統がすたれる
- 3 このような素朴な町の風景と真心のこもったおもてなしに、かえって魅力を感じるのだ
- 4 様々な冬支度に取り掛かろうとしていた。

- 5 天気予報によると、当日は曇り時々雨だったが、思いがけず寒冷前線（寒波）がきて、金沢に着くと雪がちらついていた。
- 6 これでも大雪の方だ。
- 7 ごくありふれたことだ/日常茶飯事だ。
- 8 山珍海味 山海の珍味/海の幸、山の幸
- 9 マツタケや山芋など、お膳の上の料理と酒の肴が一品一品丁寧に作られ、盛り付けられている。おいしいだけでなく目を楽しませてくれる。
- 10 刺身を食べられない私のような者のために、特別に配慮し（特別サービス/はからいで）焼き魚を出してくれた。
- 11 温文尔雅 物腰が洗練された
- 12 私たちの願いは、遠路はるばる（遠いところ）金沢にお越しいただいたお客様に、我が家にいるかのようにくつろいでいただくことなのです。
- 13 夜にうたた寝したら風邪をひいてしまったのか、続けて何度もくしゃみをしてしまった。
- 14 渡り鳥も飛んできた。まもなく金沢は雪化粧した長い長い冬を迎えようとしているようだ。

富士登山（初日）

- 1 知らぬ人のいないほど有名な富士山は、その優雅で秀麗な/美しい姿が称賛される。
- 2 山は扇子を逆さにしたような形である。
- 3 頻りに/しばしばカメラマンたちの被写体にされる。
- 4 富士山に登らぬ馬鹿と二度登る馬鹿。
- 5 孤掌難鳴 一人では何もできない。
- 6 一人では何もできない
- 7 連れ立っていく友人を探して/誘って登った。
- 8 クロスカントリーとトライアスロン
- 9 ポロシャツに着替えてハイソックスとトレッキングシューズ/登山靴をはいた。
- 10 花や木を大切にすること、頭が痛いときでも痛み止め等を飲んではいけないこと、といった注意事項
- 11 曇り所により雨で、ふもとは通り雨(にわか雨)でも山頂はひょうが降った。
- 12 万里无云 雲ひとつない青空
- 13 絶好の登山日和だ。
- 14 細い登山道は登山客で混み合っていて、二列であがることはできないほどだ。
- 15 そこからは青々とした山脈のパノラマが見渡せ、足元には雲がふわふわ浮かんでいて、まるで雲に乗っているかのようだった。
- 16 休むことなく
- 17 七弯八拐 曲がりくねった

- 18 空が夕焼けで真っ赤に染まる頃
- 19 山小屋
- 20 美其名曰 ～といえは聞こえがいいが
- 21 ここには二段ベッドさえなく、夜は床に寝るしかない。
- 22 私は家の敷布団と羽毛布団が恋しくなりだした。
- 23 私は顔を洗うため水を汲もうとしたが、どこにも蛇口が見あたらない。ここには水道がとおってなく、また水をくむポンプもなかったのだ。
- 24 羊頭狗肉・看板に偽りあり
- 25 供不应求 供給が需要に追い付かない
- 26 スルメをつまみにビールを飲んだ。

富士登山 高山病編

- 1 日上三竿 朝が遅い
- 2 なので体内時計も狂ってしまい、頭がクラクラした。
- 3 寝ぼけ眼をこすりながら外に出ると、日はまだ昇っておらず、星が空にきらきら瞬いている。
- 4 寒くてふるふる震えるほどで、顔色も真っ青で両手もかじかむ。
- 5 トレーナーだけでは高山の寒さを抑えがたく、ポーっとしていた私の頭も一気にシャキッとした。
- 6 荷物を点検したら、パーカーを羽織って出発した。
- 7 歩いているうちにも眠気は度々襲ってきた。このままいけばへとへとになって/精魂尽き果て、人に助けてもらわねばならなくなるかもしれない。
- 8 しかしやめるわけにはいかない。世界に冠たる/名だたる富士山の山頂が我々を待っているのだ。
- 9 前功尽弃 これまでの苦労が水の泡だ。
- 10 ほぼ一年中雪が降る。
- 11 郵便料金不足が心配で100円切手を貼った
- 12 ちなみに
- 13 顺手牽羊 ついでに持ち帰る/くすねる
- 14 空はうっすら明るくなって
- 15 私は登山に比べると下山は楽勝だと早合点して(たかをくくって/甘くみて)いた。
- 16 相変わらず顔色がよくて元気で、健脚このうえない。さすがに山登りのベテランだけある。
- 17 ぜいぜい言い[息を切らせ]ながら、急いで追いついた
- 18 人間に水は欠かせない
- 19 これからは飲む水さえない。

20 友人は私を励ましてくれたが、自分がここで足手まといになるのは申し訳ないので、友人に先に行ってもらった。

21 力不从心 気ばかりあせり体がついていかない

22 しかし「後悔先に立たず」。私はとにかく気合を入れて下り続けるしかなかった。

23 虎頭蛇尾 竜頭蛇尾、最初の勢いはどこへやら

24 幸いなことに八合目で水の補給ができたが、500mlのペットボトルの水が五百円もした。

25 高山病

26 気を失いそうだった。

27 憎まれっ子世にはばかる/佳人薄命

28 命あってのものだね・死んで花実が咲くものか

29 症状が重いので、応急手当をしてもらうしかない。

30 救護所/医療センター

31 点滴を受けて酸素吸入をすると、やっと体力も回復し、友人も肩の荷がおりた（胸をなでおろした/ほっとした）。

32 私は臨時の交番に紛失届を出した。

33 日本では 拾われたお金もねこばばしないで、拾ったものは交番に届け出る人が多いので、持ち主に戻る可能性も高いのだ

34 のど元過ぎれば熱さ忘れる

高山の裏と表

- ① 飛騨は山国なので米や特産物は納税できるほど取れない。
- ② 積もった雪で屋根が押しつぶされないように雪が滑って落ちやすくするために、屋根の勾配を急にしたのだ。
- ③ これらの匠の技の集大成が高山祭の屋台（山車）である。
- ④ ユネスコ無形文化遺産
- ⑤ 屋台/山車のことを考えるだけでうずうずする高山の人
- ⑥ 高山の魂の結晶たるこれらの動く芸術品
- ⑦ 江戸時代の風情がよく残っている造り酒屋（酒蔵）が軒を連ねていて、圧倒させられる。しかしこの懐かしい雰囲気の中にも知られざる一面があるのだ。
- ⑧ もし返済できないようならば土地を抵当（かた）に取られ、元は自作農だった者も小作農になってしまった。
- ⑨ たくさんの農民が涙を押し殺して自分の土地を譲り渡した。
- ⑩ 百姓たちの気をそらすために
- ⑪ 熱狂的な祭りは百姓たちの考えをうまく麻痺させた。
- ⑫ もののしい玄関の片側は奉行所になっており、奉行が上に、とらえられた者はお白州の上で正座をさせられる。

- ⑬ 自白を強要する生々しい刑具が目の前に現れる。
- ⑭ この陣屋で代官と豪商が結託して/ぐるになって高山を統治していたことは、高山にとって良かったのか悪かったのか。
- ⑮ 飢饉のとき
- ⑯ 彼の功績をたたえる
- ⑰ 一貫して質素儉約を旨としていたためこの町は
- ⑱ 圧政と搾取の下、
- ⑲ 写真写りの良い文化遺産
- ⑳ 清廉潔白な渡辺崋山の善政
- ㉑ 人生万事塞翁が馬
- ㉒ 表には必ず裏がある。

中国語で学ぶ日本⑥中部 単語表現帳 氏名

1 トキ/2 絶滅危惧種の鳥類/3 潮が引く	
3 ハマグリ/アサリ/シジミ	
4 定期船乗り場/待合室/キャンプ用具	
4 釣竿/びく/釣具	
5 都落ちした貴族が流刑者としてここに島流しにあう	
6 心血を注ぐ（成語）/7 ワイドスクリーン	
8 流行らない/9 郷土芸能の舞台	
10 人形芝居に対するこだわり（入れ込みよう）	
11 この辺鄙な小島の田舎芝居などパッとしない	
11 堂に入る/真に迫る（成語）/観客が多い	
12 ファンたちはこれら一座の芸を高く評価する	
12 太鼓判をおす/13 息を合わせる	
13 真に迫る（成語）/14 ゴールドラッシュ	
14 金山/15 クレーン/16 不案内な（成語）	
17 一方通行/18 すれ違う/19 沸き起こる（成語）	
20 古きよき日本の面影/21 プレッシャー	
1 伝統に縛られる/融通が利かない（各成語）	
2 伝統が廃れる（成語）/3 地味な/心のこもったもてなし	
5 曇り時々雨/寒冷前線/雪がちらつく	
6 これでも大雪の方だ/ 7 ごくありふれたことに過ぎない	

8 山海の珍味（成語）/8 松茸/山芋	
9 お膳/酒の肴/盛り付ける/10 食べ慣れない	
10 特別サービスで/11 洗練された物腰（成語）	
12 我が家にいるようにくつろいでもらう（成語）	
12 遠路はるばる（成語）/13 うたた寝する/	
14 渡り鳥/間もなく/雪化粧する（成語）/	
1 知らぬ者のない（成語）3 カメラマン/ 5/6 一人では何もできない（成語二つ）	
8 クロスカントリー/トライアスロン/9 ポロシャツ	
10 花や木を大切に/解熱剤/11 曇ところにより雨	
11 にわか雨/雹（ひょう）/12 雲一つない青空	
13 絶好の登山日和/14 並んで登る/15 パノラマ	
15 雲がふわふわ浮かぶ/16 休むことなく（成語）	
17 曲がりくねった（成語）/19 山小屋	
20 ～と言えば聞こえはいいが（成語）	
21 二段ベッド/22 羽毛布団/23 蛇口/水道/ポンプ	
24 看板に偽りあり（成語）/62 需要が供給に追いつかぬ	
26 スルメをつまみにビールを飲む	
1 朝が遅い（成語）/2 体内時計/頭がくらくらする	
3 寝ぼけ眼をこする/4 寒くて震える/顔色が青い	
4 手がかじかむ/5 ポーっとしていた頭もシャキッと する	

6 荷物点検する/パーカーを羽織る	
7 歩いているうちにも眠気は度々襲ってきた	
7 このままいけば/へとへとになる (各成語)	
8 やめるわけにはいかぬ/世界に冠たる (各成語)	
9 苦労が水の泡 (成語) /10 一年中	
11 郵便料金不足/12 ちなみに/13 ついでに持って帰る (成語)	
14 空はうっすら明るくなる/15 早合点する	
16 顔色が良い/健脚この上ない (各成語)	
16 さすがに山登りのベテランだけある/17 息を切らす	
18 人に水は欠かせない/20 励ましてくれる	
20 足手まとい (成語) /申し訳ない/21 気ばかり焦る (成語)	
22 後悔先に立たず (成語) /気合を入れる/	
23 竜頭蛇尾 (成語) /24 500ml/ペットボトル/	
25 高山病/26 気を失う/27 憎まれっ子世にはばかる	
28 命あってのものだね/29 症状/応急手当	
31 点滴を受ける/酸素吸入をする	
32 胸をなでおろす/100 交番/紛失届	
33 拾った金もネコババしない/持ち主に戻る (各成語)	
34 のど元すぎれば熱さ忘れる (成語)	
1 納税/2 屋根の勾配を急にする/3 匠の技の集大成	

4 ユネスコ無形文化遺産/ 5 山車のことを考えるだけでうずうずする	
6 高山の魂の結晶たるこれらの動く芸術品	
7 江戸時代の風情がよく残っている造り酒屋	
7 圧倒させられる/知られざる一面/	
8 返済できないようなら土地を抵当にとられる	
9 小作農/10 涙をこらえる（成語）/11 熱狂的な祭り	
12 奉行所/奉行/お白州の上で正座させられる	
13 自白を強要する/14 陣屋/代官と豪商が結託する	
15 飢饉のとき/16 彼の功績をたたえる/17 質素儉約（成語）	
18 搾取/19 写真写りの良い文化遺産/20 清廉潔白な善政	
21 人生万事塞翁が馬（成語）/22 表には必ず裏がある	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ地理⑦東京下町

浅草

- 1 浅草は家々が密集していて 毎日がお祭気分の下町
- 2 小さな観音像が一体、彼らの網にかかった。
- 3 観光案内所から横断歩道を渡ると、筋向いに「雷門」と書かれた大きな提灯がかかっている、道端には人力車も数台とまっている。
- 4 欣欣向荣 ますます活気づく
- 5 おこしなどの地元の和菓子、色とりどりの扇子や七宝焼、ゲーム機、オルゴール、積み木など、たくさんの店に目移りしてなかなか前に進めないほどだ。
- 6 西暦五世紀前後の中国仏教界における禅の開祖、達磨大師をモデルに作った縁起物
- 7 目が描かれていないので、だるまを買って帰ったらまず片方の目を入れ、願い事がかなったらもう一方目を入れるのだ。
- 8 江戸時代の美人や風景をテーマにした風俗画や木版画
- 9 数珠を手に熱心にお参りする人、賽銭をあげる人、おみくじを引いて占う人等で絶えずにぎわう通りは歩けないほどこんで（ごった返して）いる。
- 10 それは初夏の幕開けである。
- 11 ハッピーをまとった男衆が神輿を担いで、ゆっくり練り歩く。
- 12 だが負けず嫌いの群衆が、先を争い（我先に）担ごうとする。熱狂的な雰囲気のお神輿の練り歩きは正に壮観である。
- 13 ここの人はよくしゃべるのだが、みな口をそろえていう。
- 14 神輿をみるだけでうずうずします。
- 15 手忙脚乱 てんてこ舞い/バタバタしている
- 16 依依不舍 名残り惜しい
- 17 三社祭の実行委員会の世話役/役員はいう
- 18 個人プレー（ワンマンショー）ではうまくいかない
- 19 聚精会神 一心不乱に、心を一つにして
- 20 練り歩く日はでたらめ（めちゃくちゃ、いいかげん）にやってはならない。さもないと道を歩きながらよろけてしまう。
- 21 浅草には場外馬券売場があり、毎週末には意気揚揚とした/調子に乗ったギャンブラーとぬか喜びに終わってうなだれた人の二種類が見られる。
- 22 そのあからさまなギャップに思わずこっそり/くすくす笑ってしまう。
- 23 近くには浅草らしい雰囲気の飲み屋もある。
- 24 そこでは運試しをしてみたところ大儲けし、得意気な人/調子に乗っている人もいれば、運に見放されても平気な顔で、明日は明日の風が吹くとばかりのビール腹のおじさん等もいる。

- 25 游手好閑 暇な遊び人、のらりくらりと過ごす
- 26 ここはかつて手品、猿回し、雑技/曲芸/軽業、そして講談/浪曲などの演目を行う寄席(演芸場/芝居小屋)があり、昼も夜も客の入りがよかった。
- 27 国際劇場のこけら落としではモガたちのバレエの公演が行われ、好評を博した。
- 28 モボやモガたちはここで当時流行したタップダンスやワルツ、タンゴなどのモダンなダンスを楽しんだ。
- 29 チキンライス、オムライスなど
- 30 エビフライ、カキフライ、トンカツ、目玉焼き
- 31 ポタージュ
- 32 戦後は、後になって発展してきた新宿、渋谷、六本木などが流行最先端の繁華街となり、昔の繁栄の記憶も忘れられ（色あせ）つつある。

上野

- ① 闇市
- ② 当時横流しされた（払い下げられた）商品
- ③ 川流不息 人通りが途絶えることない
- ④ 山積みになっていて、お買い得（お値打ち）感がある。
- ⑤ 通りいっばいに響く客引きの声とおいしそうな匂いにひかれ、多くの人が食べ歩きしていて、購買意欲をそそられる（買いたくなってくる）。
- ⑥ 筆者は人波をかき分け、脂がのったブリや太刀魚、ウニなどを買っている人々を見た。味気ないスーパーと比べると、ここはこの上なくにぎやかだ。
- ⑦ 市場はがやがやと賑やかで、耳にひびくほどの叫び声があちこちから聞こえて/わきおこってくる。
- ⑧ ビジネスホテルやカプセルホテルなどの宿泊施設、宝くじ売り場や占い師もいる。
- ⑨ ちょうど笛（クラリネット）を吹いて太鼓を叩きながら町を練り歩くチンドン屋に遭遇し、童心に返ってしまった。
- ⑩ 彼らは専ら店のオープンやバーゲンを通りで宣伝するのだ。
- ⑪ 大道芸人の演奏やバントマイムやブレイクダンスのパフォーマンスなど
- ⑫ そこは人々の知的好奇心/欲求を満たしてくれる。
- ⑬ 名副其实 名実ともに/読んで字のごとく
- ⑭ 人気者/アイドル
- ⑮ 日中国交正常化
- ⑯ ゴリラやチンパンジー、キリンなど
- ⑰ ここは花見客でおしあいへしあいだ（ごった返している）。
- ⑱ 夜はぼんぼりの灯りがともし（ライトアップされ）
- ⑲ 冒頭、プロローグ

⑳ 中国人のバックツアー客

下町と寅さん

- ① 町人
- ② 布衣蔬食 質素な暮らし
- ③ 左官、革職人、鍛冶屋など親子三代にわたって地元生まれ育った下町っ子たち
- ④ 宵越しの銭は持たないのが本当の職人。
- ⑤ いい仕事ができるなら
- ⑥ 職人たるもの手先が器用でなければならず、腕を磨き（精進を重ねて）匠の技を見せるのだ。
- ⑦ 争一口气 意地を張る
- ⑧ 喜劇のシリーズ
- ⑨ 定職に就かず、あちこちを放浪してはテキ屋稼業をする渡世人
- ⑩ 彼は口が巧くもっともらしく丸め込む。一人で地方をまわる時もまことしやかに/口車に乗せ安物を売りさばくのだ。
- ⑪ 風餐露宿 旅の辛さの形容
- ⑫ しかし彼は天涯孤独で身寄りがないわけではない。可愛い妹と叔父夫婦が放蕩者/道楽者の帰りを待っているのだ。
- ⑬ 彼は親しみ易く、義理人情に厚く（話が分かり）、弱きを助け強きを憎む度胸もある。しかし学がなく、突拍子もないことをするので/やることなすこと目茶苦茶で、旅に疲れて家に戻るたびに騒ぎを起こし、笑いものになる。
- ⑭ みんなはこんなおっちょこちょいな寅さんをからかうたび、彼はむっとする/不機嫌な顔をする。
- ⑮ 観客は抱腹絶倒となる（腹を抱えて笑う）
- ⑯ 恋愛にかけてはだらしなく/はっきりせず、
- ⑰ 彼女たちを下町の実家にとめたりまでする。
- ⑱ 彼の夢が虚しく/儂く消えてもやせ我慢する/強がる。そして最後は支度を整えて旅に出る。
- ⑲ お決まりごと
- ⑳ 老生常談 相変わらずの内容/ワンパターン
- ㉑ 中国人は日本人の生活様式と価値観を再認識するようになった。
- ㉒ ひとかたならぬ功績

鳩居堂

- ① 南腔北调 各地の方言

- ② 店内に入ると目に入ってくるものは日本の小物
- ③ そこには筆や墨、和紙に硯、そして文鎮などの書道具がショーケースの中に静かに置かれており、誰か買ってくれる人が現れるのを待っている。
- ④ 書道のお手本
- ⑤ プロやアマチュアの書家
- ⑥ 銀座の喧騒を忘れさせてくれる静かな場所
- ⑦ 各ギャラリーで自分の作品を出展する
- ⑧ 端溪の硯や王羲之、李白などを最高の文化的ブランドとみなす
- ⑨ 当サイトをご覧の方はぜひとも鳩居堂の二階から四階までをご見学いただきたい。
- ⑩ 中国人が忘れてしまったもの

Hanae Mori

- ① ルイ・ヴィトン、グッチ、エルメス、シャネルといったヨーロッパのブランド店が軒を連ねる
- ② こじんまりとした店
- ③ アパレル業界
- ④ お嬢様学校で学んだ
- ⑤ 1950年代、日本映画の衣装をデザインした。
- ⑥ さらに世界各地のファッションデザイナーが集まるファッションの都、パリに進出した。
- ⑦ 世界のファッション業界で最も権威のあるオートクチュール協会に会員として認められた。
- ⑧ 彼女が西洋社会に受け入れられた理由は、東西の美を完全に一つにさせたからである。
- ⑨ 故郷の山や川、田畑でひらひらと舞う儂い命であっても精一杯光らせる素朴なモンシロチョウ
- ⑩ 訪中したのは、十年にわたる文革が終結したばかりの中国の人民に、それまで資本主義的と非難されたファッションというものが一体どんなものか、教えるためだったのだ。
- ⑪ 人民服
- ⑫ 森英恵が中国人に、東洋人として持つべきデザインの在り方/スタイルを伝えてから、四十年近くが過ぎた。

中国語で学ぶ日本 単語表現帳⑦東京下町 氏名

1 家々が密集する（成語）/お祭り気分の下町	
3 観光案内所/横断歩道/人力車	
4 ますます活気づく（成語）/5 おこし/和菓子	
5 色とりどりの扇子/七宝焼/オルゴール/	
5 たくさんのものに目移りする（成語）	
6/7 だるま（30 字前後の中国語で説明）	
8 浮世絵（20 字前後の中国語で説明）	
9 数珠/賽銭/ 絶えず賑わう（成語）/ごった返す（成語）	
10 初夏の幕開け/11 ハッピー	
12 負けず嫌いの群衆/先を争う（成語）/	
13 よくしゃべる/口を揃えていう（成語）	
14 神輿を見るだけでうずうずする	
15 ばたばた動きまわる/16 名残惜しい（各成語）	
17 実行委員会/世話役/18 個人プレー	
19 一心不乱（成語）/20 でたらめにやる	
21 場外馬券売り場/意気揚々（成語）/ ギャンブラー	
21 ぬか喜び/うなだれる（各成語）	
22 ギャップ/くすくす笑う（成語）	

24 運試しする/得意になる/運に見放される	
24 平気な顔だ/明日は明日の風が吹く（成語）	
24 ビール腹/25 暇な遊び人（成語）/26 手品	
26 猿回し/雑技/講談/寄席	
26 客の入りが良い/27 バレエ	
27 こけら落とし（10 字程度の中国語で説明）	
28 タップダンス/ワルツ/タンゴ	
29 チキンライス/オムライス/30 エビフライ	
30 カキフライ/とんかつ/目玉焼き/31 ポターージュ	
32 戦後/あとになって発展する（成語）	
32 流行最先端の繁華街/次第に忘れられる	
1 闇市/2 横流しの払い下げ	
3 流れが絶えることない（成語）/4 山積になる	
4 お買い得感がある/5 購買意欲をそそる	
6 人波をかき分ける/脂がのったブリ/太刀魚	
6 ウニ/味気ない/この上なく賑やかだ（成語）	
7 わいわいがやがや/ 8 ビジネスホテル/カプセルホテル	
8 宿泊施設/宝くじ/占い師/9 チンドン屋	
10 店のオープン/バーゲン/11 大道芸人	
11 パントマイム/ブレイクダンス/12 知的好奇心	
13 名実ともに（成語）/14 人気者	

15 日中国交正常化/16 ゴリラ/チンパンジー/キリン	
17 押し合いへしあい（成語）/18 ぼんぼりがともる	
19 プロローグ/20 パックツアー客	
1 町人/2 質素な暮らし（成語）/3 左官/鍛冶屋	
3 三代にわたって地元生まれ育った	
4 宵越しの銭は持たない	
5 いい仕事ができる/6 手先が器用	
6 腕を磨く/83 意地を張る（各成語）	
8 喜劇のシリーズ/9 定職につかぬ	
9 あちこち放浪してはテキ屋稼業をする渡世人	
10 口がうまい/もっともらしく丸め込む（各成語）	
10 まことしやかに安物を売りさばく	
11 旅の辛さ/12 身寄りのない寂しさ（各成語）	
12 叔父夫婦/放蕩者/13 親しみやすい（成語）	
13 話がわかる/弱きを助け強きを憎む（各成語）	
13 学がない/やることなすこと目茶苦茶（各成語）	
13 旅に疲れる（成語）/騒ぎを起こす/笑いものになる	
14 おっちょこちょい/からかう/不機嫌になる	
15 腹をかかえて笑う/16 だらしない（各成語）	
17 実家に泊める/18 夢が儂 ^{はかな} く消える	

18 やせ我慢する/旅支度をする/19 お決まりごと	
20 ワンパターンな（成語）/21 再認識する	
1 各地の方言/2 目に入る/3 四種の書道具（各成語	
3 文鎮/4 書道の手本/6 銀座の喧騒を忘れさせる	
7 ギャラリー/8 文化的ブランド/	
9 当サイトをご覧の方はぜひご見学いただきたい	
2 こぢんまりした店/3 アパレル業界/4 お嬢様学校	
5 1950年代に日本映画の衣装をデザインした。	
6 さらにパリに進出した。	
9 ひらひらと舞うモンシロチョウ/10 訪中	
10 十年の文革が終結する/資本主義的とされる	
12 東洋人として持つべきデザインの在り方	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本⑧関東

横浜中華街と華僑

- ① 五湖四海 世界各地
- ② 横浜はサンフランシスコやニューヨークとともに世界三大チャイナタウンと称されている。
- ③ 二箇所の道教寺院の廟
- ④ 喪权辱国 自国に対し公正でなく屈辱的な
- ⑤ 「買弁」(通訳者兼ブローカー)
- ⑥ 海をわたって出稼ぎし、大儲けした。
- ⑦ 彼らは和食も口に合わず、好きな中華料理にもありつけなかった。
- ⑧ 偽物はしょせん偽物
- ⑨ 互いに遠く隔たっているので横浜の広東料理は本場とは味が異なってきた。
- ⑩ 横浜ならではの
- ⑪ 高級な背広を(オーダーメイドで)仕立てる。
- ⑫ スタンドカラーの人民服
- ⑬ 身无分文 一文無し
- ⑭ 両国政府はお互いに利する平等な貿易を行うという原則の下、パートナーシップを築いた。そして両国の関係はみな誰の目から見ても/目を見張るほどの発展を遂げたのだ。
- ⑮ このことは日本経済の回復にも大きく寄与している。
- ⑯ コンセンサスを得ない問題も多く、相容れない(折り合いのつかない)ものもあり、依然予断を許さない状況にある。
- ⑰ 酸甜苦辣 酸いも甘いも知りつくした/色々なことがあった
- ⑱ 活躍の(実力を発揮する)場
- ⑲ アイデンティティ(ルーツ)や民族の歴史文化を忘れない
- ⑳ 平和共存を護持する

内山書店

- ① 耐人寻味 味わい深い
- ② 内山氏は魯迅や郭沫若等、中国の新/白話文学を打ち立てた少なからぬ人たちと知り合いになった。
- ③ 書籍はみな開架式になっていて、客は立ち読みできるようになっている。
- ④ 書店の外の歩道には、急須/ティーポットを置き、歩行者(道行く人)に無料でお茶を提供(サービス)した。
- ⑤ 犬と中国人は入るべからず。

- ⑥ 一視同仁 皆を平等に扱う
- ⑦ 高人一等 自分が人より偉いという優越感・上から目線
- ⑧ 魯迅が政府当局の指名手配から逃れる隠れ家（アジト）
- ⑨ 莫逆之交 心から信頼しあえる仲
- ⑩ 身を寄せるところ
- ⑪ 訪中した。

辛亥革命と東京・横浜

- ① 日清戦争が終わると、列強は思うがままに清朝の領土を分割し始めたが、清朝もまた民をこきつかい浪費して頤和園をつくったりした。
- ② 清朝を倒せ！
- ③ 日本は同じ経験をしてきた/日本にとってもいつか来た道ということになる。
- ④ 日本の明治維新を鑑とした。
- ⑤ 夜明け前/黎明期の中国には指導者の器としてふさわしい人物がいなかった。
- ⑥ 広東省香山県をルーツに持つ客家の若者
- ⑦ 千載一時 千載一遇/滅多にないチャンス
- ⑧ 密告によって蜂起は惨敗し（敗北を喫し）、日本に高跳びするほかなくなり、東京や横浜を仮の住まいとした。
- ⑨ 民族の救世主
- ⑩ 胡思乱想 妄想・でたらめな考え
- ⑪ みな実現の可能性が低い
- ⑫ みんなからは陰（裏）で「孫の大ぼらふき（ハッター屋）」とまで言われた。
- ⑬ 人の心をつかむのがうまい
- ⑭ 一臂之力 一肌脱ぐ
- ⑮ 愚公移山 やり遂げるまで努力する
- ⑯ 一時期（しばし）の心の交流
- ⑰ 患難之交 困難な時の友
- ⑱ 仲間に対し義理堅く、約束を必ず守った。
- ⑲ 衣冠楚楚 きちんとした身なり
- ⑳ 頭がボサボサで 粗末な身なり
- 21 死んでも変わらぬ
- 22 宮崎の中国語はカタコトだった。
- 23 共通の話題（合言葉）
- 24 彼らが夜更けまで語り合っていたとき
- 25 自分はいっそのこと中国人になりたい。

- 26 宮崎は部外者にすぎないのに、なんでまた他国の革命に加わるのか。
- 27 身内同然
- 28 一諾千金 約束は必ず守る
- 29 見义勇为 正しいことをなす/正義感が強い
- 30 列強が中国を分割する（食い荒らす）のを見て、義憤にかられた。黙ってみていられるわけがなかったのだ。
- 31 弾尽援絶 弾丸は尽き、援軍も来ず/万事休す
- 32 同志を売る（裏切る）ことはできない。
- 33 彼には義に殉ずる道しかなく、その場で処刑された。
- 34 雲を凌ぐほどの志で堂々と死んだこの革命の先覚者
- 35 家柄は決して良くないが、金儲けの才能に恵まれ、
- 36 私財を惜しみなくなげうった。
- 37 孫文と宋慶齡の媒酌/仲人をした。
- 38 梅屋氏の取り持ち（引き合わせ）によって、二人は数々のハードル（障害・困難）を越え、結ばれるに至ったのだ。
- 39 辛亥革命は多くの日本女性をもまきこんだ。
- 40 これら隣国の革命に熱くなる夫たちと苦楽を共にしつつ、愚痴ひとつこぼさない大和撫子には実に感心する。
- 41 心の広い宮崎夫人は実によく客をもてなした。
- 42 家の中は貧しすぎてその日の食事に事欠くほどだった。
- 43 彼女も自分の衣服を質入れし、革命家たちを腹いっぱい食わせた。
- 44 陰/裏で黙々と彼を支えた妻
- 45 貞淑なことこの上なかった。
- 46 とりわけ優しく賢い
- 47 この世紀の英雄孫文の裏にはこれら隣国の「志士たち」とその妻たちの支援も欠かせなかった
- 48 革命は彼らの血と汗が少しずつ蓄積してできたものである。

水戸黄門

- ① 時代劇
- ② 養尊处优 優雅な生活を送る
- ③ アーチ橋、東屋、竹垣など
- ④ 世のため人のために働く黄門はお忍びであちこち旅をする。
- ⑤ これは物見遊山などではなく、各地の公金を横領したりする代官や手下たちの悪事を暴き、世直しのための旅なのだ。

- ⑥ お供の二人の武士の他、手裏剣を投げて黄門をたすける忍者や色仕掛けを使うくのいちなどもいる。
- ⑦ 悪代官とそのお先棒たちはかしこまってひれ伏す。
- ⑧ 不正之风 汚職体質
- ⑨ お天道様がお見通しというようなお決まりのパターン

坂東武士

- ① たとえるなら/まるで山海関内部の漢民族が東北三省を「関外」と見なしたように、
- ② 祭神/そこに祭られている神はかつて坂東独立を試みた結果殺された平将門だ。
- ③ 家康の死後「東照大権現」すなわち「関東全域を守るために現れた神」として祭られたことからしても分かるように、
- ④ それに基づいて建てた日光は出藍の誉れで/青は藍より出でて藍より青しで/本場を上回るほどで
- ⑤ 真南は果てしない関東平野、さらに南は江戸幕府の所在地、さらにいくと太平洋だ。
- ⑥ ずっとあの世の家康に守られているようである。
- ⑦ 旗本
- ⑧ 天皇の名の下で
- ⑨ 関東は日本唯一の朝廷と対峙しえた土地である。
- ⑩ 北関東出身のお笑い芸人
- ⑪ おしゃれな東京に対するあこがれと、「垢抜けない/イケてない」故郷に対する愛着/思いを表わす。
- ⑫ 北関東各地では暴走族を見かけるが、彼らこそ昔ながらの典型的な関東人ではなかろうか。
- ⑬ 筆や墨を持ち学問をした京都の人に対し、鋤を持ち野良仕事をした坂東人
- ⑭ 黒塗りのセダンに乗った霞ヶ関や丸の内のエリートが北関東の暴走族を見るまなざしと同じだ。

中国語で学ぶ日本 単語表現帳⑧関東 氏名

1 世界各地（成語）/2 チャイナタウン	
3 道教寺院の建物/4 不平等で屈辱的な（成語）	
5 ブローカー/6 出稼ぎで儲ける	
7 和食は口に合わず、好きな中華にもありつけない。	
8 偽物はしょせん偽物だ。/9 異なってくる	
10 横浜ならではの/11 背広を仕立てる	
12 スタンドカラーの人民服/13 一文無し（成語）	
14 パートナーシップを築く/誰の目からみても（成語）	
15 このことは経済回復にも大きく寄与している。	
16 コンセンサスを得ない/折り合いがつかない	
16 予断を許さぬ/17 色々なことがあった（各成語）	
18 活躍の場（成語）/19 ルーツや歴史文化を忘れぬ	
1 味わい深い（成語）/2 文学の基礎を築いた人と知り合う	
3 書籍は開架式だ/客は立ち読みできる/歩道/急須	
6 皆を平等に扱う/7 上から目線（各成語）	
8 指名手配/隠れ家/9 心から信頼できる仲（成語）	
10 身を寄せるところ/11 訪中する	
1 日清戦争/思うがままに清朝の領土を分割する	
1 民を酷使して浪費する（成語）/2 清朝を倒せ！	
3 同じ経験をした人/4 明治維新を鑑とする	

5 夜明け前/7 千載一遇（成語）/8 密告/惨敗する（成語）	
8 高跳びする（成語）/仮住まいする/9 救世主/妄想（成語）	
11 実現の可能性が低い/13 人の心をつかむ/14 一肌脱ぐ（成語）	
15 やり遂げるまで頑張る（成語）/16 しばしの心の交	
17 困難な時の友（成語）/18 仲間に対し義理堅い	
18 約束を必ず守る/19 きちんとした身なりの（成語）	
20 頭がボサボサだ/粗末な身なり（成語）	
22 カタコトで話す/23 共通の話題/24 夜更け（成語）	
25 いっそのこと中国人になりたい/26 部外者	
26 なんでまた他国の革命に加わるのか/27 身内/	
28 約束は必ず守る/29 正しいことをなす（各成語）	
30 中国を食い荒らす/義憤にかられる（成語）	
30 黙って見ていられようか。/31 万事休す（成語）	
32 同志を裏切ることは出来ない。/33 義に殉ずる	
33 その場で処刑される/35 金儲けの才能に恵まれる	
36 財産を惜しみなく使う（成語）/37 媒酌をする	
38 とりもち/二人は数々の障害を越え、結ばれた。	
39 革命は多くの女性を巻き込んだ。	
40 苦楽を共にする/愚痴一つこぼさぬ（各成語）	
41 心が広い（成語）/よく客をもてなす	
42 その日の食事にも事欠く（成語）/43 質入する	

44 陰で黙々と支援する/47 この世紀の英雄孫文	
47 欠かせない/	
1 時代劇/2 優雅な生活を送る（成語）3 アーチ橋/東屋 /竹垣	
4 世のため人のため働く（成語）/ お忍びであちこち旅する	
5 物見遊山（成語）/ 公金を横領する代官やその手下の悪事を暴く	
5 世直しする/6 お供の武士/手裏剣を投げる	
6 色仕掛けを使うくのいち/7 悪代官/お先棒	
7 かしこまってひれ伏す/8 汚職体質（各成語）	
9 お天道様がお見通しだ（成語）	
1 まるで~のようだ/2 独立を試みる	
3 関東全域を守る神として祭られる	
4 本場以上であることのとえ（成語）	
5 真南は見渡す限りの関東平野で、さらに南は江戸だ。	
6 あの世/7 旗本/8 天皇の名の下で	
10 関東出身のお笑い芸人/11 垢抜けない故郷への愛着	
14 黒塗りのセダンに乗ったエリート/まなざし	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本⑨東北解答例

三陸海岸

青森ねぶた祭

- ① 人々は竹や木で骨組みをつくる。その上に歴史上の人物や武士、鳥獣などを描いた紙を糊付けする。その中に灯りをともして山車の上に置き、町中を練り歩くのだ。
- ② よく（広く）知られている
- ③ 大きな人形/はりぼての中に大軍を隠し、敵である原住民をおびき寄せてから一挙に全滅させた/滅ぼした。
- ④ 日暮途穷 どうしようもなくなる、行き詰る
- ⑤ 太鼓とは2本のばちで皮をたたいて演奏するものだ。
- ⑥ ねぶたは大通り沿いを夕方まで歩き続ける。その場面はじっくり観賞し、楽しむに値する。

東日本大震災と三陸海岸

- ① 史无前例 未曾有の
- ② すさまじい勢いの大津波
- ③ その規模は地震観測所の予測をはるかに上回った。
- ④ 瞬く間に津波によって根こそぎ流されてしまった。
- ⑤ 津波に襲われなすすべがなかった。（手も足も出なかった）
- ⑥ 无计可施 なすすべもない
- ⑦ それこそいわゆる「想定外の大惨事」だった。
- ⑧ 同じ過ちを繰り返さぬため、政府は水利工事を行い、水害が二度と起こらぬようにした。
- ⑨ 移山倒海 自然を征服する（ような大工事）
- ⑩ 水位は瞬く間に上がり、堤防は500mにわたって決壊した。
- ⑪ 地元の人はこの地区は津波に対する備えが完璧だと思いこんでいたから、防災訓練にそれほど熱心でなかった。
- ⑫ なんとか生き延びた人たちもたいへんな苦勞/つらい思いをした。
- ⑬ 行き場を失い、身を寄せる/落ち着ける場がない。
- ⑭ 飢えと寒さにさいなまれ、居ても立っても居られないなかで、
- ⑮ だんだんと仮設住宅に入居できるようになったが、インフラ/ライフラインの復旧（回復）は不十分/まだまだであった。
- ⑯ 下落不明 行方不明
- ⑰ 亡き家族の面影が昨日のここのように頭から離れず/思い出され、家族写真を前に悲嘆にくれる/悲しみに打ちひしがれるばかりだ。
- ⑱ この大災害のもたらした損失は計り知れず、九死に一生を得た被災者が意気消沈してい

るのをみて、被災地支援のため多くの人々が積極的(自主的)にボランティアに参加した。

- ⑱ 困っている人に救いの手を差し伸べ
- ⑳ 柴米油盐 生活必需品/最低限の衣食住
- 21 チャリティコンサートを行う
- 22 「赤十字」や「国境なき医師団」などのNGOは専門家を被災地に派遣した。
- 23 町の主な建物は跡形もなく壊滅し、その廃墟では物音一つしなかった。鉄筋構造の建物の残骸が数棟、風に吹かれて物寂しい音を立てるだけだった。
- 24 司空見慣 見慣れた光景となる
- 25 ちょうど花輪を飾って慰霊祭(追悼式)を行うための様々な準備をしていた。
- 26 群策群力 衆知を結集し/みんなの知恵と力を合わせて

藤野先生

- ① 小脇に大小さまざまな本を抱えている。
- ② 後に座って笑ったのは、前年落第し、留年した学生だ。すでに一年在学しているため、(学内の)事情を熟知して/非常によく知っているのだ。
- ③ あるときは汽車に乗っていたところ、車掌にスリではないかと疑われ、乗客に気をつけるように言われたほどだ。
- ④ 私は写した講義ノートを提出すると、先生は受け取られた。
- ⑤ なんと私の講義ノートは始めから終わりまで、すべて赤鉛筆で添削されているではないか。抜けまくっている部分を書き加えられているだけではなく、文法ミスまで一つ一つ直されている。
- ⑥ あいにく私はそのころ全くやる気がなく(不真面目で)、時にはわがままでもあった。
- ⑦ 私に穏やかな様子でおっしゃった。
- ⑧ 私はまだ納得がいかず、口先で「はい」と返事はしたものの、心の中ではこう思った。
- ⑨ 私はすぐに東京に行き、ひと夏を過ごした。
- ⑩ 中国人はとても死者の霊を敬っていると聞いたから、私は君が死体解剖を嫌がるのではと、とても心配だったんだ。
- ⑪ しかし先生も時には私を困らせる(困惑させる)ときがあった。
- ⑫ 先生は中国の女性は纏足だと聞いたそうだ。
- ⑬ 私は探しだして彼らに手渡したが、一通り目を通した/パラパラめくっただけで、持ち帰らなかった。
- ⑭ 封を開けてみると
- ⑮ しかし続いて私は中国人が銃殺されるのを見てしまう運命にあったのだ。
- ⑯ 講堂の中には、もう一人、私(私という中国人)がいた。
- ⑰ しかし特にこの一声が私の耳に突き刺さった。
- ⑱ 彼らもこうなって当たり前だという顔で喝采している

- ⑱ 先生は少ししょんぼりした様子だったので、私は方便で/気の毒でうそをついたのだ。
- ⑳ 私に写真を一枚手渡して下さった。裏には「惜別」という言葉が書かれていた。そして私の写真も送ってほしいとおっしゃった。
- 21 仙台を離れてから、私は何年も写真を撮らなかつた。状況も思わしく（面白く/ぱっとし）なかつたこともあり、言い出してもきっと先生ががっかりされるだろうから、手紙を書くことはばかられた/書く気にならなかつた。
- 22 音信不通になった。
- 23 先生の私に対する熱い思い/期待とたゆまぬ教えは、
- 24 つまり新しい医学を中国にもたらしたいからであつた。
- 25 夜、疲れてきて、休みたいと思うようになるたびに、明かりをに浮かぶ先生の黒くやせこけた顔をちらりと見ると、まるで訛ったイントネーションで語りかけてきそうなのだ。
- 26 そこで私はふと良心を見出し、勇気を奮い立たせるのだ。

時代に翻弄された東北の人々

- ① 時代に翻弄された東北の人は侵略者の片棒を担がされた。
- ② 逆賊/朝敵
- ③ それに対し東北及び新潟県の諸藩（奥羽越列藩同盟）は連名の上、会津藩に寛大な処置をとってもらうべく明治政府に嘆願書を出して恭順/無抵抗の意を示した。
- ④ 彼らは青森県下北半島の不毛の地や酷寒の北海道に追いやられ/送られ、開拓事業に携わることになった。
- ⑤ 筆者が会津を訪問した時に最も印象深かつたのは、ガイドが「元同盟国」の新潟県長岡市から来た観光客に向かって「その節は先祖がお世話になりました/先祖を助けていただいた御恩に感謝します。」と頭を下げつつ言つたことだ。
- ⑥ 何の価値もない
- ⑦ 冷害のため四年間凶作が続いた。
- ⑧ さらに悪いことに/災いはそれだけで終わらず
- ⑨ 生活苦にあえぐ小作人の女の子たちは遊郭に、男の子たちは炭坑に送られた。
- ⑩ 彼の墓は鳥海山の山麓にひっそりと建てられている。
- ⑪ 戦時中には故郷に錦を飾つた工藤だったが、敗戦後は彼の「功績」をたたえることは許されなかつた。
- ⑫ プロパガンダ
- ⑬ アジア諸国と手を携えて大東亜の共栄を実現する
- ⑭ 満州国は貧困にあえぐ農民に夢をもたらししたが、それ以上の不幸をももたらしした。
- ⑮ 満州国崩壊後

中国語で学ぶ日本⑨東北 単語表現帳 氏名

1 骨組み/糊付けする/2 広く知られる (成語)	
4 どうしようもなくなる (成語)	
1 未曾有の/2 凄まじい勢いの大津波/3 地震観測所	
5.6 なすすべがない/7 想定外の大惨事 (各成語)	
8 同じ過ちを繰り返す (成語) /水害	
9 自然を征服する/10 水位は瞬く間に上昇する	
11 防災訓練にあまり熱心ではない。	
12 なんとか生き延びた人も大変な苦勞をした。	
13 行き場を失う/落ち着ける場がない (各成語)	
14 飢えと寒さにさいなまれる/ 居ても立ってもいられぬ (各成語)	
15 仮設住宅/インフラ/16 行方不明	
17 亡き家族の面影が昨日のように思い出される。	
17 家族写真を前に泣き崩れる。/18 大災害	
18 計り知れぬ (成語) /九死に一生を得た被災者	
18 意気消沈 (成語) /被災地/ボランティア活動	
19 困っている人に救いの手を差し伸べる (成語)	
20 生活必需品 (成語) /21 チャリティコンサート	
22 赤十字/国境なき医師団/NGO	
23 鉄筋構造/24 見慣れた光景になる (成語)	
25 花輪/慰霊祭/26 衆知を集める (成語)	

2 前年度落第し留年した学生/3 車掌/スリ	
5 はじめから終わりまで（成語）/ 6 やる気がない	
8 納得がいかぬ/口先ではいと答えた。	
10 死体解剖を嫌がる/12 纏足/13 一通り目を通す	
15 銃殺/19 しょんぼりする 21 状況もぱっとしない	
21 手紙を書くのものはばかれる。	
22 音信不通（成語）/ 25 訛ったイントネーション	
1 時代に翻弄された人/侵略者の片棒を担がされる	
2 逆賊/3 連名で嘆願書を出す/無抵抗/4 追いやられる	
5 元同盟国/先祖がお世話になりました/7 凶作	
8 さらに悪いことに/9 遊郭に売る/炭坑に送る	
10 彼の墓は山麓にひっそりと建てられている	
11 故郷に錦を飾る（成語）/12 プロパガンダ	
13 アジア諸国と手を携える	

通訳案内士試験道場中国語で学ぶ日本⑩北海道

札幌

- ① 地大物博 広くて豊かな
- ② 日本最大の米どころ/穀倉地帯の一つだ。
- ③ 食糧（穀物）と牧畜（畜産）等
- ④ 兴致勃勃 興味津津
- ⑤ 千姿百态 様々な形
- ⑥ 色とりどりのイルミネーションが雪像に一層ファンタジックなムード(幻想的な趣き)をそえてくれる。
- ⑦ それがよく出そうなおいしい味噌ラーメンだ。
- ⑧ 高層ビルや立体駐車場が建ち並ぶ通りに 17 軒ものラーメン屋が軒を連ねている。送料を払ってラーメンの材料を郵送（宅配）してくれる店もある。
- ⑨ ここのキャンパスは緑豊かなことで知られている。
- ⑩ 多くの日本の高等教育機関ではお雇い外国人たちを招へいした。
- ⑪ クラーク博士が招請に応じて、札幌農学校の教頭として赴任してからというもの、当校の教師の指導力は向上した。
- ⑫ この熱心な教師は多くの近代日本の人材を育んだ。
- ⑬ 「少年（青年）よ、大志を抱け」

開拓精神と夕張

- ① 謹小慎微 石橋をたたいて渡る、几帳面すぎる
- ② 道産子/道民は小さいことにこだわらず、とにかくまずやってから考える人が特に多い。
- ③ 美其名曰 よく言えば～だ/美化して（誇らしげに）言う
- ④ 鉱夫たちがここに採掘にきた。
- ⑤ 人々の生活レベルは日に日に向上し、暮らしにもゆとりがでてきた。
- ⑥ 好景不長 よいことは続かない
- ⑦ 60年代をターニングポイント(転換期)として、炭鉱は斜陽産業になった。
- ⑧ ずさんな財政政策のため負債は雪だるま式に膨れ上がった。
- ⑨ 2006年には財政難(危機)が頂点(ピーク)に達し、2010年の国勢調査によると夕張市の人口は60年代の1割以下にも満たなかった。
- ⑩ それに伴い景気も悪化しいろいろな業種も店を畳んだ/廃業した。
- ⑪ 死気沉沉 寂れきってしまった。
- ⑫ 無い袖は振れず、
- ⑬ 日本初の財政破たん宣言

- ⑭ これによって日本の各地方自治体（都道府縣市町村）は慌てふためき、次々と夕張市を反面教師/他山の石と（二の舞にならぬように）した。
- ⑮ 大なたをふるって公務員を削減した。
- ⑯ 明日は我が身、という不安定な職業
- ⑰ 先人の残してくれた開拓者精神を大切に守り続けて、

アイヌ人を取りまく社会

- ① 大学教授でさえあっけにとられ（きょとんとし）、口ごもって（答えに詰まって）しまうだろう。
- ② アイヌ人を野蛮な「蝦夷」即ち「北方の野蛮人」に分類していた。
- ③ 北米のインディアン（先住民）同様、
- ④ この地を占領しようとたくらみだした。
- ⑤ 和人の大規模な入植/移住（アイヌ人にとっては「侵入」）により、アイヌ人が大自然と仲良く共存する環境も破壊された。
- ⑥ 夏の黄金色のひまわり畑や青空の下、じゅうたんのように広がるラベンダー畑、
- ⑦ 青々としたとうもろこし畑、農場に積み重なった飼葉/まぐさなど
- ⑧ みんなの憧れの景勝地
- ⑨ 人定勝天 人間が自然を支配すべきだ
- ⑩ 絶滅に瀕した民族の伝統文化
- ⑪ 原住民/土着民
- ⑫ 人種差別
- ⑬ 少数民族に対する配慮がほとんどない。
- ⑭ ダムを築く
- ⑮ 無関心だ
- ⑯ 社会のマイナス面/暗い一面/裏の部分
- ⑰ 九十年代になって日本初のアイヌ人の萱野茂議員が現れた。（登場した）
- ⑱ 彼は議員に当選した後もおごらず（お高く留まらず）に、自民族の暮らしのために奔走した/駆けずり回った。
- ⑲ 日薄西山 失われ/廃れつつある
- ⑳ 孤軍奮戦 孤軍奮闘
- 21 ユーカラの（歌いながら語る）伝統は急速に廃れつつある。
- 22 悪いことは重なるもので（追い打ちをかけるように）、語り部（民間伝承を伝える人）の多くは高齢化しつつあり、この民族伝統の「生き字引」がこれらの伝説を人々に伝える機会もどんどん少なくなった。
- 23 大至急継承者を養成することが当面の急務となった。

- 24 そこで彼は後世に残すためにアイヌ語とユーカラの録音に着手した。
- 25 これらの物語をスラスラ暗唱できるほどにマスターした。
- 26 口伝でなければ、物語全体の意味を十分に伝えることができないのだ。
- 27 抜本塞源 抜本的な
- 28 アイヌ人の生活の問題は相変わらず改善されなかった。
- 29 多くのアイヌ人がずっと従順な態度を保って（じっとがまんして）きたが、このような日々いつまでも耐えていけるわけにはいかない。
- 30 我々が胸を張って/堂々と生きる時代になったのだ。

アイヌ文化

- ① アイヌ人は生まれつき二重まぶたが多く、一重まぶたは少ない。
- ② 民族特有の柄の刺繍が施された上着をきる
- ③ 実はまるで双子のように似ている。
- ④ 大地に春が戻ってくるとあらゆるものが息を吹き返し、野山いっぱい広がる草花が大地を覆い尽くす。
- ⑤ あらゆる/生きとし生けるものに魂や神々が宿る
- ⑥ 无处不在 どこにでもある
- ⑦ アイヌ人は捕まえた小熊を「神の子」として人間の乳で真心をこめて飼う。
- ⑧ 載歌載舞 歌に合わせて踊る
- ⑨ 和人の間で争い（もめ）事があっても、相手の顔を立てながらも相手の腹を探り、決してストレートに言わない。
- ⑩ 相手も引っ込みが付かなくなり、根に持つのではと危惧（心配）するからだ。
- ⑪ 彼らは人前/公衆の面前で激しい（丁々発止の）論争をする。
- ⑫ 自分の考えをきちんと述べてどちらが正しいか判断し、最後に審判が場を丸く収め/うまくまとめるのだ。
- ⑬ 禍从口出 口は災いのもと
- ⑭ 不打不成交 雨降って地固まる/言わなければ分かり合えない

北海道サイクリングとクマの話

- ① 自転車の前後の荷台にキャリアバッグをつけ、サドルの下にもバッグを提げ、シュラフ/寝袋にテントを持ち、
- ② 日本列島 4800km を縦断した。
- ③ だだっ広い土地の割に人はまばらだ
- ④ 一日の飲料水とパンなどの非常食

- ⑤ 夜には吐く息が白くなることもあり、寝るときはシュラフ代わりにダウンジャケットの上下で体を包んだ。
- ⑥ たくさんの人がぎゅうぎゅうの部屋で雑魚寝をする。
- ⑦ 哲学的な話にふける人さえいた。
- ⑧ サイクリスト／旅人たちがここに泊まって怒られない/だれも気にとめない。こんなところで旅人に会い、意気投合して一晩中飲み明かし、語り明かしたことも懐かしい。
- ⑨ 牛や羊がのどかに草をはむ風景や富良野のラベンダー畑
- ⑩ アメリカの農場をモデルに作り替えたこの土地
- ⑪ 訪れる人も少なく、まばらな村があるだけだ。
- ⑫ 冬には北風が吹き、至る所に雪もちらつき、ここを白銀の世界に変える。
- ⑬ エゾシカなどの野生動物は人間の数よりも多く、フクロウまでいる。
- ⑭ 大型哺乳類
- ⑮ そうするとちょっかいを出したくなるので、死んだふりは得策ではありません。
- ⑯ では一目散に逃げるといのは？
- ⑰ ヒグマは自分に背を向ける動物を追いかける習性があり、最高時速 50 kmで走るのです。
- ⑱ 「人体実験」を経ているだけに説得力があった。
- ⑲ 「年を取ったなあ/もう若くない」という気もするがレンタカーを借りて広大な北海道の地を駆け回った。
- ⑳ コンビニでサイクリストたちに会うたびにかつての自分の姿を重ね合わせ/思い出し、ジュースを差し入れした。彼らとおしゃべりしているときに最も受けるのは、やはり「ヒグマにあった時の自衛策/逃げ方」である。

中国語で学ぶ日本⑩北海道 単語表現帳 氏名

1 広くて豊かな（成語）/2 米どころ/3 穀物/畜産	
4 興味津々/5 色とりどり/イルミネーション	
5 ファンタジックなムードを添える/6 イベント	
7 よだれが出そうなほど美味しい味噌ラーメン	
8 高層ビル/立体駐車場/ラーメン屋/送料/宅配	
9 キャンパス/緑豊かだ/10 お雇い外国人	
11 招請に応じ赴任する/教師の水準が向上する	
12 教師と生徒（比喩）/13 少年よ、大志を抱け	
1 石橋を叩いて渡る（成語） 2 小さいことにこだわらない	
2 とにかくまずやってから考える/ 3 よく言えば～	
4 鉱夫/採掘/5 暮らしにゆとりができる（成語）	
6 良いことは続かない（成語）/7 転換期	
8 ずさんな財政管理/雪だるま式に膨れ上がる	
9 財政難/国勢調査/10 店じまいする	
11 寂れきった/12 無い袖はふれぬ（各成語）	
13 財政破綻/14 都道府県市町村/慌てふためく（成語）	
15 反面教師/37 大なたをふるう（各成語）	
16 明日は我が身/不安定な職業（比喩）	
17 開拓者精神を大切に守り続ける	
1 きょとんとする/口ごもる/2 A を B に分類する	

3 たくらむ/4 移住（入植）/6 黄金色のひまわり畑	
6 ラベンダー/9 人間が自然を支配すべきだ（成語）	
10 絶滅に瀕した/11 原住民/12 人種差別	
13 少数民族に対する配慮がほとんどない	
14 ダムを築く/15 無関心だ/16 社会の裏の一面	
17 お高く止まる/19 廃れつつある（各成語）	
22 語り部/生き字引/23 当面の急務（成語）	
25 スラスラ暗唱する/27 抜本的な（各成語）	
29 従順な態度を保つ/30 胸を張る（各成語）	
1 生まれつき/二重まぶた/民族特有の柄の刺繍	
3 双子/6 どこにでもある（成語）/8 歌いながら踊る（成語）	
9 相手の顔を立てる/相手の腹を探る/ストレートに言う（成語）	
10 引っ込みがつかない/根に持つ（成語）	
11 公衆の面前/丁々発止の論争（成語）	
12 きちんと述べる/白黒をつける	
12 場を丸く収める/13 口は災いの元（成語）	
14 雨降って地固まる（成語）	
1 サドル/寝袋/2 日本を横断する	
3 広い割に人がまばらだ（成語）/非常食	
5 吐く息が白い/6 雑魚寝する/7 哲学談義にふける	
8 旅人がここに野宿しても怒られない。	

8 一晩中飲み明かし語り明かしたことも懐かしい	
9 牛や羊がのどかに草を食む/11 まばらな村	
12 白銀の世界/13 フクロウ/14 ほ乳類	
15 死んだふりする/16 一目散に逃げる	
17 自分に背を向ける動物を追いかける習性がある	
17 最高時速 50km/18 人体実験/説得力がある	
19 もう若くはない（成語）/レンタカーで駆け回る	
20 ジュースを差し入れる/自衛策	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑪食文化

米中心の食文化

- 1 稲の苗や耕作技術
- 2 米やアワ
- 3 母乳/お乳を飲む以外に、重湯ものむ。
- 4 米を原料として作ったもち神様に供えるための食べ物だ。
- 5 五谷豊登 五穀豊穰
- 6 普段は一日中ため息をついている貧しい人でさえ、家財をなげうっても（有り金をはたいても）雑穀を混ぜない白米、または米の粉で作ったもちを食べたものだ。
- 7 もちとは粘り気のあるもち米で作ったもので、まずもち米を蒸し、杵と臼でついてもちになるのだ。
- 8 それは魚や肉、野菜ともちを一緒に煮たもちのスープである。
- 9 酩酊大醉 酔いつぶれる
- 10 米を原料に醸造したものだ。
- 11 節句（お祝い、行事）の日になるたび、日本人はにぎやかな雰囲気の中でお腹いっぱいご飯やもちや日本酒（清酒）をいただく。
- 12 日本人は無意識のうちに（潜在的に）米を神聖視し、一粒たりとも粗末にしない（残さない）のだ。

魚中心の料理

- ① 日本の食文化の歴史においてかなり長い間肉食を禁じ、菜食をとってきた。
- ② 神道でも動物の肉を「けがれ」とみなした。
- ③ イノシシ、スッポン、クジラ
- ④ 魚料理はごちそうとみなされるのだ。
- ⑤ カレイやサバなどに醤油、みりん、料理酒、砂糖をいれ、弱火（とろ火）で煮こんだものである。
- ⑥ 普通は片栗粉を使わない。
- ⑦ 調理した尾頭付きの魚なら、盛り付けるときに身の厚い背中部分を外に、腹の部分は客に（手前に）向け、魚の頭は左にする。
- ⑧ これは左手で頭を押さえ、右手で箸を持って食べやすくするためである。
- ⑨ アユ、ナマズ、フナなどの川魚をよく/好んで食べる。
- ⑩ 和食が重視する/重きをおくのは手を加えすぎない/調理し過ぎないことである。
- ⑪ 例えば春のほうれん草、夏の豌豆、秋のサツマイモ、冬のにんじんなどのように、旬の新鮮な料理を食べるのだ。
- ⑫ グルメの口癖

- ⑬ 鰹節でうまみを出す/だしをとる
- ⑭ 新鮮な魚を薄切りに（スライス）して、醤油とわさびにつければ食べられる。
- ⑮ 火を通さない料理というと、日本人はサラダもよく食べ、特にトーストを食べる時ハムエッグと一緒に食べるのだ。
- ⑯ 美中不足 玉にきず

刺身と寿司

- ① 出来上がった（握った）寿司/鮨をベルトコンベアの上に載せる。
- ② 包丁さばきが主であり、煮たり焼いたりは従（その次）である。
- ③ 国が異なれば、魚の種類も色々異なる。
- ④ マグロのように大きな魚は、生で食べるものの筆頭/生が一番といえよう。
- ⑤ そして一部の小魚、例えばイワシなどのような青魚は足が速い（くさりやすい）。
- ⑥ ウロコとはらわたを事前にとることは、食材の新鮮さ以上に大切であろう。
- ⑦ 魚をさばく/おろすときには、包丁はもちろん板前（料理人）の両手とまな板、包丁の柄まで清潔にしなければならないのはいうまでもない。
- ⑧ さしみ、あるいは火の通った魚を酢飯の上にのせて一口サイズに握った鮨
- ⑨ 塩か酢でしめる。
- ⑩ 白魚、車エビ、ハマチ（ブリ）、ヒラメなど。
- ⑪ その日本語の発音は「めでたい」という発音と通ずるからである。
- ⑫ 瘦死的骆驼比马大 腐っても鯛
- ⑬ 魚料理がもつ本当のおいしさを中国のみなさんにも味わっていただければ幸いです。

発酵食品

- ① キムチ
- ② アミノ酸を含んだ副食品とアツアツ（ほかほか）の白いご飯
- ③ できあいのおかず（惣菜）でも
- ④ 大豆を発酵させた食品で、ねばねばし、独特のにおい（味）もある。
- ⑤ 日本人は納豆をおかずにしてごはん一膳をすっきりたいらげるのだ。
- ⑥ 肉類にもひけをとらない（匹敵する・遜色ない）
- ⑦ そして大豆にはイソフラボンが含まれる。
- ⑧ それには女性ホルモンに似た作用が備わっている。
- ⑨ 中高年女性の骨粗しょう症を予防するのに役立つ。
- ⑩ そのネバネバする系には血栓を予防する成分が含まれる。
- ⑪ 梅を砂糖や塩で漬けた加工食品の一種
- ⑫ 欲速則不达 急がば回れ/急いては事をし損ずる
- ⑬ 梅干しは防腐効果もあり、食欲もわく（をそそる）ので、日本人が弁当やおにぎりを持

っていく時には必ず梅干しをご飯に入れるのだ。

- ⑭ 喉を通らないという中国人も少なくない。
- ⑮ 黒ごまは脳を活性化させることができる。
- ⑯ (ユネスコの) 無形文化遺産に指定された和食は、長生きさせてくれる栄養の宝庫といえるのだ。

しゃぶしゃぶ

- ① 薄切りにしたヒレ肉、春雨（しらたき）、豆腐、色々な野菜を沸き（煮え）立っただし汁に入れて軽く湯がき（くぐらせ）、とりだしてタレにつけて食べる。
- ② それはすき焼きとともに海外でも知られる日本料理である。
- ③ この種の牛肉は細い糸のような脂身（さし）が入っている。その最もおいしい食べ方がしゃぶしゃぶなのだ。
- ④ 肉を沸き上がっただし汁でさっとゆがく（にさっとくぐらせる）。牛肉に八割がた火が通ったらとてもやわらかくなり、口に入れるとうまさ広がり、何とも言えないおいしさだ。
- ⑤ 大阪のあるレストランが北京のマトン（羊）のしゃぶしゃぶからヒントを得て、
- ⑥ しゃぶしゃぶという名前の語源は、強火でぐらぐら沸き立っただし汁の中で牛肉を湯がく擬音語だというが、定説ではない。
- ⑦ 土鍋
- ⑧ だし汁は牛肉や野菜を煮だしたものだが、昆布でだしをとってもよい。
- ⑨ ゴマをすりつぶして醤油などに混ぜたゴマだれや、かんきつ類の果汁と醤油をまぜ合わせて作ったポン酢など
- ⑩ 寒い季節に、家族や仲間たちと一緒に鍋を囲み、おいしいしゃぶしゃぶを食べる（に舌鼓をうつ）と、体もあたたまり、雰囲気も盛り上がる。

日本人と麺類

- ① 麺類に目がない
- ② 日本では地域ごとに料理が全般的に異なるということはないが、麺だけは特徴がある。
- ③ さつま揚げ/練り物の天ぷら
- ④ 「時は金なり」をモットーとする大阪人が油揚げののった「きつねうどん」を考案した。
- ⑤ コシ/歯ごたえがある食感で人気である。
- ⑥ 刻みネギをかけたぶっかけうどん
- ⑦ 地元の人にはやはりうどんである。
- ⑧ ゆで汁/そば湯は消化を助ける
- ⑨ そばつゆにそば湯を入れて飲み干してしまう
- ⑩ そばで一杯やる

- ⑪ 扇子を箸に見立ててそばをすする音を出し、食べながらしゃべり、盛り上がったところで話をしめるのである。
- ⑫ そばを冷水でさらした後、おろしたばかりのワサビを入れたそばつゆにつけて食べる戸隠そば
- ⑬ 誰も知らない/無名である
- ⑭ ここでは醤油ラーメン屋以外の飲食店を探すのは困難だ。
- ⑮ 敗戦後に中国から引き揚げてきた人
- ⑯ 地元の在日朝鮮人が広めた盛岡冷麺
- ⑰ ソーキ（豚のあばら骨）や三枚肉、テビチ（豚足）などをのせた沖縄そば
- ⑱ 太くて厚い手延べ/手打ち麺にカボチャなどの野菜類をのせたほうとう
- ⑲ 地元の人はいくつかのうどんの一種だと分類するのに抵抗を感じる。ここからもいかに麺類に愛着を持っているかがわかる。
- ⑳ よそから来た人にとって麺類というのは地元のB級グルメかもしれないが、故郷を遠く離れた人々にとってはふるさとの味/ソウルフードなのである。

中国語で学ぶ日本⑪食文化 単語表現帳 氏名

1 稲の苗/耕作/2粟 ^{あわ}	
3 お乳を飲む/重湯/5 五穀豊穡（成語）	
6 ため息をつく/有り金をはたく（各成語）	
6 雑穀を混ぜない白米/7 粘り気のあるもち米	
7 臼と杵について餅にする	
8 ^{ぞうに} 雑煮（20字前後の中国語で説明せよ）	
9 酔っ払う（成語）/10 醸造/11 日本酒	
12 無意識のうち/	
1 菜食/2 けがれ 3 イノシシ/スッポン/クジラ	
5 カレイ/サバ/みりん/とろ火で煮る	
6 片栗粉/7 尾頭付きで調理した魚/盛り付け	
9 アユ、ナマズ、フナなどの川魚をよく食べる	
11 旬の新鮮な食べ物/ほうれん草/えんどう豆	
12 グルメ/口癖/15 火を通さない料理	
15 サラダ/トースト/ハムエッグ/16 玉に傷	
1 握ったすし/ベルトコンベア/2 包丁さばき	
5 ^{いわし} 鰯 などのような青魚は足が速い	
6 ウロコとはらわたを事前に取り	
7 魚をさばく/板前/まな板/包丁の柄	

8 酢飯/9 塩か酢でしめる	
10 白魚/車エビ/ハマチ/ヒラメ	
11 めでたい/12 腐っても鯛（各成語）	
1 キムチ 2 アミノ酸/アツアツの白いご飯	
4 納豆（30 字前後の中国語で説明せよ）	
5 納豆をおかずにご飯一膳をすっかり平らげる。	
6 肉類にひけを取らない	
7 イソフラボン/8 女性ホルモン/9 骨粗鬆症 ^{こつそそうしょう}	
11 梅干（20 字前後の中国語で説明せよ）	
12 急がば回れ（成語）/13 おにぎり	
14 喉を通らない/15 脳を活性化する	
16 世界無形遺産/長生きする（成語）/栄養の宝庫	
1 薄切りにしたヒレ肉/（食材の）春雨/タレ	
2 すき焼きとともに海外でも知られる和食	
3 脂身/5 北京の「涮羊肉」からヒントを得る。	
6 強火でぐらぐら沸き立っただし汁の中で肉をゆがく。	
6 擬音語/7 土鍋/8 昆布でだしをとる/	
9 すりつぶしたごま/ポン酢	
10 体も温まり、雰囲気も盛り上がる	
1 麺類に目がない/2 地域ごと異なる料理の体系	

3 さつま揚げ/4「時は金なり」をモットーとする人	
4 きつねうどん（10字前後の中国語で説明）	
5 コシがある/6 刻みネギ/8 ゆで汁は消化を助ける	
9 そばつゆ/そば湯/10 そばで一杯やる	
12 そばを冷水でさらす/13 無名だ（成語）	
15 中国から引き揚げてくる/16 在日朝鮮人	
17 豚のあばら骨/三枚肉/豚足/	
18 太くて厚い手打ちうどん/	
19 これをうどんの一種に分類するのに抵抗を感じる。	
19 ここからもいかに麺類に愛着を持っているかわかる。	
20 B級グルメ/故郷を遠く離れる/ソウルフード	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑫温泉

温泉天国日本

- 1 源泉掘削/ボーリング技術
- 2 平淡无奇 ありきたりな
- 3 日本人は温泉の楽しみ方も実によく知っている。
- 4 有給休暇を利用して秘湯（山奥深いところの/ひなびた温泉）をわざわざ訪れる。
- 5 木の葉のざわめき（カサカサいう音）を聞きながら
- 6 今日でも近くの温泉施設に入ることによって疲労回復やストレス解消、または心のいやしを求めて行ったりする人も多い。

温泉旅館

- ① 老字号 老舗
- ② 暖簾をくぐり、玄関に入ると、番頭さんの明るい/よく通るあいさつ声が聞こえる。行き届いた(至れり尽くせりの)もてなしに、客は大いにぬくもり/あたたかさを感じるのだ
- ③ 宿泊手続きを終えてから、仲居さんが客を部屋まで案内してくれる
- ④ 四角い座卓（ちゃぶ台）と座布団が数枚
- ⑤ 旅館側は地元特産の和菓子、または漬物や佃煮などの塩味のきいたお茶請けを客に出す。
- ⑥ 一泊料金に二食分が含まれる。
- ⑦ 入湯税
- ⑧ 一定の（決まった）時間が来たら男湯と女湯を入れ替える。
- ⑨ 体に合う浴衣が選べる。
- ⑩ 興ざめである。（雰囲気が出 ない/ピンとこない）
- ⑪ 風邪をひかない（湯冷めしない）ように旅館が客に用意した羽織（丹前）を羽織るのもお忘れなく。
- ⑫ せっかく温泉に来たのだから、思わず満喫したくなるものだが、
- ⑬ だが、「過ぎたるは及ばざるがごとし（浸かり過ぎはよくない・ほどほどが一番だ）」、入浴時間が長すぎると、湯あたりといって体調が悪くなることもある。

秋田県 鶴の湯温泉

- ① ふもと一帯のまばらな村落には温泉があちこちに点在する。
- ② 今なお昔ながらの湯治場の様子（面影）が残っている。
- ③ ここは山奥に位置する一軒家の温泉旅館で、周りを見渡してもあるのはそびえたつ大木ばかりで家一軒もみあたらない。

- ④ 傷を負った鶴が一羽温泉につかっていると、信じがたいことだが傷がすっかり治った。
- ⑤ ゆったりと体を養生させる。
- ⑥ 揚名四方 その名を馳せる（とどろかす）
- ⑦ そのわらぶき屋根や囲炉裏という昔ながらの客間
- ⑧ 涼しい木陰の下、木漏れ日が露天風呂の水面を照らし、耳元にケヤキ／ブナ林のざわめき/かさかさいう音が聞こえてくる
- ⑨ なまりのある話し方

群馬県 草津温泉

- ① 山中の棚田（段々畑）の奥に位置するこの温泉は八世紀に人々から敬われ/慕われた僧侶、行基によって発見されたものだ。
- ② 高麗人参などの漢方薬
- ③ 怪我や病気を治せる貴重な資源で、
- ④ 昔話でもしばしばよくきく/霊験あらたかな温泉とうまく病気を治してくれる僧侶と結びつけたがったのだ。
- ⑤ アトピーやリュウマチ
- ⑥ 人々は足腰が痛いだけでもよく病気ということにして/病気にかこつけて、しばらくの間ここに滞在した。
- ⑦ 抗生薬 抗生物質
- ⑧ 各種疾病のリハビリセンター
- ⑨ 温泉番付
- ⑩ 外をぶらついてみると、
- ⑪ バスターミナル
- ⑫ 硫黄の匂いが鼻をつく。
- ⑬ まずお湯を田の字型の木枠に流して冷ます。
- ⑭ パイプ/配管で各旅館に送られる。
- ⑮ 日本は高度経済成長期に入り、事業が右肩上がりに伸びた企業は、自社の従業員の社員旅行にもしばしばここを選んだ。
- ⑯ 様々な合宿を行う
- ⑰ 旅行シーズンには多くの団体客がここにどっと押し寄せ（大挙し/殺到し）、休暇を楽しんだ。

箱根温泉

- ① あちこちに分布している

- ② 根っから（生まれつき）の風呂好きだ。
- ③ 前因后果 なぜこのようになるのか
働き過ぎの人たちや、頭の真っ白になったお年寄りでも、ポカポカの温泉に入ると元気が回復して顔色がつやつやしてくるということはわかっていた。
- ④ 暮らしのためにあくせくとして一生を送る庶民は野良仕事/農作業で忙しくても、忙しさの合間にゆったり落ち着いて近くの温泉に入りに行くのだ。
- ⑤ 自然の美しさが楽しめる別天地（桃源郷）
- ⑥ 水ぶくれ（水疱瘡）が流行った。
- ⑦ 慈悲深いお坊さん
- ⑧ ここのお湯はよく効くし/効能が高い、疫病予防の効果もあったのだ。
- ⑨ ネットユーザーたちはよく共同購入サイトを利用する。
- ⑩ 一泊二日の温泉旅行
- ⑪ 矢印に沿って
- ⑫ サービスもまあまあだ。
- ⑬ ひっそり静かな山奥の林で青々とした竹林を見ながら温泉に浸かった。
- ⑭ ほのかな明かりの露天風呂につかっているとき、そよ風が吹き木の葉がカサカサと風に揺れた。
- ⑮ この世俗を離れたような（非日常的な）空間から帰りたくなくなるほどだ。
- ⑯ 普通行人を取り調べた関所

温泉文学

- ① 日本ならではの一種の文学ジャンル
- ② ホテルや旅館にこもって/缶詰めになって著作に没頭する。
- ③ 気が散らないように大都市のホテルに缶詰めになるのは主に社会現象を暴く/暴露するノンフィクション/ルポタージュ作家やジャーナリストだった。
- ④ 義理人情/人情の機微を描く文学者/小説家
- ⑤ 都会の垢を洗い落としてくれるのは雪の中の温泉郷と雪のように色白な娘だった。
- ⑥ その前にそれぞれ異なる冠詞を付ける。
- ⑦ 彼はそこで旅芸人たちに出会うが、その中の踊子が好きになってくる。
- ⑧ ひねくれた性格が素直になってくるのもその踊子のおかげだ。
- ⑨ 新しい自分に脱皮する/生まれ変わる場所
- ⑩ 単身兵庫縣城崎温泉に赴く。
- ⑪ イモリを見て面白半分に小石を投げたところ当たってしまうなどの「事件」により、はっと気が付いた。
- ⑫ 列車事故でなんとか助かった/命拾いした/九死に一生を得た自分なのに、なんとなく/軽い気持ちでイモリを殺してしまった。そこから彼は生と死は決して両極端/制反対な

ものではなく、表裏一体/コインの両面のようなものだと気づいた。

- ⑬ このような作品の背景として温泉ほど適したところはない/温泉はうってつけだ。
- ⑭ 地元の生活習慣や付き合い方などの「田舎暮らし」に戸惑い、最後まで地元の人に心を開かなかった主人公が唯一認めたのが四国屈指の道後温泉だった。
- ⑮ 知り合いもおらず土地勘もない/土地にも不案内な場所で、温泉というのはまるで砂漠の中のオアシスのようなものだったのだ。

温泉入浴時の注意事項（アナウンス）

- ① 貴重品をフロント（カウンター）にお預けください。
- ② 服を全部脱いで湯船にお入りいただきます。水着などは着ず、バスタオルなども湯船につけることはお控えください。
- ③ まず手足にお湯をかけ/かけ湯をし、お湯の熱さに体を慣らしてから湯船にお入りください。
- ④ 入浴時には大声で騒がないようにご注意願います。
- ⑤ 髪の毛の長いお客様は髪を上にとめて下さい。
- ⑥ ご協力よろしくお願ひいたします。

中国語で学ぶ日本⑫温泉 単語表現帳 氏名

2 ありきたりな（成語）/4 有給休暇/秘湯	
6 ストレス解消/心の癒し/	
1 老舗/2 暖簾をくぐる/番頭/行き届いたもてなし	
3 仲居さんが客を部屋まで案内してくれる。	
4 座卓/座布団/5 和菓子/7 入湯税	
8 男湯と女湯を入れ替える	
9 体に合う「浴衣」を選ぶ	
10 興ざめた/11 風邪をひかないように	
12 せっかく温泉に来たのだから	
13 ほどほどが一番だ（成語）/湯あたり	
1 まばらな村落には温泉が点在する	
2 昔ながらの湯治場の面影	
3 一軒家/大木がそびえる（成語）	
4 信じがたいことに（成語） 5 ゆったり体を養生させる	
6 四方に名を馳せる（成語）/7 藁葺き屋根	
8 露天風呂/9 なまりのある話し	
1 棚田/2 高麗人参/漢方薬	
4 霊験あらたかな/うまく病気を治せる（成語）	
5 アトピー/リウマチ/6 足腰が痛い	
6 病気ということにしてここに滞在する	

7 抗生物質/8 リハビリセンター/9 番付	
11 バスターミナル/12 硫黄の匂いが鼻をつく	
14 パイプ/15 高度経済成長期/右肩上り（成語）	
15 従業員/16 合宿/17 旅行シーズン/	
17 どっと押し寄せる（成語）	
1 あちこち分布する（成語） /	
2 根っからの風呂好き/3 なぜこうなるか(成語)	
働きすぎの人/頭の真っ白なお年寄り	
ポカポカの/顔色がツヤツヤする（成語）	
4 暮らしのためあくせくして一生を送る	
4 野良仕事/体が離せない/忙しさの合間に（成語）	
4 ゆったり落ち着く/5 自然の美しさ（各成語）	
6 水ぶくれ/7 慈悲深い/8 効果がある	
8 疫病予防/9 ネットユーザー/共同購入サイト	
10 一泊二日/11 矢印/12 サービスもまあまあだ	
13 ひっそりした/青々とした竹林	
14 ほのかな明かり/15 世俗を離れた（成語）	
16 通行人を取り調べた関所	
2 ホテルに缶詰めになって著作に没頭する	
3 気が散らぬようにホテルに缶詰めになる。	
3 ノンフィクション/5 都会の垢を洗い落とす	

5 温泉郷/7 旅芸人/8 ひねくれた/素直な	
9 新しい自分に脱皮する（成語）	
11 面白半分にイモリに石を投げたら当たった。	
12 事故にあい命拾いする/軽い気で/表裏一体	
13 このような作品の背景には温泉はうってつけだ	
14 田舎暮らしに戸惑う/地元の人に心を開く	
15 知り合いもおらず土地にも不案内だ（成語）	
15 オアシス	
2 服を全部脱ぐ（成語）/水着/バスタオル	
3 手足にお湯をかける/4 大声で騒ぐ	
5 髪を上にとめる/6 ご協力お願いします。	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑬建築

世界最大の城郭、江戸城

- ① 雁过拔毛 生き馬の目を抜く（群雄割拠 下剋上）
- ② 守りの堅い城
- ③ とともに（いずれも）豪華絢爛さによって城郭建築文化の代表とみなされる。
- ④ そのけた外れの規模は北京の故宮（紫禁城）（75 万平米）やソウルの景福宮（56 万平米）をはるかにしのぎ、茫然とする（啞然とする/あつけにとられる）ほどだ。
- ⑤ 一无所有 何もない
- ⑥ 海に面した防波堤以外に、城にはただ雑草生い茂る土塀があるだけで、城内の建物も農家となんら変わりなかった。
- ⑦ 徳川家康は出稼ぎ労働者（人足）たちを日勤と夜勤にわけ、急ピッチ（大急ぎ、突貫工事）で大規模な修復をさせた。
- ⑧ 統帥権（軍の指揮権）を握った徳川家康は、戦により混乱した世の中と民の不安定な生活の続く戦国時代に終止符（ピリオド）を打った。
- ⑨ 江戸城拡張のため、彼の鶴の一声によって国内すべての大名に資金や労力を出させた。
- ⑩ 後世の人の推測では、当時徳川家康はそのうちの一つを本丸とし、その他の二つの城郭を外郭（二の丸、三の丸）としたという。
- ⑪ それを基本として空堀を埋め、城郭の内側を拡大すると同時に外堀をほった。
- ⑫ 江戸城はこのようにしてようやく目鼻がついた。
- ⑬ 幕府が全国に向けて、江戸の町づくりの壮大な工事計画を発表/公表し、大規模な資材調達を始めた。
- ⑭ 神田台を削り平らにして出てきた土の塊は江戸城に接する入江を埋めるのに使われた。
- ⑮ 一箭双雕 一挙両得
- ⑯ 戦のとき（有事の際）の司令塔の役割を果たし
- ⑰ 本格的に鍬入れ（工事に着工）してから、半世紀を経て江戸城拡張工事は完了した。
- ⑱ 大火により、江戸の町は全焼した。災いは重なるもので、苦勞に苦勞を重ねて修築した天守も燃えてしまった。結局はせっかくの苦勞も水の泡になったのだ。
- ⑲ 当時天高くそびえた（天をつくほどの）天守も、今では影も形も（見る影も）ない。
- ⑳ 二つのやぐらと城門

世界遺産姫路城

- ① 白い城壁や屋根瓦はお互いの美しさを引き立てあい／美しいコントラストをなし、深い魅力を秘めている。
- ② 华而不实 見かけだけ立派な
- ③ 生死存亡 生きるか死ぬか

- ④ 落城し（城が落ち）ないように
- ⑤ 石垣の上部は外に向かって反り返っ（張り出し）ているので、登りにくくなっている。
- ⑥ 敵を一気に入り込ませ/突き進ませないよう、わざと枝道に迷う/誘いこむようにした。
- ⑦ 道に沿っていくと袋小路に入り込んだり、遠回りになったり曲がりくねったりして行けば行くほど天守閣から遠ざかったりする道もある。
- ⑧ 天守閣や櫓はわなや不意打ちをしかけたりするのにも用いた。
- ⑨ 外に突き出した壁の下の細長いすき間から下に石を落とすことで敵が登ってくるのを防ぐのだ。
- ⑩ 城壁にも仕掛け（細工）がしてある。例えばのぞき穴（狭間）は鉄砲を設置して敵を袋のねずみに/一網打尽に/一掃するためのものだ。
- ⑪ このように、むざむざと（飛んで火に入る夏の虫とばかりに）入ってきた敵は二の足を踏み、尻尾を巻いてにげだしたりさえる
- ⑫ 風平浪静 平穩無事、天下泰平
- ⑬ 紙老虎 張り子の虎、見かけ倒し
- ⑭ 多くの城が取り壊しにあった
- ⑮ 難攻不落の姫路城も解体の危機にあった。

日本の洋館

- ① 应运而生 気運/ブームに乗じて生まれた
- ② 欧米の豪邸に、日本人の多くは目を見張った。
- ③ 明治政府は「近代国家」としての体裁を繕う（整える）ため、西洋建築を採用して道府県庁舎や市町村役場を建てた。
- ④ 政府が欧米に追い付き追い越し、古いものを捨てて一新するために建てたものだ。
- ⑤ そこには欧米に留学/洋行して西洋建築を専攻した「留学帰り」の建築家はいなかった。
- ⑥ この井の中の蛙の棟梁（親方）や職人（大工）たちにとって、見たこともない西洋建築を建てるのは、きっと手に余る（負えない）ことだったろう。
- ⑦ 仕事を請け負ってから数カ月しても設計プランの目鼻がつかない（めどが立たない）
- ⑧ 「純国産」の西洋建築
- ⑨ これは丹精込めて彫刻を施した神社の飾り屋根（破風）、伝統的な土蔵造りの白壁、寺の八角堂など、各種伝統建築を寄せ集めたものである。
- ⑩ それは見れば見るほど違和感のある、「得体のしれない/中途半端な」、もしくは「見かけ倒しの」建物だった。
- ⑪ 西洋人にたよらずとも、高嶺の花だった（手の届かぬ）西洋建築を建てた
- ⑫ 建物は来客があった時に使う洋室と普段家の人が住んだ和室の二つに分かれている。
- ⑬ 普段はやはり単純な間取り（つくり）の和室に住んだ。
- ⑭ 三つの和室をつなげていて、

- ⑮ 碁盤の目のようなさんの両面に山水画の描かれた厚紙を張って作ったふすまで部屋を仕切る。
- ⑯ これらのふすまを守るために、または落書きされないように、
- ⑰ せわしない（おちつかない）気持ちをも落ち着かせ（ゆったりさせ）てくれるカーン（コーン/カッコーン）、という音
- ⑱ それは竹筒に水を流し込み、水の重さで竹筒は上下に動く。それが石に当たると澄んだ/清らかで優雅な音がでる仕掛け/仕組みだ。
- ⑲ 桃源郷の縮図
- ⑳ 和風庭園も今では一面の芝生（草原）にかわる。
- ㉑ 特務（情報/スパイ）機関の本拠地（司令部）

京都の庭と東京の庭

- ① 京都については「上には天国が、下には京都がある」と言っても過言ではない。
- ② 京都に次ぐ庭園都市が高層ビルの建ち並ぶ東京だというと、怪訝に思う人もいるだろう。
- ③ 諸大名が幕府に逆らわないよう、藩主/大名は参勤交代を課せられていた/隔年で江戸に来て滞在しなければならなかった。そのため藩邸/大名屋敷のみならず、それに見合う庭園まで造らねばならなかった。
- ④ 「天下泰平を願いつつ、庭で四季の移り変わりを楽しみ、風流な心を持つこと。」というのは幕府の建前/表向きの理由であり、その本音/本心は各藩に巨大な庭の造園費用と維持費を負担させることにあった。
- ⑤ 非常食/食料備蓄
- ⑥ 浜離宮の入口にいかめしくそびえる城門の中には鴨を狩るための小屋があるが、これも江戸城を守るための櫓/トーチカをカモフラージュさせたものなのだ。
- ⑦ 東京の庭は世俗を離れたものではありえず、臨戦体制に置かれた/戦に備えた武士の庭なのだ。
- ⑧ 離宮は皇室の諸行事を主管する/司る宮内庁によって管理される。
- ⑨ 都民が皇室から賜ったものである。
- ⑩ 財閥に払い下げられてから一般開放され、管理権も都や市、区に譲渡された。
- ⑪ 民間の文人墨客が風雅な心をもって造った向島百花園
- ⑫ それまでの庭園が軽視して/軽んじていたバリアフリーの通路を設置した。
- ⑬ ベビーカーや車いすを押した人々でも楽しめる無料で開放された庭も多い。
- ⑭ 東京の庭は多くが樹木越しに摩天楼が見られる/目につく。
- ⑮ ジェットコースターに乗った人のキャーキャー言う叫び声
- ⑯ 京都の庭は山や塔を借景とするが、東京では都会の喧噪の中に桃源郷を見いだすのである。
- ⑰ 老荘/道家思想の「犬や鶏の鳴き声が聞こえるほど近いのに、死ぬまで外界に関心がな

い/周りのことが全く気にならない」という考えに基づくなら

- ⑱ 高層ビルや騒音に心が乱されるようであれば、あなたは本当の意味でわびさびの世界を分かっていないということになる。
- ⑲ 逆に、毎秒何億円もの資金が流動し、サラリーマンが忙しく働く六本木ヒルズの足下にある毛利庭園でも風雅な心を忘れない人たちこそ本当の文人墨客なのだろう。
- ⑳ 見る人がそこまでの境地に達しているかが試されるのが東京の庭なのだ。
- ㉑ 時代の変化とともに管理者も転々と／めまぐるしく変わること、自治体に管理させること、そして現実社会に密着していること

中国語で学ぶ日本⑬建築 単語表現帳 氏名

1 生き馬の目を抜く/3 豪華 ^{けんらん} 絢爛 (各成語)	
4 桁外れ/ソウル (二通り) / 呆然とする (成語)	
5 何もない (成語) / 6 防波堤/土塀	
6 農家となんら変わらない/7 出稼ぎ労働者/	
7 日勤/夜勤/急ピッチ/8 統帥 ^{とうすいけん} 権を握る	
8 戦で世が混乱する/民の生活が不安定 (各成語)	
9 拡張/資金を集める/鶴の一声で	
10 本丸/11 外堀/12 目鼻がつく	
13 資材調達/15 一挙両得 (成語) / 16 司令塔	
17 鍬 ^{くわい} 入れする (成語) / 18 江戸の町が全焼する	
18 災いが重なる (成語) / 結局水の泡になる	
19 空にそびえた天守も、今では見る影もない	
2 見かけだけ立派な/3 生きるか死ぬか(各成語)	
4 落城する/6 直進する (成語) / 枝道に迷わせる	
7 袋小路/8 わなを仕掛ける/不意打ちを仕掛ける	
10 仕掛けをする/のぞき穴/袋の鼠 ^{ねずみ} (成語)	
11 むざむざと/二の足を踏む (各成語)	
11 しっぽを巻いて逃げる/12 平穩無事(各成語)	
13 張子の虎/15 難攻不落/解体 (成語)	

1 気運に乗じて生まれる（成語）/2 豪邸	
2 目を見張る（成語）/3 体裁を繕う	
4 欧米に追い付き追い越す/ 古いものを捨て一新する（成語）	
5 欧米留学する（比喻表現）/留学帰り	
6 井の中の蛙（成語）/ ^{かわず} 棟梁/ ^{とうりょう} 手に余る（成語）	
7 仕事を請け負う/めどが立たぬ	
8 純国産/9 土蔵の白壁/寄せ集める	
10 違和感がある/得体のしれない（成語）/	
10 見かけ倒し/ ^{たかね} 11高嶺の花（各成語）	
13 ^{まど} 間取りが単純な和室/16 ふうすまを保護する	
16 落書き/17 せわしない気持ちを落ち着かせる	
19 縮図/20 芝生/21 司令部	
2 ^{けげん} 怪訝に思う/3 藩邸に見合う庭を造園する	
3 参勤交代（30 字前後の中国語で説明）	
4 本音/建前/5 食料備蓄/6 カモフラージュする	
7 臨戦態勢/9 都民が 12 皇室から ^{たまわ} 賜ったもの	
10 一般開放/12 バリアフリーの通路/	
13 ベビーカー/14 樹木越しに摩天楼が見える	
15 ジェットコースター/叫び声/16 山を借景とする	

17 周りのことが気にならない（成語）	
18 騒音に心を乱される/わびさびがわかる	
19 そこまでの境地に達しているかが試される	
20 めまぐるしく変わる/現実社会に密着している	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑭古典芸能

歌舞伎

- ① 艶かしい女形（おやま）
- ② 背景のセット（書割）は精巧に/よくできていて、大道具も凝っていて（凝ったつくりで）、時にはドライアイスまで使って特殊効果を出す。また役者の衣装や配役の性格を表す隈取は実に華麗である。
- ③ 隈取（舞台用の化粧）を施し登場した役者たちの呼吸はぴったりあい、真に迫った/迫真の演技は痛快きわまりない。
- ④ 大見得を切る
- ⑤ この二つの芝居は、歌、美術、文学などが一つになった（などの集大成であり）、両国の花（宝・誇り）と呼ぶにふさわしく、広く知られている。
- ⑥ 宙返り（バク転）などのアクションやカーテンコールの習慣
- ⑦ 歌舞伎界の宗家/名門にはそれぞれ先祖代々伝わる十八番（得意とする演目）がある。
- ⑧ 古典的名作
- ⑨ 濡れ衣を着せられ亡くなった女が、その恨みを晴らす怪談物
- ⑩ これはもともと芝居の幕間に食べる弁当で、
- ⑪ 歌舞伎公演のチケットの価格は高価で、敷居/ハードルが高いようだが、実際は違う。

文楽

- ① 語り手（太夫）、三味線ひき、人形師が三位一体となって行う人形劇だ。
- ② この三人の息が合わないと芝居は台無しになる。
- ③ 人形遣いは大変な重労働（肉体労働）だが、本番前は皆日夜/朝から晩まで/一日中舞台稽古（リハーサル）をする
- ④ 台上一分、台下十年功 1分間の舞台のために10年間稽古をする/普段の稽古がモノを言う
- ⑤ 舞台裏もてんてこ舞い/大忙しで非常に慌しく、戦争のようなものだが、みな苦勞を厭わずやりとげる。
- ⑥ 師匠に手取り足取り教えてもらうのではなく、弟子が師匠の動きを盗んで芸を身につけるのだ。
- ⑦ 人形師は黒装束で黒い頭巾をかぶる。
- ⑧ 視而不见 見ていないことにする。
- ⑨ 操り人形はまるで生きているようで、激怒するものもあれば、地団駄踏んで泣き崩れ

るものもある。

「国姓爺合戦」

- ① 父親は鄭芝龍という海賊で、実の母親はおまつという日本人女性だ。
- ② 子供のころの名・幼名
- ③ 満6歳のとき
- ④ 科擧の試験に受かった。
- ⑤ 清軍が山海関内に侵入したので、皆が寝返るようなとき、鄭成功たちは清に対峙して明を復興させようと再起（巻き返し）を図った。
- ⑥ 彼らは総動員をかけ、清の兵に対し背水の陣を敷こうと考えた。
- ⑦ 我が身を顧みず奮闘し、何度も手柄を立てた。
- ⑧ この血気盛んな民族の英雄も、結局失地回復の夢を果たせなかった。
- ⑨ 二枚目で堂々たる風貌
- ⑩ 場内には空席もないほど/満員御礼で、芝居が終わってからも拍手が鳴り止まない。

歌舞伎と能

- ① 能は一切の無駄な動きを省いた「引き算の美学」の境地である。
- ② 悲しい時には、時には大げさな表現をし、時にはさめざめと泣き崩れる。
- ③ 舞台の上でじっとして動かない。
- ④ まるで激しく回るコマが急に止まって見えるかのように、能の感情表現は静止しているかに見えても実は激しく動いているのだ（静中に動あり）。
- ⑤ 悲しい時にはただ片方の手で、泣き崩れるときにも両手で顔を覆うだけである。
- ⑥ 観客からみると動いているのであって止まっているのではない/静かに見えて激しい動きがある（静中に動あり）というのが、能の醍醐味なのだ。
- ⑦ 無表情/表情に乏しい
- ⑧ 正方形のひのき舞台
- ⑨ ここで能楽師は限られた視線と長年の勘によって、まるで自分が舞台の外はどこかから見ているかのように客観的に自分の立ち位置を把握しているのである。（離見の見）
- ⑩ 当てこすり/別のものを批判することで体制批判すること
- ⑪ 時代を超えた人間の深層心理/心の奥底や死生観
- ⑫ 追い求めるベクトル/方向性が異なる
- ⑬ 社会変革を呼びかける
- ⑭ 歌舞伎が動く大衆雑誌ならば、能は動く哲学書だ。

能の「花」とは

- ① めったに見られない、目新しい/斬新なもの
- ② 目立たない/隠されながらも客の心に入っていくものだ。
- ③ 「花」の存在はほのめかすものでもない。
- ④ 「急」とはテンポよくリズムカルに芸を終える/幕を引くことだ。
- ⑤ 得意とする芸/十八番
- ⑥ 「花」とはいつみせても成功するものでもない。
- ⑦ 「いい時もあれば悪い時もある/ヒットした後にはスランプもある」といおうか、去年受けたものが今年も受けるとは限らない。
- ⑧ 安定して/十中八九成功する作品/演目
- ⑨ 芸術の分からない人にとってはまったくもって馬の耳に念仏だ。
- ⑩ 演技+見せ方=その人の花なのだ
- ⑪ 興行成績/売上高ばかり追求するのは本末転倒だ。

風姿花伝に学ぶ学び方

- ① 子供に干渉しすぎではやる気/意欲をなくしてしまい、芸も止まってしまう。
- ② 天才子役
- ③ 小さいころから芸の幅を広げるべく、基本的なことを教えるべきだ。
- ④ 声変わりし、背も伸びる
- ⑤ ややも/油断すればやる気をなくしてしまう
- ⑥ 昼夜を問わず/昼も夜も舞台げいこをする
- ⑦ 少しばかり名声を得ると、自分を天才だと錯覚し、非凡であるとうぬぼれ、得意になりがちだ。
- ⑧ 能の奥義を会得することはできない。
- ⑨ 強がったりしないで/無理しないで自分も老いたという現実を受け入れる
- ⑩ 自分の花が徐々に枯れていくことを自覚できず、過去の栄光にしがみつくのは年老いた証拠である。

三線と沖縄

- ① 三線もお手の物で、余裕綽々と（遊び心たっぷり）弾き語りをする人もいる。
- ② 刀（日本刀）
- ③ 後に戦時中米軍収容所の日本兵捕虜たちのうちには、
- ④ パラシュート（落下傘）のひもを弦にして三線を作ったのだ。
- ⑤ 饱经忧患 辛酸を舐め尽くした
- ⑥ たくさんのアマチュアたちが 腕前を披露するために

- ⑦ 初舞台で歌う参加者には調子はずれの歌を歌う（音程が狂う/調子が外れる）人もいるが
- ⑧ 座がしらけることもなく聴衆は調子に合わせて手拍子をする。
- ⑨ ときにはその場の飛び入り客に参加してもらう。
- ⑩ のど自慢も終わりに近づくと、奏者がテンポの速い民謡を弾き始める。
- ⑪ 味気ない、無味乾燥
- ⑫ 墓穴を掘る（自殺行為）
- ⑬ そっくりそのまま余すことなく
- ⑭ これまでずっと守ってきた民謡がポップスの影響を受けるのは邪道以外の何者でもない。
- ⑮ 伝統から新しいものを作り出したり、注目を浴びたりする
- ⑯ 層出不窮 次々出てくる
- ⑰ しみじみと歌う
- ⑱ この世における出会いと別れ、喜怒哀楽をテーマとしたこの曲
- ⑲ 彼自身歌手としての才能があった。
- ⑳ 无出其右 右に出るものはない
- 21 物心ついたころから三線の音を聞いてきたし、一家団欒の時にも口を開けば歌が始まるのだ。
- 22 世界平和を訴える喜納さんは世界のすべての武器を楽器にしようとしている。
- 23 何事も成せば成る

中国語で学ぶ日本⑭古典芸能 単語表現帳 氏名

1 <small>なま</small> 艶めかしい女形/2 書割（背景のセット）	
2 ドライアイス/特殊効果/大道具/ <small>くまど</small> 隈取り	
3 隈取りを施し登場する役者の息はぴったりだ。	
3 真に迫った芸/ <small>おおみえ</small> 4大見得を切る/6 宙返りする	
6 カーテンコール/7 歌舞伎界の <small>そうけ</small> 宗家	
7 先祖代々伝わる <small>おはこ</small> 十八番/8 古典的名作	
9 恨みつつ亡くなった女が恨みをはらす怪談物	
10 幕の内弁当（10 字前後の中国語で説明）	
11 入場料/敷居が高い	
1 文楽（25 字前後の中国語で説明）	
2 息が合う/台無しだ/3 肉体労働	
3 本番前は朝から晩までリハーサルする	
5 舞台裏もてんでこ舞いだ/苦 <small>いと</small> 勞を厭わず（成語）	
6 手取り足取り教える 8 見ていないことにする（成語）	
9 生きているようだ/激怒する/ <small>じだんだふ</small> 地団太踏む（各成語）	
1 実の母/2 幼名/3 満六歳/4 科挙試験に通る	
5 巻き返しを図る/6 総動員をかける（各成語）	

6 背水の陣を敷く/7 わが身を顧みず手柄をたてる	
8 血気盛ん/9 二枚目/堂々たる風采（各成語）	
10 芝居が終わってからも拍手が鳴りやまぬ。	
10 満員御礼	
1 無駄な動きを省く/引き算/2 大げさな動作	
3 じっとして動かない（成語）/4 激しく回るコマ	
5 顔を覆う（二種類の表現で）	
6 静かに見えて激しい動きがある/7 無表情だ	
8 檜舞台/9 長年の勘/立ち位置を把握する	
10 あてこすり/11 死生観/12 ベクトル/	
14 動く哲学書（比喩）	
1 滅多に見られない/斬新だ/2 隠された（各成語）	
3 ほのめかす/4 テンポ良くリズムカルに芸を終える	
6 いつもうまくいく/7 いいときもあれば悪いときもある（各成語）	
7 必ずヒットする訳ではない/8 安定的にうまくいく作品	
9 馬の耳に念仏/⑩見せ方/⑪興行収入/本末転倒	
2 天才子役/4 声変わりし背も伸びる	
5 油断する/やる気をなくす/	
7 少しばかり名声を得ると自分を天才だと錯覚する	
7 自分は非凡だとうぬぼれる/得意になる（各成語）	

8 能楽の奥義を会得する/9 無理しないで	
10 過去の栄光にしがみつく	
1 お手の物/2 遊び心で弾き語りする/2 刀/	
3 戦時中/捕虜/4 パラシュート	
5 辛酸をなめつくす（成語） /6 アマチュア	
6 腕前を披露する/7 初舞台/音程が狂う	
8 座が白ける/調子に合わせて拍手する	
10 のど自慢が終りに近づく/11 味気ない（成語）	
12 墓穴を掘る/13 そっくりそのまま/余す事なく	
14 ずっと守ってきた（成語） / 邪道以外の何物でもない	
15 伝統から新しいものを作り出す（成語）	
17 しみじみとうたう/ 18 この世の出会いと別れ、喜怒哀楽	
19 才能/20 右に出るものはない（成語）	
21 物心ついたころから/一家団欒（成語）	
21 口を開けば歌が始まる/22 世界平和を訴える	
23 なせば成る（成語）	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ文化⑮陶磁器

土器の時代

- 1 火を起こして土器を焼く技術
- 2 これらの土器には縄を転がしてつけた紋様がある
- 3 全体を覆う荒波の形をしたふちの装飾など、造形にとても気迫がこもっている/迫力あるものが多く見られる。
- 4 その「魂を揺さぶるほどの」衝撃のため、ハッと気付いた（目からうろこが落ちた）
- 5 日本美術史上、ずっとないがしろ（無視・軽視）され、なん（一銭）の価値もないと思われていた「縄文の美」を手始め（スタート）として
- 6 ものを貯蔵/保存するために使う
- 7 弥生土器はより実用的で、飾りが少なく、どっしりして（落ち着きがあり）明るくふっくらした傾向が強い。

茶道と陶磁器

- ① 息も絶え絶え/やっとのことで
- ② しっとりしたつやのある/うるおい感ある陶器
- ③ 日本人の多くが茶道に夢中になった。
- ④ 日本文化の集大成/結晶
- ⑤ 独特な雰囲気をかもし出すことで、引き立たせる/際立たせる。
- ⑥ それによって心と心を触れ合わせる（通じ合わせる）のだ。
- ⑦ 古くさいしきたりを破る
- ⑧ ぜいの限りを尽くした
- ⑨ 目を見張る（はっとする/目からうろこが落ちる）ような
- ⑩ 物極必反 物事は頂点に達すると揺り戻し/リバウンドがある
- ⑪ わびさび（余分な飾り気がないこと）
- ⑫ わびさび（ものさびしい（枯れた）美）を追い求める。
- ⑬ わびさびの境地を盛んに追求した時期
- ⑭ すなわち茶道においてもてなしの意を表すため、お点前の前に出る軽い食事やお菓子である。
- ⑮ 茶会の亭主が心を込めて/こだわりぬいて選んだ、その季節の趣にあった焼物で客をもてなした。
- ⑯ これらの陶磁器の食器はさすがしく生命力あふれる趣をかもし出し、最後の仕上げの役割を果たすのだ。
- ⑰ 「目で味わっていただく（食べながら目の保養になる）」
- ⑱ 彼らのとらわれることのない/自由自在なセンス（フィーリング/インスピレーション）

のおかげで、様々な生き生きとした茶器がどんどん世にでた。

- ⑱ すなわち形が非対称的なものが特に多い。
- ⑳ それを欠点とみるのではなく、かえってこのような拙いながらも素朴な陶磁器が味わい深く、所蔵するに値すると思ったのだ。
- 21 笑いものになる/馬鹿にされる。
- 22 升堂入室 高い水準に達した
- 23 仁者見仁智者見智 見方は人それぞれだ。
- 24 一つ一つにそれ自身が持つ雰囲気と趣きをうまく表す呼び名をつけた。
- 25 その中にも日本人の陶磁器に対する並みならぬ愛着（目に入れても痛くないほどの思い/ただならぬ思い入れ）にまでなっているのが見て取れる。

文禄慶長の役と朝鮮の陶工

- ① 胡作非为 乱暴狼藉を働く/荒らしまわる
- ② 何干にもものぼる朝鮮人陶工を連行し/力づくで連れ去り、
- ③ 薄くて軽く、丈夫な磁器。その白い表面の染付（青い模様/がら）が放つみずみずしさはたちまち日本中を席卷した/日本中ブームをもたらした。
- ④ 陶工たちはあの手この手で、そして見よう見まねで同じような逸品（傑作）を作り出そうとした。
- ⑤ しかも主客転倒という感じではない
- ⑥ 青出于藍而胜于藍 出藍の誉れ/弟子が師匠を追い越すこと
- ⑦ 萩焼は楽焼、唐津焼の茶碗とともに、最高級の茶道具とみなされている。
- ⑧ 茶洪がだんだんひび（貫入）の中に沁みこみ、色はそれにともなって絶えず/だんだん変わっていく。
- ⑨ 長く使えば使うほど味わい深くなる。
- ⑩ 仁清や乾山たちの作風が京都ならではの宮廷趣味あふれる世界に溶け込み、今日の清水焼の基礎を築き上げた。
- ⑪ 「プレミア（希少価値）」がついた伊万里、九谷などの磁器が率先して（先頭を切って）、再びヨーロッパで旋風/ブームを巻き起こした。
- ⑫ 中でもゴッホは、浮世絵の美術的な要素もその後の自分の作品に取り入れた。
- ⑬ 相当、かなり

有田焼の発展

- ① きらきら透き通るほど白い中国磁器が遠く海を越えて欧州まで渡り、やがて王侯貴族に非常に愛された。後に密輸品を含む多くの白磁と彩色磁器もどんどん欧州に入ってきた。

- ② ベルサイユ宮殿
- ③ 景德鎮の磁器と競い合い（張り合い）たいと考えた。
- ④ それは模倣した/パクったコピー商品だと思われた。
- ⑤ 無人問津 人気がない/鳴かず飛ばずだ
- ⑥ 漁夫の利を得た有田焼も日の目を見るよう/元気になり、ついには景德鎮の磁器に取って代わった。
- ⑦ 供給源
- ⑧ 十之八九 十中八九
- ⑨ これらの品も良く値段も手ごろな磁器は全世界にずっと出荷され続けた。
- ⑩ 貿易の「安全地帯」である伊万里港で船積みされ、
- ⑪ 磁器市場の穴を埋めた/にたくさん出回った/行き渡った。
- ⑫ 各地から買い付けに来た問屋や、購入客（仲買人）たちがこぞって（相次いで）訪れた。
- ⑬ 遠く海を渡った有田焼の評判は上々で、時には品切れ状態にもなった。
- ⑭ 販路（流通ルート）を掌握した（押さえた）有田焼は売り手市場となった。稼働率も上昇し、陶磁器製作は成長産業になった。
- ⑮ 江戸時代の藩、すなわち大名の地方政権は独立採算制をとっており、ふつうは幕府すなわち中央の将軍から「地方交付税/補助金」を受けられることはまずなかった。
- ⑯ 磁器を焼成する技術はのどから手が出るほどの金のなる木だった。
- ⑰ 按部就班 段取りを踏まえて/テキパキ行う
- ⑱ 生産、供給、販売の一貫したシステム

用の美—「使う」哲学

- ① 工芸品は美術品に劣り、職人も芸術家には及ばない。
- ② 「美（美意識）」と「用（実用性）」の乖離/分断によって民衆の生活は美から遠ざかった。
- ③ 暮らしの中から生まれ、使えば使うほど味わいの出る「用の美」が民芸運動家たちの合い言葉となった。
- ④ もの作りに携わる職人たちの中には、金儲け主義や手抜きをする者も少なくなかった。
- ⑤ もの作りの道は天才やエリートだけでなく、才能に恵まれない凡人にも開かれた大衆の美であった。
- ⑥ 絶賛する/褒め称える
- ⑦ これは分業と伝統によって支えられたからだ。
- ⑧ 民芸の美は一人の天才によるワンマンショー/独断場ではない。

- ⑨ 創造力に欠ける凡人
- ⑩ 民芸は地元の人暮らしに深く根付いたものだ。
- ⑪ 手仕事による流れ作業
- ⑫ 最後に火入れを行えば、あとは「人事を尽くして天命を待つ」のみだ。
- ⑬ 「人任せ/他力本願」にも思えるが、実は徹頭徹尾/何から何まで/一事が万事「自然に逆らわない/自然にゆだねる/自然体の」美なのだ。
- ⑭ たとえ陶磁器が焼き上がったとしてもそれは表面だけの話であり、
- ⑮ いとおしいほどの/手放せない/愛用するほどの茶器になってはいない。
- ⑯ これは中国の「養壺（急須を使い込み色が変化するのを楽しむ趣味）」と同じようなものだ。
- ⑰ 用美一如/用の美
- ⑱ 荒く/つたなく見えても細かくみると実に味わいがある意外な美しさである。
- ⑲ 本当の「美」とは単なる「醜」の対義語ではなく、美醜という概念を超えたところにあるものなだということをよくわかっている。
- ⑳ これらの茶碗は高台の部分に釉薬がかかっておらず、地肌/素焼きの部分が現われているのが見られる。
- 21 灯台もと暗し/身近すぎて気づかない
- 22 岡目八目/第三者のほうがよく気づく
- 23 民芸品の知識を丸暗記して頭に詰め込むと、かえってものの見方が濁ってくる/迷いが生じる/素直にものをみることができなくなる。
- 24 これが民芸の楽しみ方のコツ/秘訣である。

中国語で学ぶ日本⑮陶磁器 氏名

1 火を起こして土器を焼く。	
4 魂を揺さぶる/目から鱗 <small>うろこ</small> が落ちる（各成語）	
5 ないがしろにする/なんの価値もない（成語）	
6 物を貯蔵するのに使う/7 どっしり/ふっくら	
1 息も絶え絶え（成語）/2 しっとり感	
3 茶道に夢中になる/4 日本文化の集大成	
5（～により）引き立たせる/6 心が通じ合う	
7 古くさいしきたり（成語）/8 贅沢きわまる	
9 目を見張る/10 揺り戻し（成語）	
11-13 わびさび（六種類の単語で表現）	
14 懐石 <small>かいせき</small> （30字前後の中国語で説明）	
15 茶会の亭主が心を込めて選ぶ。	
16 すがすがしい/最後の仕上げ（成語）	
18 何にもとらわれぬセンス	
18 生き生きとした茶器がどんどん世に出た。	
19 非対称的/20 拙く素朴な陶磁器が味わい深い	
21 笑われる/22 高い水準に達する（成語）	
23 見方は人それぞれだ（成語）	
24 一つ一つ呼び名をつける	

1 荒らしまわる（成語）/2 カづくで連れ去る	
3 丈夫な磁器/ ^{そめつけ} 染付の放つみずみずしさ	
4 あの手この手で/見よう見まねで（各成語）	
^{しゅかくてんとう} 5主客転倒/6 弟子が師匠を追い抜く（各成語）	
8 茶渋がひびの中にしみこむ/9 味わいが出る	
^{けんざん} 10乾山たち/基礎を築く/11 希少価値（成語）	
11 率先して（成語）/12 ゴッホ	
12 浮世絵の美術的要素を作品に取り入れた。	
1 密輸品/どンドン（成語）/2 ベルサイユ宮殿	
3 張り合う/4 パクる/コピー商品	
5 何の反応もない/6 漁夫の利（各成語）	
6 日の目を見る（成語）/7 供給源/	
9 質もよく値段も手ごろだ（成語）/10 安全地帯	
10 船積みする/11 市場に出回る/12 買付け/問屋	
13 遠く海を渡る（成語）/評判は上々だ/品切れ	
14 販路を押さえる/売り手市場/成長産業/	
15 独立採算性/地方交付税/16 のどから手が出る	
16 金のなる木/17 順序良くテキパキ行う（成語）	
18 生産、供給、販売の一貫体制/	
2 民衆の生活から美を遠のかせた/3 用の美	
3 合言葉/4・5 ものづくり/4 手抜きする（成語）	

6 絶賛する（成語）/7 分業/8 独断場/9 凡人	
10 民芸/深く根を下ろす（成語）/11 手仕事の流れ作業	
12 火入れする/人事を尽くして天命を待つ（成語）	
13 他力本願/一事が万事/自然体（各成語）	
14 表面だけのこと/15 手放せないほど（成語）	
16 これは「養壺」と同じことだ。/17 用の美	
18 粗い中にも細やかさがある/19 対義語	
20 高台には釉薬をかけない/素焼きの部分	
21/22 当事者より第三者のほうがよくわかる（二通り）	
23 丸暗記して頭に詰め込む/コツ	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本⑩年中行事

正月・春

- 1 親不孝者
- 2 お年玉付き年賀状
- 3 これらのおせち料理は冷たい料理が多いが日持ちがする（作り置きできる/保存がきく）料理だ。
- 4 例えば黒豆は、家族の健康を表し、数の子は子孫繁栄を表すのだ。
- 5 子どもたちは福笑いやこま回しなど伝統的な遊びをする。女の子なら羽根つきをしてあそんだりもする。
- 6 ババ抜きやブリッジなどのトランプゲームをする
- 7 元日か二日の夜にはよく初夢で占う。
- 8 一富士二鷹三茄子の夢を見る/夢に富士山、鷹、なすがでてくる。
- 9 八仙过海 中国版七福神
- 10 ちょうど季節の変わり目の二月三日、すなわち二十四節気の一つである立春の前日は、厄払いをして福を招く日である。
- 11 草木が芽吹き、根を張る
- 12 国際婦人デー
- 13 自分の体のよくない(具合の悪い)個所を人形に移してから川に流し、娘の無病息災(健康と無事)を祈った。
- 14 ひな壇の最上段にはお内裏さまとお雛さまが座っていて、その下には三人官女、五人ばやし、右大臣・左大臣などが座っている。
- 15 草の青さが増し(青々とした新緑となり)、様々な花が咲き誇る(咲き乱れる)三月末は桜が咲き誇る時期でもある。
- 16 桜が咲く時期が来るたびに、あらゆる日本人の心はうきうき(わくわく)しだし、桜の開花を待ちのぞむ(首を長くして心待ちにする)。
- 17 ハイキング、あるいは桜の花が舞う場所でピクニックを楽しむという意味もある
- 18 歌ったり、踊ったりして、皆喜びに溢れている。
- 19 好事多磨 楽しいときにかぎって面倒なことが付きものだ。
- 20 桜のあるところは人でごった返すのだが、いい場所をとりたいというのが一番の悩みの種だ。
- 21 年度初め。だから学校は四月一日に授業が始まり、会社でも新入社員はこの日が初出勤だ。
- 22 卒業見込み(新卒)の学生たちは、企業訪問/会社まわりをし、数次の筆記試験や面接からなる就職(採用)試験を受けるのだ。
- 23 会社に失望し、辞めたくなるいわゆる「五月病」になる社員も少なくない。

24 昭和の日、憲法記念日、みどりの日、子どもの日などの祝日

25 風にはためく（たなびく）鯉のぼりがいたるところにみられるが、それは元々中国の「鯉の滝のぼり（登竜門）」の故事に由来する。

26 人々は鯉のぼりをあげて、息子たちのすくすく健やかな成長と将来の出世（成功）を願うのだ。

夏

- ① 梅雨前線が徐々に北上する六月は長雨が降り続き、どこに行ってもじめじめしている。
- ② 蛍狩りに行く。
- ③ 猛暑の夏になると蝉の声が響く。窓の外にはすだれをかけ風鈴を吊るし、室内には金魚鉢をおく。
- ④ 子どもたちは日陰で水鉄砲をして遊ぶ。日が照りつける庭に打ち水をすると、庭の草木も人間と同じようにうるおい（しっとりして）、暑苦しい中を何とかしのげる。（元気でいられる）
- ⑤ 夏のとても暑い土用の丑の日には、夏バテしないようにウナギのかば焼きを食べて精（スタミナ）をつける。
- ⑥ 織姫と彦星が一年に一度天の川（のかささぎの橋）で出会う日
- ⑦ 人々は短冊に自分の願いを書き、それを笹に結びつけて立てかけ、星に祈るのだ。
- ⑧ 四面八方 あちこちから
- ⑨ 「なにかあれば仲間におすそ分けする（と分かち合う）」という考えから、日本人は時期を選んでお礼（感謝の印）として贈り物をする。
- ⑩ 特に神様にお供えしたそれらの縁起がよい食べ物を分け合うことで、神仏の加護を受けることができる。
- ⑪ 五彩缤纷 色とりどりの
- ⑫ 花火大会は日本の夏の風物詩だ。
- ⑬ 首を長くして待つ特別な日
- ⑭ 大きなホテルはどこも満室となり、大変だ/うれしい悲鳴を挙げる
- ⑮ 销声匿迹 廃れつつある（影を潜めている）
- ⑯ もともとは先祖供養して冥福を祈る日だったが、今では一家が集まり村中楽しむ日の一つでもある。
- ⑰ 迎え火と送り火をともし、先祖を供養する
- ⑱ 中国北方の田植え踊りに似ている。
- ⑲ 太鼓のリズムに合わせて歌い手が地元の唄（音頭）を歌いだす。浴衣を着た老若男女が軽やかに踊る。

秋・冬

- ① 東洋人は昔から月に深い思いを寄せてきた（しみじみとした情緒を感じてきた）。旧暦八月十五日に明月の美しさをたたえる（愛でる）のは日本でもよくある（一般的な）ことだ。
- ② この日はみな神様に団子、サトイモ、酒、そしてススキなどの秋の草花を供え、家族とともに十五夜（中秋の名月）を愛でる。
- ③ 人々はこの日に神々にたまわった秋の収穫の成果に感謝する。
- ④ 梨狩りやブドウ狩り、クリひろい
- ⑤ 草木も枯れるこの時期、コオロギ、スズムシなど虫の音にも心を動かされる（心にしみる）ものがある。
- ⑥ 師走に入ると、街角には巨大なクリスマスツリーと趣向を凝らした/意匠にこだわったイルミネーションが現れ、クリスマスイブになるまでいたるところで楽しいクリスマスソングが流れる。
- ⑦ 东奔西走　あちこちバタバタする
- ⑧ その年に起こった面白くないことを忘れるため、仲間たちとともに思う存分酒を飲んで語り合う宴会
- ⑨ その年受けたご愛顧や世話になったことに対する感謝の念を示すため、顧客（得意先）や上司、先生などにお歳暮を贈る習慣
- ⑩ 日本の大晦日は旧暦十二月三十日ではない。
- ⑪ 辞旧迎新　一年が終わり新しい年を迎える「行く年くる年」
- ⑫ 百八回鐘をつくのは、欲望、執着、嫉妬など、世の中の百八の煩惱を消し去るという意味がある。
- ⑬ 家族そろって年越しそばやごちそうを食べ、団らんする。
- ⑭ 天伦之乐　一家団らんの楽しみ

正月の食べ物—雑煮

- ① 昔の人々は大晦日の夜、神仏にもちを供え、元旦の朝はやく家族そろってもち、肉、野菜などをいっしょに煮た雑煮を食べたという。
- ② 所変われば品変わる
- ③ 東日本ではほとんどの人がこんがり（キツネ色に）焼けた角もち（切り餅）で雑煮をつくる。
- ④ 雑煮には小松菜などの青菜類と鶏肉なども入れ、汁は普通醤油味か塩味の澄まし汁だ。
- ⑤ 雑煮にはしばしば紅白のかまぼこを入れ、めでたさを表す。
- ⑥ 皮をむいた里芋（丸ごと、あるいは輪切り）
- ⑦ 一家が集まって我が家ならではの雑煮を食べ、新年を迎える。

桜と詩歌と日本人

- ① 盆と正月が一緒に来たような
- ② 人々は花見をすると、この花の精が南から北に向かって各地に桜の花を咲かせていると感じたのだろう。
- ③ 故郷に住んでいる昔の友人の心境の変化は知ることは難しい。ただ梅の花だけは昔と同じように良いにおいを漂わせている。
- ④ 世の中にそもそも桜というものがなかったら、春の心はかえって穏やかだったろう。
- ⑤ 桜はぱっと散るからこそいいのだ。そもそもこの世にずっと続くことなどないのだから。
- ⑥ 前者は桜がはかなく散るその短さを嘆き、後者は桜の美しさを前向きな方向で描いた短歌である。
- ⑦ まるではかなく/ぱっと咲いてぱっと散る桜の美しさを取り巻いてディベートしているかのようだ。
- ⑧ 「日本の西施」の異名を持つ節制の美女、小野小町も散る桜を自分の色あせていく美貌にたとえた。
- ⑨ あっという間に桜は色あせた。歳月はむなしく過ぎ、老ける一方だ。これほど心の底からかなしいことはない。
- ⑩ 臨終の前に詠んだ歌
- ⑪ sā shǒu rén huán 息を引き取る
- ⑫ 「ぱっと咲いてぱっと散る桜」を、死を前にしてもたじろかない気概として見た。
- ⑬ 辱めを受けた主君に仇討ちしてから、堂々と裁きを受け、切腹した十七世紀の忠臣
- ⑭ 十九世紀に品種改良した「ソメイヨシノ」
- ⑮ 民衆を洗脳し、天皇の忠臣として美しく散る桜のように死ぬことは誉れであるという考えを吹き込んだ/植え付けたのだ。
- ⑯ 頭に「尽忠報国/精忠報国」のはちまきを締めた神風特攻隊員
- ⑰ 軍部の命令と要求を受け、地元の子どもたちが植えた桜の木を切り倒して供出しなければならなかった。
- ⑱ 当時の町長は国策を無視し、「非国民/売国奴」とののしられたが、投獄を覚悟の上で土手の両岸の桜の花を守ろうとした。
- ⑲ 人々の桜を思う熱い思い
- ⑳ 大空襲によって行き場をなくした/逃げまどう人々は焼け残った桜の下で暮らさざるを得なかった。
- 21 桜を見れば、昔のことを思い出す
- 22 日本人は様々な思いをもって今年の桜を愛で、来年の桜の時期が来るのを心待ちにするのだ。

中国語で学ぶ日本⑩年中行事 氏名

1 親不孝者/2 お年玉付き年賀状/3 おせち料理	
3 日持ちする食べ物/4 数の子/5 コマ回し	
5 羽根つき/6 ババ抜き/ブリッジ/7 夢占い	
8 富士山の夢を見る/ 9 中国版の七（八）福神（成語）	
10 季節の変わり目/厄払い/11 根を張る	
12 国際女性デー/13 川に流す/14 ひな壇の最上段	
14 お内裏様とお雛様/ 15 様々な花が咲き誇る（成語）	
16 ハイキング/ピクニック/18 顔に喜びあふれる	
16 心がうきうきする/ 19 楽しい時に限って面倒なことがある（成語）	
20 頭を悩ます（成語）/21 授業が始まる	
21 新入社員/22 卒業見込み（新卒）の学生	
22 会社訪問/筆記試験と面接からなる就職試験	
23 五月病（20 字前後の中国語で説明）	
24 憲法記念日/みどりの日/こどもの日/祝日	
25 風にはためく鯉のぼりが至るところにみられる	
25 それは元々「鯉の滝登り」の故事に由来する。	
26 すくすく健やかな成長/出世・成功（成語）	
1 梅雨前線/じめじめした/2 虫狩り/3 猛暑	
3 セミ/すだれ/室内に金魚鉢を置く。	
4 日が照りつける庭に打ち水をする。	

4 しっとりする/5 土用の丑の日/	
5 人々は夏バテしないようにウナギのかば焼きを 食べスタミナをつける。	
6 織姫と彦星/天の川/7 短冊/それを笹に結ぶ。	
9 お礼に贈り物する/10 神仏の加護を受ける	
11 色とりどり（成語）/12 花火大会は夏の風物詩だ	
13 首を長くして待つ/15 廃れつつある（各成語）	
19 歌い手が地元の音頭を歌いだす/軽やかに踊る	
1 東洋人は昔から月に深い思いを寄せてきた。	
1 名月の美しさをたたえるのは日本でもよくある ことだ。	
2 団子/ススキ/十五夜を愛でる	
3 神々に賜った秋の収穫の成果	
4 梨狩り/ブドウ狩り/栗拾い（動詞をつけて）	
5 コオロギ/鈴虫/6 師走/クリスマスツリー	
6 意匠を凝らした（成語）/イルミネーション	
6 クリスマスイブ/7 あちこちバタバタする（成語）	
8 忘年会（40 字前後の中国語で説明）	
9 お歳暮（40 字前後の中国語で説明）	
10 旧暦の大晦日/12 執着/嫉妬/	
13 家族で食べるごちそう/14 一家団欒の楽しみ	
2 所変われば品変わる（各成語）/3 東日本	

3 こんがりきつね色に焼いた切り餅/小松菜/すまし汁	
4 紅白の蒲鉾でめでたさを表す	
5 皮をむいたサトイモ/輪切りにする	
6 我が家ならではの雑煮	
1 盆と正月が一緒に来たよう(成語)/4 心が穏やかだ	
5 桜ははかない/6 前向きな方向で	
7 桜のはかなさを巡ってディベートする	
9 あっという間に/11 この世を去る/	
12 パッと咲いてパッと散る桜/12 死を前にしてもたじろかない	
13 泰然自若として裁きを受け、切腹する	
15 桜のように死ぬのは誉れだという考えを吹き込む	
17 桜の木を切る/18 町長は国策を無視した	
18 非国民の汚名を着させられる/投獄を覚悟の上で	
20 行き場を失う(成語)/桜の下で過ごすのを余儀なくされる	
22 その年⇔前年	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ文化⑰信仰

- 1 神道は自然界に存在するあらゆるものや偉人、祖先、氏神（鎮守の神様）など数限りない神々を祭るので、「八百万の神」と呼ばれている。
- 2 お天道様
- 3 雨乞いの神事を行い、うまい具合に雨が降るよう祈る。
- 4 「女狐」は道行く人を化かして/かどわかしていたずらをするという。
- 5 たくさんの朱塗りの鳥居でできたどこまでも続くトンネルで知られる各地の稲荷神社では、みな油揚げを神前に供え、飢饉（凶作）にならないように神頼みする。
- 6 なんとなくそうなった/出来上がった風習
- 7 威勢よく勇ましい伝統的な祭り、古式ゆかしい神道の祭り（神事）、様々な夜店が軒を連ねる祭り（縁日）。

春・夏

- ① 受験シーズン
- ② 望子成龙 わが子の成功を祈る
- ③ 合格発表の日まで、ずっと
- ④ 陰（裏）で策を弄する（陰謀を使う、罠にはめる）。
- ⑤ 道真は内心たくらみを抱いていて、天皇に謀反の意を抱いている、と藤原氏は道真を陥れた/道真に濡れ衣を着せた。
- ⑥ 天皇はその中傷を信じ込み（真に受け）、ありもしない/でっちあげの罪をかぶせて
- ⑦ 疫病によって次々に（ばたばた）死んでいった。
- ⑧ 陥れられた（陰謀にかかった）道真の霊は成仏できず（浮かばれず）、抑えきれぬほどの怨みをもって祟ったので引き起こされた。
- ⑨ 道真と藤原氏との間の怨みを水に流す（わだかまりを解く）ため、また道真の冤罪を晴らし汚名をすすぐ（名誉を回復する）ため
- ⑩ 罪滅ぼし（つぐない）とした
- ⑪ 天満宮の境内では、受験生の願い事がかかれた絵馬がいっぱいかけてある。
- ⑫ 同心同徳 一心同体
- ⑬ てっぺんに鳳凰の飾りをつけた神輿を担ぐのが、この祭り全体の一番の見もの（ハイライト）である。
- ⑭ 神を迎える御神輿の練り歩き
- ⑮ 「江戸っ子」は昔からいなせな（てきぱきしていてさっぱりした）イメージがある。
- ⑯ 堅如磐石 一枚岩の
- ⑰ 威勢の良い大がかりな行列が力いっぱい神輿を担ぐのを見ると、気分が盛り上がって（高まって）くる

- ⑱ 納涼大会（の夕べ、夏祭り）即ち花火を見ながら酒を飲んだりして楽しむ。
- ⑲ 地元職人による匠の技の表れでないものはない。

秋冬

- ① 時まさに秋空高く爽快で、過ごしやすい十一月、
- ② 氏神様（鎮守の神様）に子供を守ってもらうよう祈る。
- ③ 一帆风顺 順風満帆
- ④ 七五三には欠かせない縁起のよい食べ物
- ⑤ それは粘り強くて長く伸びるので、長生きするという縁起の良い意味が込められている。
- ⑥ 人々は使い古したり折れたりした針を豆腐や団子（大福餅）に刺す。そして寺や神社に持っていき供養し、手先が器用になるよう祈る。
- ⑦ このようにすると縫い物（針仕事・裁縫）の腕がますます上達するという。
- ⑧ 新しい一年の厄をはらい、幸せを祈るための行事のひとつでもある。

高尾山 神仏混淆の山

- ① 私のようなせっかちな/気が短い者は、まずロープウェイ（ケーブルカー）（大人料金 930 円、子供料金 460 円）に乗って中腹まで行き、後は上まで歩いて登る。
- ② ここはきれいに舗装されている道で、側には手すりもあるが、しばらく歩いてもゴミ箱はみあたらない。ゴミは持って帰らねばならなかったのだ。
- ③ 人人有责 一人一人に責任がある
- ④ 虫眼鏡（ルーペ）でシダ植物を観察している。
- ⑤ 近づいて尋ねると、高尾山植物研究グループのメンバーによるフィールドワーク/野外観察中だったのだ。
- ⑥ 赤いよだれかけをしたお地蔵さん
- ⑦ 普度众生 世の全ての人を救う
- ⑧ ここではしばしば妖怪が出るそうだ。
- ⑨ ピノキオ
- ⑩ 怪里怪気 奇妙な形の
- ⑪ 山に住む鼻が高く、目が大きく、背中に翼がついているこの妖怪
- ⑫ 今の中国人は迷信を信じないが、日本人はむしろ身の毛もよだつようなこの妖怪を山の守護神とみるのである。
- ⑬ 滝つぼで水に打たれる「水（滝）行」
- ⑭ 燃え盛る木の上を歩く/火渡りの行をする / 并排而立 並んでたつ
- ⑮ 密不可分 切っても切れない
- ⑯ 足が棒になるほど歩いたころ、山頂に着いた。

- ① 茶店で休んだり、記念写真を撮ったりして、登りきった後の喜びと高揚感にひたっている。

日本人と冠婚葬祭

- ① 日本人は産後一月して体調が回復したら、赤ちゃんを連れてお宮参りする。我が家に新しい家族が生まれたことを報告しに行くのだ。
- ② 結婚式場/チャペル
- ③ 海枯石爛 永遠の愛
- ④ 指輪を交換する
- ⑤ 病院の職員は病で亡くなった人の遺体を霊安室に運ぶ。
- ⑥ 出棺するときの霊柩車はとても人目に付く
- ⑦ お坊さんをよんでお経を読んでもらってから納棺する。
- ⑧ サンスクリット文字（梵字）、すなわち古代インドでお釈迦様が使った文字
- ⑨ お悔み（弔問）に来た人たち
- ⑩ 故人の遺影や棺桶（ひつぎ）
- ⑪ 人は死んだら来世に生まれ変わる（輪廻転生する）。
- ⑫ 神仏が受け持つ範囲がそれぞれ異なる。
- ⑬ その年の受験生や家族が天満宮に参って神頼みをする。
- ⑭ 専ら葬式や法事を執り行う神
- ⑮ お清めの塩を体にまいて、けがれをはらってから家屋に入る。
- ⑯ 心が素直で（偽りがなく）、醜い心を嫌うなど、人として持つべき基本的な規範（道徳）を重んじるのだ。

浄土真宗

- ① 浄土真宗は例外だ。
- ② 一心に阿弥陀仏に帰依すれば、西方極楽浄土に往生させてもらえる。
- ③ 阿弥陀仏の本願は衆生を救うことだ。
- ④ 自らの意思で座禅し、自分のことを自分でできる人は後回しだ。
- ⑤ 自分では何もできない救いようのない人が優先的に往生できる/救われるのだ。
- ⑥ 「生活保護」のようなこの発想に社会的弱者たちは飛びついた/殺到した。
- ⑦ その間におり、妻子持ちの彼は凡人の煩惱の中で生きていくことを選んだ。
- ⑧ 衆生に対して上から目線ではなく、大衆と同じ目線だ。
- ⑨ 当時の権力者の庇護を受けた。
- ⑩ 信長は十年かけてもそこを攻略できず、最後に講和条件を出してようやく平定した。
- ⑪ 江戸幕府はキリシタン勢力の拡大を憂慮し、民衆を家族単位で強制的に仏教の宗派の檀家にした。

- ⑫ 門徒たちは夜中に山の洞窟に集まって念仏を唱えざるをえなくなった。
- ⑬ キリシタンと同様「反抗的」な烙印を押された/レッテルを貼られた真宗も鎮圧の対象となった。
- ⑭ 軍部に頭を下げるのは世俗の政権に迎合しない真宗として恥ずべき行為だった。
- ⑮ 開祖親鸞の教えの中から、軍部の推し進める国家神道の教えとぶつかるところは削除した。
- ⑯ 軍部に付和雷同する/おもねる
- ⑰ 最初に戦争に加担したことについて遺憾/深い反省の意を表明した
- ⑱ 乳幼児死亡率が高かったそのころ、三人の息子を亡くした。
- ⑲ 祖父は病床に横たわる虫の息の/息も絶え絶えの息子の手数珠をかけて言った。
- ⑳ 最後に子どもたちを見送った。
- 21 彼らの胸の張り裂けそうな痛みをこらえさせてくれたのも極楽浄土の存在を信じることだった。
- 22 このように死に直面してどうしようもない/なすすべのない庶民たちの心の支えになったのが浄土真宗だったのだ。

中国語で学ぶ日本⑰信仰

氏名

2 お天道様 <small>てんとさま</small> /3雨乞 <small>あまご</small> い神事/うまい具合に雨が降る	
4 女狐は道行く人を化かす/いたずらする	
5 油揚げを神前に供える/凶作になる	
6 なんとなく出来上がった風習（成語）	
7 古式ゆかしい神道の神事/縁日/	
1 受験シーズン/2 子の成功を祈る（成語）/3 合格発表	
4 で陰謀をめぐらす/5 内心たくらみを抱く（成語）	
6 天皇は中傷を信じ込む/ありもしない罪をかぶせる	
7 疫病 <small>えきびょう</small> でばたばた死んだ/8 魂 <small>しょうぶつ</small> が成仏できない	
9 恨みを水に流す/名誉を回復する/10 罪滅ぼし	
11 絵馬（20 字前後の中国語で説明）	
12 一心同体（成語）/13 ハイライト/15 江戸っ子	
15 てきぱき仕事する/16 一枚岩の（成語）	
17 威勢よく大がかりな行列/力いっぱい神輿を担ぐ	
19 地元職人による匠の技の表れでないものはない。	
1 秋空高く爽快で過ごしやすい/2 氏神様	
3 順風満帆/4 七五三に欠かせぬ縁起のいい食物	
5 長生きする（成語）/6 使い古し、折れた針	
6 手先が器用になるよう祈る/7 縫い物/8 厄を払う	
1 せっかちだ/ロープウェイ/大人料金	

2 手すり/しばらく歩いてもゴミ箱が見当たらない	
2 ゴミは持ち帰らねばならなかったのだ。	
3 一人一人に責任がある (成語) /4虫眼鏡 ^{むしめがね}	
4 シダ/5 近づいて尋ねる/フィールドワーク	
6 よだれかけ/7 世のすべての人を救う (成語)	
8 妖怪が出る/9 ピノキオ/10 奇妙な姿形 (成語)	
11 天狗 (20 字前後の中国語で説明)	
12 迷信を信じない/身の毛もよだつ (成語)	
13 滝に打たれる/14 火渡りの行をする	
15 切っても切れない/16 足が棒になる	
1 産後一月すぎる/2 結婚式場/3 永遠の愛 (成語)	
4 指輪/5 霊安室/6 出棺時の霊柩 ^{れいきゆうしや} 車は人目に付く	
7 坊さんと呼び、お経を読んでもらってから納棺する	
9 お悔み/10遺影 ^{いゑい} /ひつぎ/11 来世に生まれ変わる (成語)	
12 受け持つ/13 神頼み/15 お清めの塩/穢 ^{けが} れを祓 ^{はら} う	
1 真宗は例外だ/2 一心に阿弥陀仏に帰依する	
4 自らの意思で座禅する/ 自分のことは自分でする人は後回しになる	
5 自分では何もできない/救いようのない (各成語)	
6 生活保護/社会的弱者が飛びつく/7 妻子持ち	
8 上から目線⇔同じ目線/9 権力者の庇護をうける	

11 キリシタン勢力の拡大を憂慮する/13 烙印を押す	
14 恥ずべき行為/15 削除する/16 付和雷同（成語）	
17 遺憾を表明する/18 乳幼児死亡率/19 息も絶え絶え	
19 数珠/21 胸の張り裂けそうな痛み	
22 なすすべのない/心の支え	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ文化⑱相撲

大相撲観戦

- 1 大相撲の実況中継（生放送）
- 2 大相撲がある（来る）たびに、大手各紙のスポーツ欄やトップ/一面記事さえ前日の取り組みの結果が載るほどだ。
- 3 まわしを締めただけの二人の力士が素手で取り組み合う。
- 4 相手を地面に倒したり、相手を土俵から押し出したりしたら白星（勝ち）となる。
- 5 それでは、かの有名な日本の国技、大相撲の観戦にご案内しよう。
- 6 一万人の観衆が収容できる両国国技館内の観客席には普通の椅子席と高価な升席（溜り席）の二種類がある。
- 7 座席は指定席になっている。
- 8 序の口（最も低い番付）から、力士たちは番付に従い土俵入りする。
- 9 一段高くなった土俵の表面はコンパスで描いたような円状のものがはめこまれているが、それは細長い俵を埋めて作ったものだ。
- 10 皆が見守る中、互角の勝負の（拮抗した/伯仲の）両力士が威風堂々と土俵入りしたら、まずは塩をまく。
- 11 これは土俵の邪気（けがれ）をはらい、怪我（負傷）をしないように神に祈るためだ。
- 12 力士はゆっくりと腰を落として（中腰になって）一連の動作を始める。
- 13 まずは手（拍手）を打って両手をこすり合わせる。
- 14 そして両腕を左右に広げ、掌を返す。
- 15 がっしりした体格の力士が武者震いをしつつ土俵の真ん中に上がったら、両足を代わる代わる（交互に）挙げては力を込めて（思い切り）四股を踏む/地面を踏みつける。
- 16 ストレッチ運動
- 17 力が伯仲する（好敵手に出会えた）両力士は本格的に取り組みあう。
- 18 両名の力士が息を殺して見合う（にらみ合う。）
- 19 力士は呼吸を整え、お互いの息を合わせようとし、勇気を奮い立たせて攻める機会をうかがう。
- 20 大きく息を吐いてから八分目まで吸い込んでとめる。そして相手の体にぶつかるのだ。
- 21 力士たちは融通をきかせる/臨機応変に動くことを学ぶのだ。
- 22 先下手为強 先手必勝／先んずれば人を制す
- 23 将计就计 作戦を逆手に取る
- 24 土俵で威勢良い声を出して審判する。
- 25 行司にも等級（序列）があり、装束がその位を表す目印となっている。

- 26 勝ち負けの判定（審判）は、一瞬の動作で勝負がつくときもある。
- 27 両力士がほとんど同時に俵を割る（土俵外に出る）ため、また反則を犯した/禁じ手を使ったため勝敗を決めがたい（甲乙つけがたい）ときもある。
- 28 力士たちに仕切り直し（取り直し）をもとめる。
- 29 両力士の実力に差がなく、甲乙つけがたいときの結びの一番
- 30 敗兴而归 がっかりする
- 31 勝ったほうの力士は腕を振りあげて三回続けて手刀を切ってから懸賞金を受け取る。それは勝敗を司る三柱の神に感謝をささげるという意味である。
- 32 水はとても大切な役割を担っている。
- 33 取組みの勝敗がなかなかつかないときは、お互い取組みを一時休止し、一休みしてから取り（仕切り）直す。

力士の一日

- ① 相撲部屋の門をくぐったら/に入門したら、親方が力士の保証人となり、身柄を引き受ける。
- ② 義理の親子（父子）
- ③ 一劳永逸 一度苦勞すれば一生安泰だ
- ④ 再接再厉 より一層努力を重ねる
- ⑤ 力士たちはしっかりした基礎（素質の良さ）だけでなく、厳しい修行を積まなければ実力/技を身につけることができない。
- ⑥ だから弟子入りしてからの親方は決して弟子を甘やかさない。
- ⑦ 身をもって示す。
- ⑧ 親方の期待に背かない。
- ⑨ 新人（新弟子）は食事の支度から兄弟子の日常生活における雑用の世話まで、たくさんのお世話をしなければならない。
- ⑩ 唯/惟命是从 絶対服従
- ⑪ 決して兄弟子に口答えしてはならない。
- ⑫ 兄弟子たる者、弟弟子をかわいがらねばならず、日がたつにつれて彼らの関係はますます深まり、
- ⑬ 情同手足 深い付き合いをする

外国人力士の活躍—武蔵丸

- ① 彼らの素早い（機敏な）攻撃に、観客たちはあっと言われる（舌を巻く、恐れ入る）
- ② 日本の若者たちは体格的に劣るだけではなく、根性（気骨/ハングリー精神）がない
- ③ 三天打魚两天晒网 三日坊主

- ④ 一方、富も名誉もあるこの仕事に触発され（意欲をかきたてられ/モチベーションが上がり）、多くの外国人力士が一か八か（背水の陣）で見知らぬ日本にやってくる。
- ⑤ 彼らは身を削るような苦勞を重ねて試練に耐えるのだ。
- ⑥ 巨漢の（体の大きな）外国人力士とは全く比べ物にならず（見劣りし/太刀打ちできず）、日本人力士はお手上げ（降参）である。
- ⑦ 四股名「武蔵丸」というハワイの若者が1989年に日本の角界に入り、何場所も続けて勝ちこし、土俵を大いに盛り上げた。
- ⑧ 子供のころから体格がよかった武蔵丸はガキ大将で、高校時代にはアメフト（アメリカンフットボール）の選手をしていた。
- ⑨ 養家糊口 家族を食べさせる（養う）
- ⑩ 彼は両親に育ててもらった恩を返そうと誓った。
- ⑪ その時ちょうど（おりよく）ある日本人が現地に新人力士/新弟子のスカウトに来ていた。
- ⑫ 求之不得 願ってもない
- ⑬ 武蔵丸は即答し、日本行きに二つ返事で応じた。
- ⑭ 日本に着たばかりで右も左も分からず（知り合いもいず、土地にも不慣れ（不案内）で）、日本語も片言でした
- ⑮ 車内ではみんながこの場所を取る「重量オーバー」の外国人力士をじろじろと見ました。
- ⑯ 幸いにしておかみさんが親身になって日本語を教えてください、毎日私を応援して（励まして）くださいました
- ⑰ 一旗揚げよう（大成功を収めよう/事を為しとげよう）
- ⑱ 途中で逃げ出すようなみっともない（恥ずかしい）こと
- ⑲ 彼は上位四名/ベスト4/大関となった。
- ⑳ 彼がとても速く昇進できた理由
- 21 一寸光阴一寸金 時は金なり
- 22 さらに五年がすぎ、ついに横綱すなわち最高番付の地位に昇進した/頂点に上り詰めた。
- 23 人格者（聖人君子/品行方正な人物）としての風格や品格
- 24 反則行為/禁じ手は許されない。
- 25 たとえ勝利が堅くともおごり高ぶってはならない。
- 26 人前（公衆の面前）で酒におぼれて暴れたりしてはならない。
- 27 そうでないとブーイングが来る/非難を受けるだろう。
- 28 名不虚伝 正真正銘の
- 29 安居乐业 安定していて仕事楽しい
- 30 私が最もやりがいを（やってよかったと/励みになると）感じるのは、稽古中に流した

汗で弟子たちがもっと強くなることです。

角界の不祥事

- ① グローバル化
- ② 次々ともめ事を起こす力士もいる。
- ③ 外で癩癧を起して怒鳴ったり（当り散らしたり）、またむしゃくしゃしてうっぷんを晴らしたりする力士もいた。
- ④ また麻薬（薬物）に手をだしたり、または八百長試合をして報酬を受け取ったりなどの違法行為をする力士もいた。
- ⑤ これら一連の不祥事（スキャンダル）によって世間を騒がせたため、大相撲は一時的に休止に追い込まれた（を余儀なくされた）。
- ⑥ 夏場所
- ⑦ 積重難返 悪習は治りにくい
- ⑧ 悪習に染まり不祥事を起こしたこの力士たちのうち、除名（破門）されて帰国するものもいれば、情状酌量で寛大な処置を受ける者もいた。
- ⑨ 本来なら国民のお手本となるべき力士たちの威信はがた落ちだ（地に墮ちた）。
- ⑩ 力士たちに対し、自分たちの一挙手一投足（言動の一つ一つ）が周りに大きな影響を及ぼすことを、再認識して（改めてわかって）ほしいものだ。

相撲の起源

- ① 国技とはなにかということについてはっきりした決まりがあるわけではない。
- ② 憲法および法律においても明文化されておらず、また日本発のオリンピック競技種目というよりは柔道だ。
- ③ 相手を押し倒す競技
- ④ その理由は相撲の起源が日本国の誕生と切り離せない関係にあるからだ。
- ⑤ 「古事記」すなわち日本の「史記」は、天地開闢/この世界の始まりの神話の時代から始まり、皇室がこの国を治めることの正当性を語る。
- ⑥ 高天原から「根の国（すなわち日本列島）」に追放された。
- ⑦ 一方的に出雲国を統治しようと、何人かを派遣して大国主命に国譲り/禪譲を迫った。しかし使者たちは結局みな任務を放棄し、出雲に安住するようになった。
- ⑧ 大国主命は「このことは自分の一存では決められない。二人の息子の同意を得てから考えよう。」と曖昧に答えた/言葉を濁した。
- ⑨ 大国主命の長男を同意させてから、次男にも同意を求めようとした。
- ⑩ たとえ倒れても降参しない限りは矛が収まらない、「デスマッチ」の/死ぬまで戦うような決闘だった。
- ⑪ 腕を刀に変えて、次男に斬りかかった。

- ⑫ 出雲から 600km 以上離れた本州中部の諏訪湖
- ⑬ 土下座をして「国譲りには同意する。今後はここから一步も動かないことを誓うので、命ばかりはお助けを。」と頼んだ。
- ⑭ 自分の孫を九州高千穂峰に降臨させた。
- ⑮ 大和国（奈良県）で即位してから日本の初代天皇となった。
- ⑯ 出雲で生まれ育った筆者は物心がついた頃から大人たちがこんな話をするのをしょっちゅう聞いてきた。
- ⑰ 「古事記」の世界は親しみやすい/親しみのある話題だった。
- ⑱ 一言でまとめると、
- ⑲ 相撲の取組みで勝った天皇の先祖が統治/支配権を勝ち取った。
- ⑳ 国家成立時に重要な役目を果たした相撲が「国技」となったのも納得がいく。

中国語で学ぶ日本⑱相撲

単語表現帳 氏名

1 大相撲の実況中継/2 大手各紙のスポーツ欄	
2 トップニュース/前日の取組/3 まわしを締める	
4 相手を土俵から押し出す/5 かの有名な（成語）	
5 それでは皆さんをご案内しよう。	
6 一万人の観衆が収容できる/ 7 座席は指定席になっている	
9 コンパス/俵/10 皆が見守る中/実力が互角の力士	
10 威風堂々と土俵入りする/12 腰を落とす	
13 両手をこすり合わせる/15 体格ががっしりした	
15 武者震いをする（成語）/16 ストレッチ	
17 力が伯仲する/18 息を殺す/19 息を合わせる （各成語）	
19 勇気を奮い立たす/21 融通を利かす/22 先手必勝	
23 作戦を逆手に取る/24 大声を出す（各成語）	
25 行司/装束がその位を表す目印だ/26 一瞬の（成語）	
27 俵を割る/反則を犯す/甲乙つけがたい/	
28 仕切り直し/29 実力に差がない（成語）/優勝争い	
30 がっかりする（成語）/31 懸賞金をもらう	
32 水はとても大切な役割を担っている。	
33 取り組みの勝敗がなかなかつかない。	
1 保証人となる/身柄を引き受ける/2 義理の父子	

3 一度苦勞すれば安泰だ/4 一層努力を重ねる（各成語）	
5 素質が良い/厳しい修行を積む/6 弟子入り/甘やかす	
7 身をもって示す（成語）/8 期待に背く ^{そむ} /9 新人	
9 兄弟子/雑用/10 絶対服従（成語）/11 口答え	
12 兄弟子たる者、弟弟子 ^{おとうとでし} を可愛がるべきだ。	
12 日がたつにつれ/13 深い付き合いをする（各成語）	
1 素早い/恐れ入る（成語）/2 体格が劣る	
2 根性がない/3 三日坊主/4 富も名誉もある（成語）	
4 この仕事に触発され多くの外国人が来日した	
4 背水の陣をしく（成語）/見知らぬ/	
5 身を削るような苦勞を重ね試練に耐える。	
6 巨漢/比べ物にならない（成語）/お手上げ	
7 四股名 ^{しこな} /何場所も勝ち抜く/8 体格が良い	
8 ガキ大将/アメフト/9 家族を養う（成語）	
10 願ってもない/11 二つ返事で即答する（各成語）	
14 来日したばかりで右も左も分からない。	
14 日本語も片言だ。/15 場所を取る/重量オーバー	
16 幸いおかみさんが親身に日本語を教えてくれた	
16 私を励ましてくれた。/17 一旗揚げる	
18 途中で逃げ出す/みっともない/19 ベスト4	

20 彼がとても速く昇級できた理由/21 時は金なり	
22 昇進する/23 人格者（成語）/24 反則行為	
25 勝利が固い/おごり高ぶる（各成語）	
26 人前で酒におぼれて暴れる/27 ブーイングが来る	
28 正真正銘の/安定し楽しい（各成語）	
30 やりがいを感じる	
1 グローバル化/2 もめ事を起こす（成語）	
3 癩癩 <small>かんしゃく</small> を起こして怒鳴る/むしゃくしゃする	
3 うつぶんを晴らす/4 薬物に手を出す/八百長	
6 夏場所/7 悪習は治りにくい（成語） /	
8 悪習に染まり不祥事を起こす/除名 <small>じょうじょうしゃくりょう</small> /情状酌量（成語）	
9 お手本/威信がガタ落ちだ（成語）	
10 言動の一つ一つが周りに影響を及ぼす。	
2 明文化される/日本発のオリンピック競技種目	
5 天地開闢（成語） / 皇室がこの国を治めることの正当性	
6 天から日本列島に追放される/7 一方的に迫る	
8 これは自分の一存では決められない/言葉を濁す	
9 長男/次男/10 降参しなければ矛が収まらない	
10 デスマッチ/11 斬りかかる/	
12 出雲から 600km 離れた場所/13 土下座する	
13 ここから一步も動かない/命ばかりはお助けを	

15 即位する/16 その地で生まれ育つ（成語） /	
17 親しみのある話題/18 一言でまとめると	
20 納得がいく	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ文化⑱ 道

茶道

- 1 お茶を飲んでシャキッとすする
- 2 茶の影響がないところはない。
- 3 各有千秋 それぞれの特徴がある
- 4 日本の昔から今に伝わる「道」という考えが喫茶の習慣にとけこみ
- 5 仰々しくお辞儀をして飲むのは堅苦しい。
- 6 名のある茶器やそれなりの着物をそろえるのは、見え張りの無駄遣いに思える。
- 7 魚贯而入 一列になって入る
- 8 俗世間の身分
- 9 大富豪、億万長者
- 10 腰をかがめてお辞儀をする
- 11 茶室は飾り気がなくさっぱりしていて、場所も人が入りきれないほど狭い。面積はわずか一坪（二畳）で、多くても四人しか座れない。
- 12 わび、さびの雰囲気漂う（簡素で静かな）部屋は、飾らぬ気品ある/さっぱりして上品な空気であふれ、炉/風炉の茶釜からぐらぐら沸き立つ音がする。
- 13 正座した一人の女性が丁寧にお辞儀してから、手を伸ばしてひしゃくを取る。
- 14 何も考えず（心を空にし）、もう少し自然に、かたくならず、力を抜いて。
- 15 先生は上品な/洗練された話し方でおっしゃった。
- 16 わき目も振らずに茶道に精進/研鑽してきました。
- 17 心の中にあるものなのです。
- 18 人間にとって（人として）素直な心をもつことの大切さをようやく悟りました。
- 19 人間たるもの大らかすぎても威張りすぎてもいけません。
- 20 素直な心があれば、目下から学ぶのも恥ずかしくありません。
- 21 「道」というものははっきりした形がないので、私の言葉では表しきれないのですが、
- 22 ただ私自身、「道」を追い求め、素直な心を育む（養う）ためには、根気よく努力し続けねばならないということがしみじみ（つくづく）わかってきました。

柔道

- ① 柔道は前線で戦う武士たちが刀折れ、矢も尽き、疲労困憊した時に最後の力をふりしぼって素手で戦う武道に由来する。
- ② 礼尚往来 礼に始まり礼に終わる
- ③ 以柔克剛 柔よく剛を制す
- ④ 強さと柔らかさを兼ね備え、心身ともに修めることを重んじる柔道
- ⑤ 強くたくましい外観だけでなく、気品があり奥深い内面/心も備えなければならない。

- ⑥ 柔道の創始者、嘉納氏は、人々から仰ぎ見られている。
- ⑦ カンフーシューズをはかず、はだしで入る。
- ⑧ 垂暮之年 晩年
- ⑨ 道場内はまるで「人種のるつぼ」で、白人黒人アジア人みなともに稽古に励んでいる。
- ⑩ だぶだぶの柔道着を着て、目をキラキラ輝かせた子供たち
- ⑪ 目を細め/相好を崩し、穏やかな表情の
- ⑫ 優柔不断で（なよなよして/たよりなさげで）男らしくない男性
- ⑬ ここで稽古している男性は、角刈りで小柄でもファイトのある「男らしい」人が特に多い。
- ⑭ かしこまって座礼する。
- ⑮ ヨガのような体操
- ⑯ 「入門心得（注意事項）」や畳の上での座り方
- ⑰ 打ち込み/技の稽古をしてからペアになって乱取りをする。
- ⑱ もともと柔道着は長持ちするものだが力の限り稽古するので、柔道着もぼろぼろになる。
- ⑲ しばしば押さえ込まれ、顔を真っ赤にして必死で/懸命にもがく。時には脱臼したり、気絶したりさえする。
- ⑳ 惻隠之心 思いやり
- 21 小躍りして叫んだりガッツポーズしたりする。
- 22 設身处地 相手の身になる
- 23 柔道は趣味程度/興味本位にとどまっていた。
- 24 行住坐卧 日々の行い

武士道と剣道

- ① 軟弱な（文弱な/弱体化した）天皇
- ② 粗野で/教養なく文字も読めない武士。
- ③ 刀を振り回し、切り捨てごめんの門番や用心棒が多かった。
- ④ 覇道を唱え、武力に訴える彼らは、庶民の恨みを買った。
- ⑤ 将軍は陰でこそこそ謀反をたくらむ武士たちから、忠誠心あふれる臣下に変えたがっていた。
- ⑥ この世がよくなるもならないも、一人一人に責任があること
- ⑦ 戦場から逃げ/敵に背を見せてはならない。討死（戦死）は名誉なことだ。そして大往生を遂げる（畳の上で亡くなる）のは恥である。
- ⑧ 品行方正で礼儀正しい。
- ⑨ 庶民を力でねじ伏せる/おさえる
- ⑩ 無常観/はかなさ
- ⑪ 意味なく生きるより潔く死んだほうがよい/武士道とは死ぬこととみつけたり

- ⑫ 視死如歸 死を目の前にしてもたじろかない
- ⑬ 武士を、ただ刀を差した兵士であるとみなすのは大間違いで、刀をもちながら儒学をおさめた官僚であり、僧侶でもあると見なすべきなのだ。
- ⑭ 繰り返し打って熱を加え、反り返った（弧を描いた）日本刀
- ⑮ 弾や矢が雨あられと降る中、
- ⑯ びくびくした悪役が堂々/きりりとした風貌の主人公に斬られる。
- ⑰ 逃走する犯人を捕らえるために、警察学校でも剣道をまなぶ。
- ⑱ 大声を上げながら打ち合い、勝負をつける競技
- ⑲ 剣道がより重視するのは平常心を養い、自分を抑えて礼を正すなどの精神的な修練であり、呼吸が乱れたり、そわそわしたりすると決して当たらない。
- ⑳ 彼は腹（度量）が大きい
- 21 推心置腹 腹を割って話す
- 22 建前
- 23 災いが我が身に降りかかり責任をとらされるときでも、武士は死を恐れているという「本音」を言うことはできないのだ。
- 24 自己正当化する（周りのせいにする）くらいなら、冤罪/身に覚えのない罪で死んだほうがましなのだ。
- 25 武士道は、ただ生きるだけなの/無意味に生きるのはこの上ない屈辱であり、極めて恥ずかしいことだと戒めている。
- 26 彼らは自分の心に誓って恥じる/やましいことがなければ、人のせいにしたりせず、切腹という行為によって人に自身の潔白（誠実さ、誠）をはっきりと見せるのだ。

書道

- ① 編入生
- ② 教室内はひっそりしていて、墨のかおりがほんのり漂ってくる。
- ③ アロマテラピー
- ④ 力強い筆遣いの絶句
- ⑤ 力強い作品もあれば、くずし字のため筆の跡の見分けがつかないものもある。
- ⑥ 先生はお手本を示してくださったが、私は筆の運び方や書き順が間違っていた。そして気が散ってしまい、間違えだらけになってしまった。
- ⑦ 抜（握）苗助長 上達を焦って台無しになる/急いで事はし損ずる
- ⑧ 添削して/朱を入れていただく
- ⑨ 書の奥義/真髄を窮めるまで、我々は先人のやり方を踏襲し、こつこつ/根気よく学ばねばならない。

「道」と人工知能

- ① ねんざしてからというもの、稽古は挫折しまった。
- ② 中途半端ではあったが、収穫/学ぶところもあった。
- ③ 小学生たちが柔道の技を使ってふざけていたとき
- ④ 弱い自分をコントロールすることによって、自分自身がどんな状況にあっても再び立ち上がることができる人間になれるようにするのだ。
- ⑤ 破茧成蝶 pò jiǎn chéng dié 生まれ変わる
- ⑥ 書くときに一文字一文字の書き方に気をとられすぎるため、全体のバランスがおろそかになってしまうのだ。
- ⑦ 堅くなっているはずすらと/自然体で書くこともできず、自分らしさが現われない。
- ⑧ 確かに先輩の作品を見るときには行間にもリズム感が感じられ、字と字、列と列にも「間(ま)」がとってあり、見ていて落ち着くのだ。
- ⑨ つまり人生で最も大切なのはバランス、リズム、そしてリラックスということなのだ。
- ⑩ 学ぶことによって人格を形成し、心を豊かにする
- ⑪ 「道場」において英語のレベルアップのみを追求すると、先生にしかられる。
- ⑫ 英語を学ぶときに文化や社会の各分野の知識をバランス良く身につけなければ
- ⑬ 個々の単語の発音にこだわる/発音をどうするかよりも大切なのは、全体のリズムと呼吸法である。
- ⑭ 一にも二にも肩の力を抜くことだ。
- ⑮ 「グローバルな見方」ができる人/「グローバルな視点」で見る人
- ⑯ 「ディープ・ラーニング」によって人工知能が「ビッグデータ」のなかから絶えず知識を吸収し続ける。
- ⑰ 新しい自分になろうとする情熱においてさえ負けてしまったら、人間失格である。
- ⑱ 学ぶ過程において、新しい自分になることが最重要なのだ。

中国語で学ぶ日本⑱道

単語表現帳 氏名

1 シャキッとする/3 それぞれの良さがある (成語)	
5 仰々しく正座して飲むのは堅苦しい。	
6 名のある茶器/それなりの着物/無駄遣い (成語)	
7 一列に入る (成語) /9 億万長者/11 多くても	
12 炉の茶釜からぐらぐら沸き立つ音がする。	
13 客に丁寧にお辞儀をして、手を伸ばし柄杓 <small>ひしゃく</small> を取る	
15 上品に言う/16 脇目 <small>わきめ</small> も振らず茶道に精進 <small>しょうじん</small> する	
17 心の中にあるもの/18 悟る/素直な心	
19 威張る/20 目下から学ぶ (成語)	
21 はっきりした形がない/言葉で意を尽くせない (各成語)	
22 つくづくわかった。/根気よく努力する (成語)	
1 最前線/疲労困憊 <small>こんぱい</small> /最後の力を振り絞り素手で戦う	
3 柔よく剛を制す/6 創始者/7 カンフーシューズ	
8 晩年 (成語) /9 人種のるつぼ/稽古に励む	
10 だぶだぶの柔道着/目を輝かせた子供	
11 目を細める/12 男らしくない (各成語)	
13 角刈 <small>かくが</small> りにする/男らしい/ 15 ヨガ/16 入門の心得	
17 技の稽古/18 丈夫で長持ち/力の限り稽古する	
18 ぼろぼろだ/19 押さえ込まれる/必死にもがく	
19 顔中真っ赤だ/気絶する/20 思いやりの心 (成語)	

21 小躍りして叫ぶ/22 相手の身になる (各成語)	
24 日々の行い (各成語)	
1 軟弱な (成語) /2 文字が読めない (成語)	
3 刀を振り回す/用心棒/4 武力に訴える	
5 陰で謀反 ^{むほん} を企てる/忠誠心あふれる/7 敵に背を向ける	
7 討死 ^{うちじに} /畳の上で死ぬ/8 品行方正 (成語)	
9 民を力でおさえる/12 死を前にして、たじろかない (成語)	
13 刀を差す/大間違い (成語) /14 振り返った刀	
15 弾や矢が雨あられと降る/16 びくびくした (各成語)	
17 逃走犯を捕らえる/19 呼吸が乱れる/そわそわする	
20 腹が大きい/21 腹を割って話す (成語) /22 建前	
23 災いが我が身に降りかかる (成語×2) /本音	
24 身に覚えのない罪で死ぬ/周りのせいにする (各成語)	
25 だらだら生きる/この上ない屈辱 (各成語)	
26 心にやましさがない/真心 (各成語)	
1 編入性/2 ひっそり静まる/墨の香りが漂ってくる	
3 アロマテラピー/5 くずし字で書く/見分けられぬ	
6 手本を示す/筆を運ぶ/書き順/気が散る	
6 間違いだらけ/7 急いては事を仕損じる (各成語)	
8 朱を入れる/9 こつこつ続ける (成語)	

1 ねんざする/2 中途半端（成語）/学ぶところがある	
3 柔道の技/ふざける/4 弱い自分をコントロールする	
4 再び立ち上がる/5 生まれ変わる（各成語）	
6 気を取られる/全体のバランスがおろそかになる	
7 固くなっているはずらすら書くことはできない	
7 自分らしさが表れない/8 リズム感/見ていると落ち着く	
10 学ぶことで人格を形成し、心を豊かにする（成語×2）	
12 各分野の知識をバランスよく身に着ける	
13 発音にこだわる/14 一にも二にも肩の力を抜くことだ	
16 ディープ・ラーニング/ビッグデータ	
17 人間失格だ/18 最重要だ（成語）	

通訳案内士試験中国語で学ぶ日本⑳仕事

東京のサラリーマン①実直一筋大石さんの場合

- ① 超高層ビル（摩天楼）
- ② 薄利多売で知られる旅行代理店
- ③ 受付/カウンター
- ④ 両側のスチール棚（キャビネット）には契約書、チケットの料金表、給与明細、伝票、見積書など各種重要書類のファイルがはいっている。
- ⑤ コピー用トナーや画びょう（押しピン）、マグネットなどの道具やテープ、ルーブリーフなどの文具。
- ⑥ そこにはタイムレコーダもおかれ、社員は出退勤の際はカードを押すことになっている。
- ⑦ 事務機の奥にはコピー機とプリンター、シュレッダーなどのオフィス（事務）機器がある。
- ⑧ 本社から出向してきた上司の前で
- ⑨ 低三下四　ぺこぺこする
- ⑩ びくびく（おどおど）しながら
- ⑪ 含糊其辞　奥歯に物が挟まったような・曖昧な
- ⑫ 課長の言いなりになるイエスマン
- ⑬ ビシッとスーツを着こなしてはいるが、上司の顔色を伺い動作が不器用な彼
- ⑭ OJT（現場研修）という名目の使い走り（雑用係）から始まり、二度の異動（転勤）を経てここにやってきた。
- ⑮ 年功序列制度によって、もとの係長が栄転し、本社が彼に引き継がせた（後釜に座らせた・後任にさせた。）
- ⑯ 基本給以外に、扶養手当、勤続手当、そして係長の職務（役職）手当ももらえる。
- ⑰ 「寄らば大樹の陰（長いものには巻かれろ）」
- ⑱ そのため彼は毎日決められたとおりに働く。
- ⑲ フレックスタイム
- ⑳ これまで仕事をさぼったこともない。
- 21 彼がチェックした帳簿は漏れやミスがない。
- 22 人当たりがよく、同僚に力を貸すだけでなく、いつも部下のしりぬぐい（後始末/フォロー/カバー）までするのだ。
- 23 お人よし
- 24 勤務時間には不満に思っているも口に出せない部下も、このときは不平をもらし（文句/愚痴を言い）、意見を述べる。
- 25 彼が今最も心配しているのは、減給（給料カット）と地方への左遷（降格人事）である。それも「ウサギ小屋」のような家を買うために、彼は頭金（手付金）を支払い、かなり

の額の借金をし、本格的に住宅ローン地獄の仲間入りをしてしまったからだ。

- 26 量力而为 分相応（収入内でやりくりする）
- 27 財テク（資産運用）
- 28 彼は銀行の普通預金口座に預けているだけだ。その年利は0.1%にさえも満たない。
- 29 自分の通帳の残高が増えていく
- 30 平々凡々な暮らし

東京のサラリーマン②自由奔放吉田さんの場合

- ① 当仁不让やるときにはやる
- ② 彼が転職してここに来た広報部門の職員だ。
- ③ 彼にはずば抜けた才能がある
- ④ 展示即売会における商品の委託販売など、様々な販売を体験/経験してきた。また、ノーブランドのオリジナル商品も開発したことがある。
- ⑤ セールス/営業のときは門前払いを食らっても気にしない/平気だ。
- ⑥ 火中取栗リスクを取る
- ⑦ かつて自分で資金を調達して、もうけも損失も自分次第（独立採算）の自営業（個人経営）をしたこともある。
- ⑧ 販売戦略、合併・買収/M&Aなどの企業運営方面に関しても明るい/だいたい分かっている。
- ⑨ 人に取り回る/可愛がられるのもコネを作る/ネットワークを広げるのもうまい。よって各業界のキーパーソンとも面識がある。
- ⑩ 大学時代に株主として、株の売買で配当金をもらった。これまで毎日TOPIX（東証株価指数）やダウジョーンズ平均株価指数などの市況をチェックしたりしてその日の注目/人気銘柄を研究している。
- ⑪ 彼はマージンの受け取りやマルチまがい商法、談合、ダンピングなど、「グレーゾーン/違法すれすれの」仕事は手を出した（足を踏み入れた）ことがない。
- ⑫ 假公济私 仕事にかこつけ私腹を肥やす
- ⑬ 何ごとにもワンマンになりがち/独断専行しがちで、人と話し合いがたらない
- ⑭ 彼は会社の直接雇用の正社員ではなく、人材派遣会社が年俸制で派遣してきたものだ。
- ⑮ 彼は率直/ストレートな性格で、自分の考えをズバズバ/はばかりなく述べる。そしておべっかを使う/ごまをするのや妥協して人に合わせる/迎合するのが何よりいやだ。
- ⑯ ちょっと面白くないと嫌な顔をし/顔に出て、さらには逆切れさえする。
- ⑰ 彼の出勤時間は不規則で、ノルマが達成できなくても家に帰ることがある。
- ⑱ 昼にビジネスランチとして顧客（クライアント）と食事をしながら商談をし/打ち合わせをし、
- ⑲ 先斩后奏 事後報告

- ⑳ 上司にしかられても自分の意見を引っ込めないで、「常習犯」の彼は会社に何度も始末書を書かせられた
- 21 下不为例これで最後だぞ/次回はないと思え
- 22 週末には日中/中日同時通訳という副業もある。
- 23 二足のわらじをはく/同時進行で
- 24 江山易改，本性難移三つ子の魂百まで
- 25 肝胆相照心が通じ合う/ツーカーの仲
- 26 勤務中には言いたい/気にかかることがあっても表面を取り繕う（建前をいう）だけのことも多いが、お酒を飲んでほろ酔いになる（できあがってくる）と腹を割るようになり、本音が出てくる。
- 27 このごろは彼らも体に気をつけ始めたが、冷酒は口当たりが良い/飲みやすいのでつい飲み過ぎてしまう。
- 28 翌日になるときつと頭がズキズキ/割れるように痛くなるのは百も承知だが、深酒してしまうのだ。

フリーター問題

- ① 脱貧致富 貧しさから抜け出して豊かになる
- ② 多勞多得働けば働くほどもらえる
- ③ 従業員たちは体が持たない/たまらない/やってられない。
- ④ 契約社員たちは仕事に応じて給料をもらい、自分のペースでできる/できることをすればよい。
- ⑤ 眼高手低理想ばかりで実力が伴わない
- ⑥ 萎靡不振不景気で/業績が振るわず
- ⑦ 苦学生たちは中退せざるを得ない/退学を余儀なくされる
- ⑧ 正社員が受けられる各種の福利厚生
- ⑨ 労災にも入れず、契約更新ができるかどうか契約社員たちにとってずっと気にかかっている。
- ⑩ 契約満了（期間が終わる）前に他の人に業務の引き継ぎをするとき
- ⑪ 会社からは軽く扱われ、冷遇されている/使い捨てに過ぎないと思う。
- ⑫ 転職先/別の食い扶持を探す。
- ⑬ カツカツ/ぎりぎりの生活だ。
- ⑭ 民以食为天 まず気がかりなのは食べることだ/人間にとって食が最も大切だ
- ⑮ 出費を抑える
- ⑯ 競争で優位な位置に立つ
- ⑰ 箔をつける/スペックをあげるために大学院に通う。
- ⑱ 学歴やIQが高いだけで、修士号を取ってからもフリーターになったり使い走り/雑用

ばかりしたりする人も掃いて捨てるほど/ごろごろいる。

- ⑱ こうした高学歴者/インテリの中にも、高学歴ワーキングプアやパラサイト（ニート/すねかじり）として暮らしたり、ショックに耐えられず精神科に通ったりする人もいる。
- ⑳ 思うとおりにいかず（夢破れて/失意のうちに）蒸発（失踪）してしまったり、思いつめて（気に病んで）自殺してしまう者がなんと一割も占める。
- 21 衣食住もままならぬ若者は結婚もできない/独り者のままだ。
- 22 迎刃而解 連鎖的に/スパッと解決される

日本人と仕事

- ① この「仕事」という言葉の成り立ち/考え方が日本人の仕事観/職業観を表わしている。
- ② 仕事を通じた自己実現/自分の生きる意味を証明する/確かめること
- ③ 自分の存在価値を認められることが最も理想的な仕事であり、金銭や社会的地位はそれに付随するものである/後からついてくるものである。
- ④ 「仕事」において現われる最も日本人らしい点は、細かいことまできちんとすること/こだわることだ。
- ⑤ ただ金銭のためだけならば、クレーム/文句がでない程度に、ほどほどに仕事をすれば良い。
- ⑥ しかし自分の存在を投影するのならば意地/こだわりが出てくる。
- ⑦ 「難攻不落」を謳われた熊本城の石垣
- ⑧ なぜこんなに時間がかかるのかというと、崩れ落ちた/崩落した岩の一つ一つに番号を振ってから運び、そして元々の位置に置き直すからだ。
- ⑨ 実際、全ての石を崩してしまっても新しく組み直せば、ずっと手間暇がかからない/時間と労力の節約になる。
- ⑩ 震災前の写真と一つ一つ照らし合わせる人などいるわけがない。
- ⑪ どれぐらい本来の姿に戻せるか/復元できるかということが研究者や職人のチャレンジとなっている。
- ⑫ 専門家としての「意地/こだわり」もあるので、素人/門外漢には石の形が分からないからといって妥協する/適当にやるのであれば、自尊心が傷つくのである。
- ⑬ 巨石が連なる城壁と雄大にして壮観な天守に見守られて大きくなることは何にも代えがたい誇りなのだ。
- ⑭ 人々は熊本城の再建を、故郷の復興の目に見える形の目安とし、日々励まされるのである。
- ⑮ 壊滅的に破壊された/被害・損害を受けた。
- ⑯ 地元の人たちにそれまでの日常生活が戻ってきたことをアピールした。
- ⑰ 被爆した作業員たちが損害の少ない線路を復旧させ、特に女学生たちの奮闘で路面電車/ちんちん電車は改めて「正常に/通常通り」運行した。

- ⑮ 爆心地付近で重傷を負った放射能医学の永井隆博士は自らの危険を省みず病気で倒れるまで救援/救護活動を行いつづけた。
- ⑯ 日本人は教わらなくても「仕事をして家を養えば国が治まり天下泰平となる。」(と知っていた。)

中国語で学ぶ日本②⑩仕事

単語表現帳 氏名

2 薄利多売（成語）/旅行代理店/3 受付カウンター	
4 スチール棚/契約書/料金表/給与明細/伝票	
4 見積書/書類/ファイル/5 コピー用トナー	
5 画びょう/マグネット/ルーズリーフ	
6 タイムレコーダ/社員は出退勤時にカードを押す	
7 事務機の奥にはプリンターが置かれている。	
7 シュレッダー/8 本社から出向する/9 ペコペコする（成語）	
10 びくびくする/11 奥歯に物が挟まったよう（成語）	
12 課長の言いなりになるイエスマン	
13 ビシッとスーツを着る/顔色をうかがう（成語）	
14 OJT/使い走り/転勤/15 年功序列	
15 係長が栄転する/彼を後任にする/16 基本給	
16 扶養手当、勤続手当、職務（係長）手当ももらえる。	
17 寄らば大樹の陰/18 決められた通りに（成語）	
19 フレックスタイム/20 仕事をさぼる/	
21 帳簿をチェックする/漏れやミス/	
22 人当たりがよい/部下をフォローする	
23 お人よし/24 文句を言う/25 減給/地方への左遷	
25 ウサギ小屋（比喻）/頭金/大借金する	

25 住宅ローン地獄の仲間入りする/26 分相応（成語）	
27 資産運用/28 普通預金口座/年利/29 通帳	
30 平々凡々な	
1 やるときにはやる（成語）/2 転職する	
2 広報部の職員/3 才能がずば抜けた（成語）	
4 展示即売会/委託販売/ノーブランド/オリジナル商品	
5 門前払いを食らう/6 リスクを取る（成語）	
7 資金調達する/儲けも損も腕次第（成語）/自営業	
8 販売戦略/M & A/～に明るい	
9 可愛がられる/ネットワークを広げる/キーパーソン	
10 株主/株の売買/配当金/T O P I X/市況	
11 手を出す/マージン/マルチまがい商法/談合	
11 ダンピング/12 仕事にかこつけ私腹を肥やす（成語）	
13 ワンマン/人と話し合う/14 直接雇用の正社員	
14 人材派遣会社が年俸制で派遣する。	
15 ずばずばのべる/おべっかを使う/人に合わせる	
16 少々面白くないと嫌な顔をし、逆切れさえする	
17 ノルマを達成する/18 ビジネスランチ/	
18 顧客と食事しながら商談する/19 事後報告（成語）	
20 上司に叱られても自分の意見をひっこめない。	

20 常習犯の彼は会社に何度も始末書を書かされた。	
21 次はないと思え（成語）/22 副業/日中同時通訳	
23 二足のわらじをはく/24 三つ子の魂百まで（各成語）	
25 心が通じ合う（成語）/26 気にかかる/	
26 酒を飲んでほろ酔いになる/27 体に気を付ける	
27 冷酒は口当たりがいいのでついつい飲みすぎる。	
28 翌日はきっと頭がズキズキ痛むのは百も承知だ。	
28 深酒する	
1 貧しさから抜け出す/2 働いただけ金になる（各成語）	
3 体がもたない/4 仕事に応じ給料をもらう（成語）	
5 理想ばかり高い/6 業績が振るわない（各成語）	
7 苦学生たちは中退を余儀なくされる/8 福利厚生	
9 労災/契約更新/10 契約満了/業務の引継ぎをする	
11 使い捨てられる/12 転職先を探す/13 ぎりぎりの生活	
14 人間にとって食が最も大切だ/15 出費を抑える	
16 競争で優位に立つ（成語）/17 箔をつける/18IQ	
18 修士号を取る /掃いて捨てるほどいる	
19 高学歴者（成語）/すねかじり/20 夢破れて	
20 蒸発する/思いつめて自殺する/21 衣食住もままならぬ	
21 結婚できない/22 連鎖的に解決する（成語）	

2 自己実現/3 金銭は後からついてくるものだ	
4 細かいことまでこだわる/5 クレームが出る	
5 ほどほどにする/6 自分の存在を仕事に投影する	
7 難攻不落を謳われた石垣/8 岩の一つ一つに番号をふる	
9 手間暇を省く/10 一つ一つ照らし合わせる	
12 専門家としての意地/素人/13 巨石連なる城壁	
13 天守に見守られ成長することは何にも代えがたい誇りだ	
14 城の再建を故郷の復興の目に見える目安とする	
16 それまでの日常生活が戻ってきたことをアピールする	
17 被ばくした作業員/路面電車/18 爆心地	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本②アニメ

日本人と漫画 その起源

- 1 ラーメン屋、喫茶店、美容室、病院の待合室など、人々が並んで待つ場所ではみな週刊漫画雑誌やコミック（単行本）のシリーズが置かれている
- 2 汗牛充棟 本でぎっしりである
- 3 漫画を読むのはふつう子供たちに限られている。
- 4 「子どもっぽい（幼稚だ）」と、笑われる。
- 5 驚きを隠せない/びっくり仰天だ
- 6 殊途同帰 方法は異なっても結果は同じだ

戦後日本のアニメ史

- ① 日本アニメの先駆けは1917年にまでさかのぼることができる。
- ② そのコストは収益よりも大きく、赤字になってしまい（採算が取れず）作れば作るほど（損をして）しまう。
- ③ 人気のある漫画作品はテレビ放映され（ブラウン管に登り）、アニメは広がりはじめ、根付いた（市民権を得た）。
- ④ 実験的芸術作品
- ⑤ 日本のアニメはストーリーと娯楽/エンタメ性において若者向けにアピールするよう重んじ、新たなアニメファンを作り出そうとした。
- ⑥ 新しい魅力と潜在能力（ポテンシャル/可能性/底力）を極力見つけて（掘り起こして）もらおうとしている。
- ⑦ 勧善懲悪/道徳的内容
- ⑧ 邪不圧正 正義は勝つ
- ⑨ このような作品は味気なくつまらないからだ。
- ⑩ 暴力シーンや性的な（露出）シーンが散見される（ちらほらする/垣間見られる）
- ⑪ 悪い習慣に染まる。
- ⑫ 内容の削除や修正してからでないと言われない作品もある。
- ⑬ フィクションの世界
- ⑭ カット表現の融通（柔軟）性と多様さで、アニメの映像がとても効果的になったのだ。
- ⑮ 日本のアニメのストーリーは複雑にいりくんでいる。キャラクターのイメージは魅力に富み、複雑な感情も内に秘めている。そして作品自体に深いメッセージが込められている。
- ⑯ 少年サッカー選手が相手のゴールキーパーの守りを破り、シュートを決める「キャプテン翼」
- ⑰ 怪しげな（うさんくさい）人物たちを取り巻き、繰り広げられる奇想天外なストーリー

- ⑱ 少年院から出てきた一匹狼の少年が強いボクサーへと成長する物語、
- ⑲ 暴走族
- ⑳ 神出鬼没の泥棒一味と、手錠を投げながら彼らを追いかける刑事の対決など、

三鷹の森ジブリ美術館

- ① 付属施設
- ② 館内には案内（見取）図などなく、また見学ルートはまるで迷路のようだ。
- ③ 扉を開いた瞬間、
- ④ 子供たちは上に乗ってぴよんぴよん跳んだりはねたり、思い切り猫の尻尾を引っ張ったりして、猫バスのやわらかい乗り心地を堪能して/楽しんでいる。
- ⑤ これと一緒に記念写真をとる見学者も少なくない
- ⑥ キャラクターの輪郭をスケッチし/デッサンし/さっと描いた下書きや、それを基にして細かいところまで描いた清書の（最終）原稿
- ⑦ 筆者の脳裏に/頭の中に、宮崎駿が机の前で一生懸命構想を練っている情景がふと浮かんだ。

アニメの杜すぎなみ構想

- ① 杉並区役所はアニメ制作会社の後押し（応援/サポート/バックアップ）して、アニメ制作会社を地元杉並区の基幹（地場）産業とし、「アニメの杜すぎなみ構想」という活動/プロジェクトを展開している。
- ② アニメアーカイブ/アニメライブラリー
- ③ 杉並区は制作会社およびベンチャー企業と手を結び（連携し）、新しい活力をみなぎらせている。
- ④ 区が開いたアニメ塾が生徒募集を始めた。
- ⑤ 物以類聚 類は友を呼ぶ
- ⑥ アジアのいわゆるサブカルチャーのなかで、日本が韓国ドラマや香港の映画に対抗できるのは、なんといってもアニメだ/アニメをおいてほかにはない。

中国人と日本のアニメ

- ① テレビ局/放送局も「一休さん」、「ドラえもん」などの名作を放映し始めた。
- ② 禅の思想をテーマとし、頭を丸めた小僧さん、一休さんが俗世間を離れた和尚さんのもとで修行をする。テルテル坊主を母親とみなし、いつものとんちで難問を解決する。
- ③ 声優の吹きかえ/アフレコもうまく、さらに何度も再放送されたので、
- ④ 昔からある子供用の小さな劇画
- ⑤ しかしいずれも誤植、誤訳だらけの「パクリ（海賊版/コピー）」だった。
- ⑥ 「一冊買ったなら一冊おまけ（サービス）」というような投げ売りをする商人がたくさん

いた。

70 これらの「ヤミ/違法」出版社にとって著作権（知的所有権）などは取るに足らぬ些細なことであった。

- ⑦ 政府当局もこれに対し、見てみぬふりを続け、海賊版を摘発することはほとんどなかった。
- ⑧ 著作権の意味（なんたるか）を知らない子供たちにとっては、正規版と海賊版の違いはほとんどなく、何倍も値が張る正規版はかえって「ぼったくり/詐欺」だと思われた。
- ⑨ これらはみな WTO の条項に抵触/違反するため、中国政府もやっと本格的に偽物の摘発（取締り）を始めた。
- ⑩ 中国が WTO に加盟するまで、うまい汁を吸って利益を得ていた違法出版社はしばらく鳴りを潜めた。
- ⑪ 塞翁失馬 塞翁が馬 どのような結果になるかあとにならないとわからない。
- ⑫ 四次元空間（世界）
- ⑬ 意気地なし（臆病）で泣き虫だが気は優しいのび太、金持ちでひけらかし（見せびらかし）てばかりいる、裏表のある少年スネ夫、いじめっ子のジャイアン、
- ⑭ 少年たちの片思いの相手であるしずかちゃん
- ⑮ 部屋には押入れとふすま（障子）がある
- ⑯ 二枚の丸いパンケーキ（スポンジ）の間にあんこをはさんだお菓子
- ⑰ 八十年代生まれ、九十年代（平成）生まれ
- ⑱ 若いネットユーザーたち
- ⑲ 「初音ミク」はヤマハが開発して売り出したバーチャルな女性歌手のソフトのなかでも一番有名なキャラクターである。
- ⑳ ジェネレーションギャップ
- 21 「日本製品ボイコット(不買運動)」

「かわいさ」の中に潜むもの

- ① 羊たちを食べたがる妻に頭の上がない/尻に敷かれた灰太狼一家は悪役だ。
- ② 灰太狼夫婦がいつも負けるというドタバタ劇は、金太郎飴のよう/ワンパターン/マンネリ/紋切り型ではあるが
- ③ 原作のストーリーは以下の通りである。アンパンマンはおなかがぺこぺこで倒れそうな人を見るとつぎはぎのマントをなびかせ低空飛行をし、あんパンを届けに行くおじさんである。
- ④ 子どもにはソフトクリームの方がいいと言われる。
- ⑤ 砂漠や森の中で日が暮れて行き場のなくなった人たちにあんパンでできた自分の頭を食べさせる。
- ⑥ 頭がなくなってもパン屋のジャムおじさんに新しいパンを焼いてもらえばいいのだ。

- ⑦ 若い頃戦争で飢えにさいなまれた作者は、「正義」とは決してかっこうよいものではなく、「我が身を捨てても正義を貫く」精神の持ち主こそ本当の英雄であると考えた。
- ⑧ 人間の身勝手に引き起こした公害によって生きていく場を奪われた妖怪たちが人間に対して復讐をする。
- ⑨ 六十年代に漫画化されたとき、鬼太郎は皮肉めいていてぞっとするような冷たい表情をしていた。これは時にはニヒルで時には社会を風刺した大人向けの漫画だった。
- ⑩ 妖怪の目を通して不条理な社会に憤る彼の人生観や世界観
- ⑪ 正義は必ず勝つ
- ⑫ 本来の鬼太郎が持っていた「陰の/暗い一面」は準主役のねずみ男が受け持つことになった。
- ⑬ アンパンマンの「ダサカワ」と片目の鬼太郎のもつ「キモカワ」
- ⑭ グロカワ
- ⑮ 「カワイさ」が明るい物とみられるとするならば、「ダサさ」「キモさ」「グロテスク」というのは暗い性質を持つ。
- ⑯ 明るさと暗さを兼ね備えたキャラクターを好み、国民的英雄に仕立て上げる
- ⑰ 決して万人受けするものではない。
- ⑱ ファンたちはそのうちキャラクターの生まれた背景や作者の願い、哲学などを感じるだろう。
- ⑲ 日本人は完璧な物を好むのではなく、傷や欠点の中にかわいらしさを見いだすのだ。

中国語で学ぶ日本②アニメ

単語表現帳 氏名

1 ラーメン屋/喫茶店/美容室/ (病院の) 待合室	
1 コミック/2 本でぎっしりだ (成語) /4 子供っぽい	
5 びっくり仰天だ/6 方法は異なれど結果は同じだ (成語)	
1 アニメ作品の先駆けは1917年にさかのぼる。	
2 採算がとれぬ (成語) /コスト割れする	
3 市民権を得る/4 実験的芸術作品/5 若者にアピールする	
6 ポテンシャル/7 勧善懲悪 (成語) /8 正義は勝つ (成語)	
9 味気ない/10 ちらほら垣間見られる	
11 悪習に染まる (成語) 12 削除/13 フィクション	
16 ゴールキーパー/シュートを決める	
17 まともではない (成語) /奇想天外 (成語)	
18 少年院/一匹狼 (成語) /ボクサー/19 暴走族/20 手錠/刑事	
1 付属施設/2 案内図/迷路のようだ (成語)	
4 ぴよんぴよん飛び跳ねる/6 輪郭をデッサンする	
6 下書き/細かいところまで (成語) /清書	
1 役所/バックアップする/基幹産業	
2 アーカイブ/3 ベンチャー企業と連携する	
4 生徒募集/5 類は友を呼ぶ (成語) /6 サブカルチャー	
6 韓国ドラマに対抗できるのはなんといってもアニメだ	
1 放送局/放映する/2 禅の思想をテーマとする	

2 頭を丸める（成語）/テルテル坊主/とんち	
3 声優/再放送/5 誤植 ^{ごしよく} /誤訳/パクリ	
6 一冊買ったなら一冊おまけ/投げ売り	
70 知的所有権/取るに足らぬ（成語）	
7 政府当局/見て見ぬふりする（成語）/海賊版を摘発する	
8 著作権のなんたるかを知らない子供たち	
8 正規版/ぼったくり/9 WTO の条項に抵触する	
9 偽物の取り締まり/10 うまい汁を吸う	
10 利益をむさぼる/鳴りを潜 ^な める ^{ひそ} （成語）	
11 塞翁 ^{さいおう} が馬（成語）/12 四次元空間/13 意気地なし	
13 泣き虫/気がやさしい/ひけらかす/裏表がある人	
14 片思い/15 押入れ/ふすま/19 バーチャル	
16 どん焼き（20 字前後の中国語で説明）	
20 ジェネレーションギャップ/21 日本製品不買運動	
1 妻に頭の上がない夫/2 金太郎飴（成語）	
3 お腹がペコペコで倒れそう（成語）/つぎはぎのマント	
4 ソフトクリーム/5 日が暮れても行き場がない	
7 飢えにさいなまれる/我が身を捨て正義を貫く（成語）	
9 ぞっとするような冷たい表情/10 不条理な世の中を憤る	
11 正義は必ず勝つ（成語）/12 準主役	
16 明るさと暗さを兼ね備える/17 万人受けする	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本②②環境

モンゴルの砂漠化と日本の協力

- ① 加えて放牧により土壌はからからに干からび、
- ② 井戸水の枯渇、干ばつ（日照り）、地割れ
- ③ 非同小可 軽視できないほど深刻な
- ④ 円借款
- ⑤ 状況はますますひどくなる。
- ⑥ 玩忽职守 職務怠慢
- ⑦ 運用資金は「交際費/接待費」の名目で使いたい放題/湯水のように使う人もいる。さらにこの資金で個人的な借金の穴埋めをしたり運用資金をもらうために袖の下（賄賂）を渡したりする人さえいる。
- ⑧ 汚職行為
- ⑨ 視而不见 見てみぬふりをする
- ⑩ NGO
- ⑪ 口若悬河 立て板に水とばかりに（べらべらしゃべる）
- ⑫ ライフワーク
- ⑬ 本当の狙い（意図）は別のところにある（敵は本能寺にあり）
- ⑭ 果てしない荒野をユートピアのような森林に変えるのは、全く夢のまた夢、骨折り損のくたびれもうけだ。
- ⑮ 杯水车薪 焼け石に水
- ⑯ 无济于事 問題の解決にならない/手の施しようもない
- ⑰ 自分にできることは微々たる/些細なことにすぎないけれど、私には成功の自信がある
- ⑱ 情人眼里出西施 あばたまえくぼ
- ⑲ 胸有成竹 成功の見込みがある
- ⑳ 泰然自若として（落ち着き払って）いて、敬服（感服）させされた。

原発と日本人

- ① 尺有所短，寸有所長 長所と短所がある
- ② 周囲の町村からとてもねたまれる。
- ③ 原子炉のウランからとりだした(精製した)プルトニウムは、諸刃の剣である。
- ④ その損害は計り知れない
- ⑤ 電力会社は確信犯的に/都合のいいことばかり言っては煙に巻く。そしてその危険性については軽く見積もる/過小評価する。
- ⑥ 原発が「時限爆弾」であるという事実には口を閉ざす（つぐむ）。それどころか口々に自画自賛する

- ⑦ 注目を集めるために人騒がせな/大げさなことを言っているだけで、取り越し苦労・心配しすぎだ。
- ⑧ 本当に取るに足らぬことで大騒ぎしているだけならばよいのだが。
- ⑨ このままいけば行き詰る/未来がない/先が見えている。
- ⑩ 行方不明
- ⑪ 津波により福島原発の冷却システムは故障し/制御不能となり、放射能を漏らしてしまった。IAEA（国際原子力機構）はロシアのチェルノブイリ原発事故と同レベルであると判断した。
- ⑫ 大驚失色　大パニックに陥る
- ⑬ 電力会社はお茶を濁しても/なあなあで済まそうとしても、それまで提唱してきた「安全神話」ではつじつまを合わせられ（正当化でき）なくなった。
- ⑭ 当事者としての電力会社は、その原発を廃炉にしたりその他の地区の原発の設置をやめたりした際の巨額の損失や賠償金を憂いた。
- ⑮ 全国民が徹底的な/とことん追跡調査をするよう求めたが、会社側はこの案件に関して事の真相を明らかにしようとはしなかった。
- ⑯ 当机立断　即決即断
- ⑰ 一五一十　逐一ありのままに
- ⑱ ころころ変わる/二転三転する
- ⑲ 翌年政権が倒れた（政権交代した）。
- ⑳ 会社は末端の現場から生死を度外視する（顧みない）人を五十名選んで「決死隊」を組織した。彼らは手に小型（ポケットサイズ）の計量機（線量計）をもち、セシウムの濃度を測りながら、原発内の点検修理を行った。
- 21 堅忍不拔　じっと我慢して
- 22 永垂不朽　永遠に語り継がれる
- 23 慌てふためく被災者たち
- 24 火事場泥棒
- 25 家畜を飼う
- 26 先の見えぬ/見通しが立たぬ
- 27 かつとなった（頭に来た）被災者たちは態度がなってないだの誠意がないだのと社長の非をいちいちあげて責めた。
- 28 小さなミスが大惨事をもたらすのだ。
- 29 人災の要素もあるのだ。
- 30 世論調査
- 31 国際世論は大論争を引き起こし、反原発運動を改めて呼び起こした。
- 32 放射性廃棄物（使用済み核燃料）の処理方法は目下存在せず、密閉保存するしかないのだ。

神道と環境

- ① この世のものすべてを覆う/包み込む自然に真心を持って接する。
- ② 絶対普遍の真理/至極当然のこと
- ③ 命の源である青い海も、時には波が荒れ狂ったりもする。
- ④ 媽祖廟のような神社をたてる。
- ⑤ 科学分野に偏りすぎた。
- ⑥ 人々は天も恐れぬ態度でやりたい放題になった。
- ⑦ おごり高ぶる/傲慢な/身の程知らず
- ⑧ 自然は人間に痛みを訴えた/SOS を送った。しかしこの自然の悲痛な叫び声も人の心の奥には届かなかった。
- ⑨ 自分で自分の首を絞める
- ⑩ すぐには収まらぬ環境破壊を前にして、人類はなすすべがない。
- ⑪ 自然と仲良く共生/共存する
- ⑫ 将错就错 間違いを知りつつ改めない
- ⑬ 良心に背き、同じ過ちを犯す
- ⑭ 現代の便利な生活を捨てられ/抜け出せない。
- ⑮ 損得勘定をする/はかりにかける
- ⑯ 得不偿失 結局マイナスになる
- ⑰ 适可而止 ほどほどでやめておく
- ⑱ 昔のように人類の自然に対する崇拜の念が薄れているのではなからうか。

公害を妖怪とみなした日本人

- ① 溝の魚や（食用の）カエルなども鉱毒によって死に、同時に森林の乱伐によって周辺ははげ山となった。
- ② 前所未有 かつてない 未曾有の
- ③ 1960 年代の日本の GNP はアメリカに次ぐほどになりまさに我が世の春を迎えていた/順風満帆であった。
- ④ 光には影がつきものというが、それこそ工業団地や自動車の排気ガスから出る光化学スモッグ、そして工場が出した水銀だった。これにより地元の人々が「公害病」にかかったのだ。
- ⑤ 取り返しのつかない公害は、経済発展の陰に隠された環境保護問題を告発した。
- ⑥ 日本政府は国民の健康な暮らしを犠牲にしてまでも企業の利益追求のほうを重要視した結果、山や川に生かされてきた人々の暮らしを破壊していたのだ。
- ⑦ 人々は漁業を管轄する農林省/農林水産省に事態の解決を求めに行ったが、そこでは汚

染水の問題は管轄外だといわれた。そこで工業を管轄する通産省/経済産業省に行ったところ、健康問題は厚生省/厚生労働省の所管だと知らされた。

- ⑧ こうした「お役所仕事/事なかれ主義」なやり方や、お互いに責任をなすりつけられた/たらいまわしにされた被害者は耐えきれず、「怨」という文字を染めた黒い旗/幟を掲げて工場側の責任を追及することとなった。
- ⑨ 水質汚染の被害者たちの怒りが静まることはなかった。
- ⑩ 工場を訴えた/工場を相手に訴訟を起こした
- ⑪ 心の中ではこれも「山の神、海の神の祟り」によって引き起こされたと思っていた。
- ⑫ 「河童が泣いている」と書かれた看板
- ⑬ 沙悟浄のような容姿で、アヒルのような口をして、背中には亀の甲羅をせおい、頭には水がたまった皿が乗っている。
- ⑭ 高度経済成長期に我々はやりたい放題に自然破壊を行ってきたが、自然を軽視した報い/代償がこれらの「化け物」の逆襲だったのだ。
- ⑮ 妖怪によって汚染を許容する社会を断罪させたのだ。
- ⑯ 宇宙から飛んできた鉱物と汚染されたヘドロが融合して生まれた怪獣
- ⑰ 「環境庁/環境省」が成立し国連人間環境会議が行われた
- ⑱ 日本人は深刻な公害問題が起こってから、自然とともに共存する道を学び始めた。
- ⑲ そこで中国その他の環境汚染に悩まされる国々も自然と仲良く暮らす方法を学び、他山の石/反面教師としてほしいものだ。

中国語で学ぶ日本②環境

単語表現帳 氏名

1 からからに干からびる/2 井戸水の枯渇/干ばつ	
2 地割れ/3 軽視できぬほど深刻だ (成語)	
4 円借款/6 職務怠慢 (成語) /7 運用資金	
7 交際費/湯水のように使う (成語)	
7 個人的な借金の穴埋めをする/袖の下を渡す	
8 汚職行為/10 NGO/11 べらべらしゃべる (成語)	
12 ライフワーク/13 真意は別のところにある (成語)	
14 果てしない/ユートピア/夢のまた夢/	
14 骨折り損のくたびれ儲け/15 焼け石に水 (各成語)	
17 微々たるものだ (成語) /成功する自信がある	
18 あばたもえくぼ/18 成功の見込みがある (各成語)	
20 落ち着き払った (成語)	
1 一長一短がある (成語) /2 ねたむ/3 原子炉/ウラン	
3 プルトニウム/諸刃の剣/5 電力会社/確信犯的だ (成語)	
5 煙に巻く (成語) /過小評価する/6 時限爆弾	
6 口を閉ざす/口々に自画自賛する (各成語)	
7 注目されるために大げさなことをいう (成語)	
7 取り越し苦労/8 取るに足らぬことで騒ぐ (各成語)	
8 そうならよいのだが/9 行き詰る (成語)	
10 行方不明/11 制御不能/放射能/ I A E A	

12 大パニックに陥る/13 お茶を濁す (各成語)	
13 正当化する (成語) /14 当事者/廃炉にする	
15 全国民が徹底的な追跡調査をするよう求めた。	
15 事の真相を明らかにする/16 即決即断 (各成語)	
17 逐一ありのまま/18 ころころ変わる (各成語)	
19 政権が倒れる/20 生死を度外視する (成語)	
20 末端の現場/決死隊/ポケットサイズ/計量機	
20 セシウム/点検修理/21 じっと我慢する (成語)	
22 永遠に語りつがれる/23 慌てふためく (各成語)	
24 火事場泥棒 (成語) /25 家畜を飼う/26 先が見えない	
27 かつとなる (成語) /28 小さなミスが大惨事をもたらす	
29 人災の要素/30 世論調査/31 国際世論/議論を巻き起こす	
32 放射性廃棄物/密閉する/	
1 真心で接する/2 絶対不変の真理/3 命の源たる青い海	
3 波が荒れ狂う /5 科学に偏る/6 天をも恐れぬ (成語)	
6 やりたい放題/7 身の程知らず/8 痛みを訴える	
9 自分で自分の首を絞める/11 仲良く共存する	
12 間違いを知りつつ改めぬ/13 良心にそむく (各成語)	
13 同じ過ちを犯す/15 損得勘定する (各成語)	
16 結局マイナスになる/17 ほどほどでやめる (各成語)	
1 (食用) カエル/乱伐/はげ山/2 未曾有の (成語)	

3 我が世の春を迎える/4 光には影がつきものだ	
4 工業団地/排気ガス/光化学スモッグ/水銀	
5 取り返しのつかない（成語）/告発する	
6 山や川に行かされて生きる人/7 農林水産省	
7 管轄外/経産省/厚労省/8 お役所仕事/たらいまわしにする	
9 怒りを鎮める/10 工場を訴える/12（告知用）看板	
13 亀の甲羅/14 自然を軽視した報い/化け物（成語）	
15 汚染を許容する社会を断罪する/16 宇宙から飛んでくる	
17 環境省	

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑳技術

ものづくり一職人という生き方

- 1 立派な人間は知的労働につき、つまらぬ人間は肉体労働につく
- 2 腕がいい。
- 3 普通子供には別の道を歩ませ（鞍替えさせ）、学問をして役人に（宮仕え）させることで家名をとどろかせようとした。
- 4 子供に家業を継がせ、技術を後世に残すことを願うものはほとんどいなかった。
- 5 仕事をするには正確さや完璧さが求められる。
- 6 互いに張り切って腕比べをし、（技を競い/切磋琢磨して）
- 7 出神入化 神業に達する
- 8 「名人」といっても決して著名人をさすわけではない。
- 9 老马识途 亀の甲より年の功 /経験がモノを言う
- 10 熟練した/匠の技を持つ職人こそ「名人」と呼ばれるのにふさわしいのだ。
- 11 人々（民衆）はお得意さん（リピーター/常連客）として、彼らの手仕事を支えた（ひいきにした/応援した。）
- 12 なじみ（ひいき）の客
- 13 先代からの付き合い
- 14 好循環
- 15 不動の地位を占める
- 16 巧奪天工 神業/天のなせる技をしのぐほど

日本車開発奮闘記

- ① 流れ作業
- ② ボディー(車体)に、ヘッドライトやテールランプ、ワイパーなどの各部品をとりつける分業
- ③ リニアモーターカー
- ④ 一蹴而就 一朝一夕（あっという間）にできる
- ⑤ アメリカの大型車はすすい進むが、日本車はアクセルを踏みこんでもスピードはさっぱり上がらない。
- ⑥ モーターはびっくりするほどの音を出し、ドライバーと助手席の人の会話は叫びあっているかのようだった。
- ⑦ ドライバーが急ハンドルや急ブレーキをしてもいないのに、ボディーはガタガタ揺れだして、ドライバーはハンドルをさばききれない。突然ドライバーの視界がふさがれ

(遮られ)た。

- ⑧ ブリキ/トタンのようにペラペラのボンネットのフックがゆるみ、フロントガラスの上にはね上がってしまった。しばらくするとなぜか急にエンスト/エンコして、車も動かなくなって/とまってしまった。
- ⑨ エアバッグも開発されていない当時のこと、日本車はアメリカでは「使い捨て自動車」とみられていた。
- ⑩ どんなに運転技術(ドライブテクニック)が高いドライバーでも「万が一のことがあったら・・・」と思うと日本車を運転する気になれなかった。
- ⑪ 巨額の資金を投入し研究に力を入れた。
- ⑫ エンジニアたちは空気抵抗について何度も繰り返し実験し、スプリング(バネ)、チェーン、防音材の改良等の改善に努めた。
- ⑬ 大型車と比べ機能的に勝るとも劣らない小型車
- ⑭ コンパクトだが必要なものはそろっている
- ⑮ 烟消云散 雲散霧消/消えてなくなる
- ⑯ 人々が我も我もと(争って)買い求めるトヨタカローラなど、外貨のドル箱商品
- ⑰ 鉄樹开花 西からのぼった太陽が東に沈むような/ありえないこと
- ⑱ それに伴い米国政府は輸入超過(貿易赤字)に悩まされるようになった。
- ⑲ 日本車をたたきこわす。

歩留り 100

- ① 比比皆是 全てそうだ/挙げればきりが無い
- ② きちんと仕事をしあげ、うまずたゆまず/こつこつ難関/ハードルを一つ一つ乗り越え、
- ③ 「歩留まり 100%」
- ④ 「欠陥品ゼロ」
- ⑤ 何百ものプロセスをもつ大量生産ラインにおいて、
- ⑥ 重箱の隅をつつくようだ/細かいことにこだわる
- ⑦ 品質チェックの担当者は検査に余念がない(念入りに検査する)。これはサンプル/抜き取り検査ではない。
- ⑧ 労働者たちの仕事はきちんとした規律に従っていて、無駄な動きもなく、無用な音もたてない。
- ⑨ もちろん無駄口をたたく(おしゃべりする/油を売る)時間などなおさらない。
- ⑩ 目が回りそうなほど忙しい(てんてこ舞いする/猫の手も借りたい)
- ⑪ 勤勉こそ国民が持つべき体質(気質/国民のあるべき姿/あるべき国民性)であり、だから国内では労働争議(ストライキ)があまりおこらなかった。
- ⑫ 根深蒂固 根強い・根深い
- ⑬ 永无止境 際限ない

MEGA WEB

- ① 案ずるより産むがやすし/やってみれば何とかなるものだ
- ② トヨタ自動車の本社はここにある
- ③ 堅実な（地に足がついている）
- ④ ショールーム
- ⑤ ワゴン車、消防車
- ⑥ オープンカー、キャンピングカー、レーシングカー
- ⑦ ハンドル、ブレーキペダル、ハンドブレーキ以外にも、バックミラー、スピードメーター、シフトレバーなどの位置も普通の乗用車とは異なる。
- ⑧ 自動車学校（教習所）に通ったことのない人も運転できる、自動制御の交通システム施設。
- ⑨ わき見運転や居眠り運転でさえもぶつからず、全く恐れ入った（頭が下がる・兜を脱ぐ。感心させられた。）

ロボット大国日本

- ① 工場内の各種産業ロボットや、田んぼで動かす田植え機や稲刈り機/コンバイン等も、考えてみるとロボットのうちになる。
- ② 二足歩行ロボットもあり、それはしりもちをついても自分で立ち上がることができるのだ。
- ③ それは車椅子を押したり、お茶を出したりできる。
- ④ 会社はロボットに労災をかけなくていい。
- ⑤ ロボットのランニング/運用コストと減価償却を加味（加算）しても
- ⑥ 自分が遅かれ早かれロボットに仕事を奪われると心配する人々もいる。
- ⑦ 老後の生活のヘルパー/アシスタント
- ⑧ 身寄りのないお年よりたちの自活（自立した生活）
- ⑨ 自動車を買うように人型ロボットを買えるようになったら躊躇せずに一台購入するひとも増えるだろう。
- ⑩ ロボットができないことでも、われわれ人間にはできるのだ。
- ⑪ 心照不宣 以心伝心/言わなくても伝わる
- ⑫ 不即不离 つかず離れず

技術者の町、浜松

- ① 「技術者の町/ものづくりの町」の名に恥じない
- ② 彼らには骨の髄から/心底 武士道と教育を重んじる。
- ③ 「出世城」

- ④ 江戸幕府に仕える諸大名のなかで浜松城の存在は高まった。後にはかなり高い確率で政治をつかさどる「老中」になれたからだ。
- ⑤ 彼の目はずっと江戸幕府のほうを向いており、浜松の藩政に関しては二の次だった/無関心だった。
- ⑥ 藩主/お上に頼らず、独立独歩/自らの力を頼りに切り開いていくという進取の精神
- ⑦ このような精神が大きく花を咲かせたのだ。
- ⑧ 職人的な直感で自動織機を発明した豊田佐吉もここで生まれた。
- ⑨ オートバイや自動車の研究開発をした。
- ⑩ 世界屈指の軽自動車
- ⑪ 浜松小学校のオルガンを修理したことをきっかけにオルガンの構造を理解した。
- ⑫ これが世界シェア一位のヤマハピアノである。
- ⑬ ヤマハで製造法を身に付けてから独立した
- ⑭ 四歳の時にかいだガソリンの匂いが忘れられず
- ⑮ ガソリントankも現地の湯たんぼ職人が作ったものだそうで、何から何まで浜松製だった。
- ⑯ 楽器からバイクに鞍替え/転身したヤマハなどの会社は畑違いの分野においても確かな技術によって転身に成功を取ってきた。
- ⑰ 「武士道」と既成の身分にあぐらをかき、民の暮らしを顧みない藩主にはそっぽを向き/愛想をつかし/自分の道を歩まざるを得なかった。

中国語で学ぶ日本②③技術

単語表現帳 氏名

2 腕がいい/3 鞍替える (成語) /	
3 学問をして役人になる/家名をとどろかす (各成語)	
5 正確さを求める (成語) /6 切磋琢磨する	
7 神業に達する (成語) /8 著名人	
9 経験がモノをいう (成語) /10~と呼ぶにふさわしい	
11 リピーター/ (人の仕事を) 応援する/12 なじみの客	
13 先代からの付き合い/14 好循環/	
15 不動の地位にある/16 神業 (各成語)	
1 流れ作業/2 ヘッドライト/テールランプ/ワイパー	
2 分業/3 リニアモーターカー/4 一朝一夕に出来る (成語)	
5 すいすい進む (成語) /アクセルを踏み込む	
5 スピードはあがらない/6 モーター/騒音	
7 急ハンドル/急ブレーキ/車体がガタガタする	
7 ハンドルをさばききれぬ/視界がふさがれる	
8 ブリキのようにペラペラのボンネットのフックが緩む	
8 フロントガラス/8 エンスト/車が停ってしまう	
9 エアバッグ/使い捨て/10 運転技術	
10 万が一のことがあったら/11 研究に力を入れる	
12 空気抵抗/スプリング、チェーン、防音材などの改良	

13 勝るとも劣らぬ/14 コンパクトだが何でもそろろう	
15 消えてなくなる/16 我も我もと買い求める（各成語）	
16 外貨のドル箱/17 ありえないこと（成語）	
18 それに伴い/米国政府は輸入超過に悩まされ始めた。	
19 たたきこわす	
1 挙げればきりが無い/2 きちんと仕事をする（各成語）	
2 うまずたゆまず（成語）/ハードルを乗り越える	
3 歩留り/4 欠陥品/5 大量生産ライン	
6 重箱の隅をつつくようだ（成語）/7 品質チェック	
7 余念がない（成語）/サンプル調査	
8 きちんと規律に従う（成語）/無駄なく	
10 油を売る時間などなおさらない/10 猫の手も借りたい	
11 労働争議/12 根強い（成語）13 際限ない（成語）	
1 やってみれば何とかなる（成語）/2 本社はここにある	
3 地に足がついた/4 ショールーム/5 ワゴン車	
5 消防車/6 オープンカー/キャンピングカー	
6 レーシングカー/7 ブレーキペダル/ハンドブレーキ	
7 バックミラー/スピードメーター/シフトレバー	
7 乗用車/8 自動車教習所/自動制御/9 わき見運転	
9 居眠り運転でさえぶつからない/恐れ入る（成語）	
1 産業用ロボット/田植え機/稲刈り器/2 二足歩行	

2 しりもちをつく/3 車いすを押す/お茶を出す	
4 労災をかける/5 ランニングコスト/減価償却	
6 遅かれ早かれ/仕事を奪われる/7 ヘルパー	
8 身寄りのない/9 躊躇せず（各成語）	
10 ロボットにできないことも我々人類にはできる	
11 言わなくてもわかる/12 つかず離れず（各成語）	
1～の名に恥じない/2 心底/3 出世（成語） /	
4 幕府に仕える諸大名/老中/5～に無関心だ	
6 独立独歩/7 大きく花を咲かせる（各成語）	
8 職人的な直感で/10 世界屈指の軽自動車/11 オルガン	
12 世界シェア一位/13 製造法を身に着けてから独立する	
15 湯たんぽ/何から何まで（成語） /16 鞍替えする	
16 畑違いの分野/17 既成の身分にあぐらをかく	
17 愛想をつかす	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本②④現代社会

連合国による占領

- 1 追い詰められた
- 2 改邪归正 悔い改める・足を洗う
- 3 一からやり直す
- 4 救援物資を送る
- 5 銃器や弾薬など
- 6 悪の温床（諸悪の根源・元凶）
- 7 命（怖いもの）知らず
- 8 極東国際軍事裁判（東京裁判）。すなわち連合国の裁判長および裁判官が日本の「軍国主義者」を裁いた。そして絞首刑や無期懲役などの罪に処された。
- 9 光天化日 白日の下にさらされる/明るみになる
- 10 罪状を取り調べるため、証人に聞き込み調査をしたり、戦犯の家宅捜索をしたりした。
- 11 家丑不可外揚 内輪の恥/罪はさらすべきではない
- 12 自らの行動が後ろめたく/行動にびくびくし、有罪を恐れた多くの人々は犯罪の証拠をひとまとめにして焼いてしまった。
- 13 連合軍のご機嫌を取る者もいれば、悪の権化たる軍国主義者にそそのかされてやったと言う者もいた。また腹の探り合いをしたり陰でだましあったり、心にやましいこともなく（悪びれず）、正々堂々と申し開き（釈明/身の潔白の証明）をする人たちもいた。
- 14 連座し（巻き込まれ/巻き添えを食って）て刑務所にいれられ/投獄された後に罪を帳消しに（相殺）された
- 15 若无其事 何食わぬ顔で
- 16 日本側のかたをもった（を擁護した/の味方をした）わけではない。
- 17 証言において多少の食い違いがあったり、また確証/確固たる証拠にとぼしくとも、おざなりな判決が出されたりして、
- 18 心服口服 心から納得がいく
- 19 勝てば官軍、負ければ賊軍
- 20 カメレオン
- 21 状況を見て態度をころりと変え、外国にこびへつらう。
- 22 労働組合制度
- 23 春闘
- 24 昇給（ベースアップ）
- 25 財閥解体
- 26 独占禁止法

- 27 連合軍は農地改革を行い、地主の土地を買い上げ（有償で購入し）て小作農民に分配し（払い下げ）た。
- 27 戦争のせいで国民は極度の貧困に陥った。
- 28 身動きが取れない（にっちもさっちもいかない/八方ふさがり）
- 29 ベニヤ板や丸太でバラックを作った（建てた）浮浪者（ホームレス/ルンペン）のような負傷兵/傷い兵たちが物乞いをする。
- 30 政府はインフレを抑制/統制/コントロールしきれず、その上復員兵や引揚者（戦場や旧植民地から帰って来た人）も増え続けた。雇用状況は悪化の一途をたどり、臨時雇いの仕事さえない人がたくさんいたのだ。
- 31 このような状況を一変させた「恵みの雨（干天の慈雨）」はなんと（皮肉にも）朝鮮戦争だったのだ。
- 32 それにより商工業、特に原料加工を主とした工場や製鉄所、製油所など、多くの工場が一斉に復活/息を吹き返した。

戦後の発展とバブル経済

- ① 米中ソ三カ国三つ巴になった朝鮮戦争が休戦になる前
- ② 国連安保理は日本を加盟国として認めた
- ③ 経済的には飛躍的な（目覚ましい）発展をとげた。
- ④ 学生運動もおこり
- ⑤ 三種の神器
- ⑥ 第三次産業
- ⑦ 終値が最高値に達した/最高値を更新した。
- ⑧ 顧客に貸し付ける
- ⑨ 外国為替（レート）
- ⑩ 日本円の価値は二倍になり、
- ⑪ イギリスポンド
- ⑫ 土地転がし（投機目的に物件を売買）しようとした人たちも元が取れなくなった。
- ⑬ 返済が滞ったり、返済できなくなったりした債務者
債台高筑 債権が山積する/山積みになる
- ⑭ 相場も下がり（弱含みし）始めた。
- ⑮ 与党と野党/与野党
- ⑯ 国民の代弁者
- ⑰ 立候補者
- ⑱ 党内で推された首相たちのなかには、クリーンな政治を行った者もあれば、票集めしかしない者もあった。

少子化問題

- ① 働き盛り（現役）の世代は社会全体の大黒柱だった。
- ② 圧倒的多数の人は適齢期に結婚して子供を生んだものだ。
- ③ 大男大女 適齢期（婚期）を過ぎた男女
- ④ 反比例する。
- ⑤ 「友達以上、恋人未満」の関係を保ちたがる。
- ⑥ 大した問題ではない。
- ⑦ 仲睦まじいカップル
- ⑧ 「結婚できない男女」
- ⑨ 赤ちゃんの出生率がまたもや最低記録を更新し、同年日本は人口マイナス成長国の仲間入りをした。
- ⑩ できちゃった婚/授かり婚
- ⑪ 四十歳を過ぎても婚活をする
- ⑫ 少子化という問題
- ⑬ 雨後送傘 後の祭り/手遅れ
- ⑭ 換湯不換薬 根本は変わらない/抜本的改革がなされない

高齢化社会

- ① 知的障害者、ろうあ者、身体障がい者といった社会的弱者
- ② 生活が困窮した人たちに対する生活保護の問題など
- ③ 百歳を超えるお年寄り
- ④ 還暦や古稀を過ぎたお年寄りなどはまだ年寄りのうちではなく、「生涯現役」が現代社会のスローガンとなった。
- ⑤ 気がかりなことがあるため、不眠症で悩む。
- ⑥ たとえ毎月年金がもらえても、また寿命がさらに延びたとしても、老人ホームの病室で寝たきりになっていたら「死刑執行猶予（生殺し/ただ生きているだけ）」となんら変わらない。
- ⑦ 老当益壮 老いてますます盛ん
- ⑧ 放送大学、すなわち通信制大学
- ⑨ 幅広い視野で世界を見たい。
- ⑩ 生涯教育/学習
- ⑪ 若者に養ってもらわなくても
- ⑫ 彼らのシルバーパワーが発揮できる/昔取った杵柄
- ⑬ 老成持重 年だけに冷静沈着だ

育児に学ぶ

- ① 四十を過ぎてから人の子の父となり、子育てに参加し始めた。
- ② 育児を通して日本社会の知られざる一面を知ることとなった。
- ③ 入園にも優先順位があり、共働きや障害者、シングルマザー、祖父母から遠く離れているために子どもを見てもらえないなど、様々な原因から家庭で育児ができない状況をポイント化して各世帯に点数をつける。
- ④ 最後尾に回される。
- ⑤ 九時半に電話をしても話し中だ。
- ⑥ 毎回電話する数分前はイライラ/どきどきする/いても立ってもいられぬ。
- ⑦ 代理購入する人がたくさん現われ、大量の紙おむつを買い占めておき/買えるだけ買っておき、転売して利益を得る。そこで各ドラッグストアでは花王メリーズの購入数を制限したりした。
- ⑧ 一人一日二パックまでとなったが、早く行かないと品切れとなる。
- ⑨ バリアフリー道路の大切さを知ると同時に点字ブロックがベビーカーや車いすにとって障害になることも分かった。
- ⑩ ベビーカーを押して満員列車に乗るとき、周囲から冷たい視線を感じるのも事実である。
- ⑪ 子連れのお母さんを見たときには、自然に助けの手を差し伸べようとするのも「同じ悩みを持っている者同士」だからであろう。
- ⑫ 筆者はおむつに「しまじろう」のイラストが印刷されているのを見たときは、このようなビジネス戦略/マーケティング手法にお手上げだった/一本とられた。
- ⑬ 子どもが二歳になったらその会社の教育用 DVD を見たがり、教材を定期購入するのだ。
- ⑭ これは将来、我が子が英語ペラペラなグローバル人材になってほしいという夢を利用したビジネスのやり方/マーケティング手法だ。
- ⑮ これは子どもの好きなものを熟知した商売の仕方/マーケティング戦略だ。
- ⑯ 儒学とは父から子に、子から孫に伝わる血縁関係の中で心の安らぎを求める思想である。
- ⑰ 三大親不孝の最たるものが、跡継ぎがないことだ
- ⑱ よちよち歩きの息子
- ⑲ 祖父の墓に向かって両手を合わせ、墓参りをしながら言った。「私が死んでからも墓参りをしてくれる者がいるよ。/無縁仏にならなくてすんだね。」
- ⑳ DNA のリレー/バトンタッチ

中国語で学ぶ日本②④現代社会 単語表現帳 氏名

1 追い詰められる/2 悔い改める（成語）	
3 一からやり直す/4 救援物資を送る/6 諸悪の根源/	
7 命知らず/8 裁判長/裁判官/絞首刑/無期懲役	
9 明るみに出る（成語）/10 聞き込み調査する	
10 家宅搜索する/11 内輪の恥はさせない（成語）	
12 後ろめたい（成語）/13 ご機嫌をとる/悪の権化 ^{ごんげ}	
13 軍国主義者にそそのかされてやった。	
13 腹の探り合いをする（成語）/陰でだましあう	
13 悪びれない/申し開きする/14 巻き添えで入獄する	
14 罪を帳消しにする/15 何食わぬ顔で（成語）	
16 日本側の肩をもつ/17 証言において多少食い違う	
17 確固たる証拠に乏しくともおざなりに判決が下る	
18 納得がいく 19 勝てば官軍負ければ賊軍（各成語）	
21 カメレオン/21 状況を見て態度を変える（成語）	
21 外国にこびへつらう（成語）/22 労組/23 春闘	
24 昇給/25 財閥解体/26 独占禁止法/27 農地改革	
27 地主の土地を買い上げ、小作農に払い下げる	
28 にっちもさっちもいかぬ（成語）/29 ベニヤ板	
29 バラック/ホームレス/物乞い/30 インフレ	
30 臨時雇い/31 状況を一変させる/恵みの雨	

32 製鉄所/製油所/一斉に息を吹き返す（成語）	
1 三国が三つ巴になる/休戦/2 国連安保理/加盟国	
3 目覚ましい発展/4 学生運動がおこる/5 三種の神器（比喻）	
7 ^{おわりお} 終値/8 顧客に貸し付ける/9 外国為替	
10 円の価値が倍になる/11 ポンド/12 土地転がし	
12 元をとる/11 返済が ^{とどこお} 滞る/債務が返済できない	
13 債権が山積する（成語）/14 相場が下がる	
15 与野党/16 国民の代弁者/17 立候補者	
18 根回しする/口裏を合わせる/棚上げになる（各成語）	
18 クリーンな政治/票集め	
1 現役世代/大黒柱/2 圧倒的多数の人/適齢期	
3.8 婚期を過ぎた男女（成語）/4 反比例する	
5 友達以上、恋人未満/6 大したことではない	
7 ^{なかむつ} 仲睦まじいカップル/9 マイナス成長/10 ^{さず} 授かり婚	
11 婚活/12 少子化問題/13 後の祭り（成語）	
14 抜本的改革にならない（成語）	
1 知的障害者/ろうあ者/社会的弱者/2 生活保護	
3 百歳を超えるお年寄り/4 還暦/生涯現役	
5 気がかりだ（成語）/不眠症/6 年金を受け取る	
7 老人ホームの病室で寝たきりになる	

6 死刑執行猶予（生殺し）/なんら変わらない/	
7 老いてますます盛ん（成語）/8 通信制大学/	
10 生涯教育/11 若者に養ってもらう/	
12 シルバーパワーを発揮する/13 年だけに冷静沈着だ（成語）	
1 四十を過ぎてから/2 知られざる一面/3 優先順位	
3 共働き/シングルマザー/ポイント化する/点数をつける	
4 最後尾に回される/5 電話をしても話し中だ	
6 いらいらする（成語）/7 買い占めて転売する	
7 購入数を制限する/8 品切れになる/9 バリアフリー	
9 点字ブロック/11 同じ悩みを持っている者同士（成語）	
12 このようなマーケティング手法にはお手上げだ	
13 DVD/定期購入/14 グローバル人材/	
16 父から子に、子から孫に伝わる血縁	
17 跡継ぎがないのが最大の親不孝だ（成語）	
18 よちよち歩きの/19 両手を合わせる/20 DNA	

通訳案内士試験 中国語で学ぶ日本②⑤観光実務

出迎え

- 1 さあ、皆様お揃いになりましたので、出発前に何点かお知らせがございます。
- 2 もう少し近くにお集まりください。
- 3 (車両の) トランクルーム
- 4 これから到着ロビーを出て、そとのバスに乗ります。皆様各自のお荷物をお持ちください。私のご案内いたします。
- 5 空港内のカートはあちらにお願いします。

空港からホテルへ

- ① 皆様おそろいですね。スーツケースも積み込み(積み終え)ました。
- ② 皆様、長旅(遠方)お疲れ様でした。
- ③ 私は日本側の手配(受入れ会社/ランドオペレーター)を代表し、改めましてみなさまのご訪問を歓迎いたします。中国側の添乗員(ツアコン)とともに精一杯皆様のお世話/ご案内をしたいと思っております。
- ④ 道中至らぬところもあるかと存じますが、どうかご了承/よろしく願いいたします。
- ⑤ ご意見ご要望などがございましたら、その都度どうかご遠慮なくお申しつけください。
- ⑥ 皆様の貴重なご意見を拝聴し(謹んで承り)、改善に努めたいと存じます。
- ⑦ 入郷随俗 郷に入りては郷に従え

注意事項

- ① 皆様、腕時計を1時間早めて(進めて)ください。
- ② 空港やホテル、各観光地では様々なバスやリムジンが停車しておりますが、みな似たような形をしています。
- ③ ナンバープレート(プレートナンバー/車番)
- ④ 赤信号にご注意いただき、青になるのを確認してから、横断歩道をお渡りください。
- ⑤ 嫌煙権という意識が広がっています。
- ⑥ 歩きながらのおタバコは罰金に課されます
- ⑦ パスポートを提示すれば税の払い戻し手続きができます。
- ⑧ 普通は使用後のトイレットペーパーはトイレに入れて流します。
- ⑨ 交通渋滞(まひ)

日本の概況

- ① 北東から南西に延びた弓なりの(アーチ状の)島国

- ② そのうち最大の平野は関東平野で、その面積は北京市およびその郊外の面積に相当しません。

ホテルチェックイン

- ① プリンズホテル
- ② フロントは一階です
- ③ フロントの斜め向かいには両替所があります。本日のレートは1元〇〇円です。
- ④ カードキーをドアの近くのスロット/差し込み差し込むと電気がつきます。スイッチは押されなくても結構です。
- ⑤ クローゼットにある浴衣/バスローブは室内専用です。
- ⑥ 卓上/デスクには電気ポット（湯沸器）があり、無料の（サービスで）インスタントコーヒーとティーバッグのお茶をご用意してあります。
- ⑦ 貴重品に関しましては、室内の金庫（セーフティボックス）をご利用下さい。金庫は暗証番号（パスワード）で開きますので設定された番号をお忘れないうようお願いいたします。
- ⑧ 当ホテルには朝刊のサービスがございます
- ⑨ 浴室/バスルームにはシャンプー、リンス/トリートメント、ボディソープ（入浴剤）、ひげそりに歯磨きセットをご用意してあります。
- ⑩ バスタブにお湯を入れる（はる）ときにはどうか/くれぐれもお部屋を離れないようお願いいたします。さもないとお湯があふれて床が水浸しになるからです。
- ⑪ 入れ歯やコンタクトレンズ等
- ⑫ 客室内の電圧は110から220ボルトまでですので、中国の電気製品もそのままご使用いただけます。ただ、プラグ（コンセント）は平形の二つ穴だけです。
- ⑬ フロント/サービスセンターにて変換プラグ（アダプタ）をお求めください。
- ⑭ 当ホテルでは無線LAN/wi-fiが完備されています。
- ⑮ アイロンとアイロン台
- ⑯ タクシーをご利用の際は、タクシー乗り場がホテルの正門の外にございます。初乗り運賃は1キロ410円で、メーターで計算します。夜十時以降は二割の深夜料金が加算/プラスされます。
- ⑰ そこではEMS、航空便、船便などがご利用いただけます。
- ⑱ ハガキは郵便局の前にある赤いポストに直接投かんします。
- ⑲ 郵便局内のATMでは銀聯カードもご利用いただけますが、それ以外の中国のキャッシュカードはご利用いただけません。
- ⑳ 七時から三階のレストランでビュッフェ（朝食バイキング）をご利用いただけますので、ミールクーポン（朝食券）をお持ち下さい。
- 21 荷物をお持ちになりロビーに集合してから各自チェックアウトの手続きをお願いいたします。

ショッピング

- ① ディスカウントのドラッグストア
- ② 货真价实，物美价廉　品質も良く手ごろな
- ③ 謝恩セール/お客様感謝ウィーク
- ④ マスカラ、アイシャドウ、パック(マスク)などの化粧品
- ⑤ こちらは銀聯、visa、マスター、アメックス等のカードがご利用いただけます。
- ⑥ クレジットカード払い/でご決済のときは、店員がお客様に一括払いか分割払いかお尋ねします。
- ⑦ 海を埋立地にした
- ⑧ それをきっかけに政府は大規模な都市計画に着手しました。
- ⑨ 二、三階建てのレンガ造りの建物がそれまでの木造建築に取って代わり、防火の役割を果たしました。
- ⑩ ここは世界超一流（トップレベルの）ブランドの旗艦店（フラッグシップストア）が軒を連ねます/ずらりと並びます。
- ⑪ 続きましてみなさまお待ちかねの/待ちに待ったショッピングタイム（お買い物の時間）です。繰り返し申し上げます。集合時間は七時、集合場所はシティバンクと香港上海銀行（HSBC）の間の駐車場です。

見送り

- ① 私が出発ロビーの搭乗(チェックイン)カウンターで搭乗手続きを行います。
- ② 機内持ち込みの手荷物以外はみな預けます。
- ③ チケットを受け取られた方はお並びになり荷物をお預けください。そのあとで私はみなさまを出発ゲートにご案内/ご一緒/おつれします。
- ④ 本日皆様ご利用/搭乗の便名は〇〇、離陸時間は〇時〇分です。
- ⑤ まずはセキュリティ・チェックをお受けいただき、次に検疫（健康）カードをご記入いただき、最後に出入国管理局を通ります。
- ⑥ あとは添乗員が搭乗口までご案内いたします。
- ⑦ まずはファーストクラスのお客様と子連れの女性客にお乗りいただき、次にエコノミークラスのお客様にお乗りいただきます。
- ⑧ お粗末な歌でお恥ずかしい限りです（失礼しました）。
- ⑨ お気をつけてお帰り下さい/道中のご無事をお祈りします。

インバウンドと農村振興

- ① こんな辺鄙な農村で思い切って新しいことに挑戦しようと思ったきっかけ
- ② 枝葉の剪定／手入れはおろか、草花の名前され、あやふやだ。

- ③ 庭は生きた芸術品なので、定期的に剪定をしなければ数ヶ月後には草ぼうぼうで自然に帰ってしまう。
- ④ それなりの対価を得るためにも、私は一万平米の庭と日本家屋を、体験型ツアーを希望する海外の富裕層に貸し出すことを提案した。
- ⑤ 筆者の目指すところは「オンリーワン/オリジナリティ」である。
- ⑥ 築山や池のある庭にポータブルのバスタブを置く。
- ⑦ SNSに写真をアップすれば/載せれば注目を浴びるだろう。
- ⑧ 庭でテントを張ってキャンプするのも悪くない。
- ⑨ キャンプでみんなのテンションは上がり、忘れられない思い出となるだろう。そんなキャンプができる庭など、はばかりながら/自分の狭い見識では聞いたことがない。
- ⑩ 古くさい施設しかない国内の他のキャンプ場と差別化できる。
- ⑪ 風呂の水にも山水をひく。
- ⑫ あらかじめお客様に薪割りをしてもらい、お湯が冷めれば薪をくべてもらうのだ。
- ⑬ 自然を敬うライフスタイルを提唱するのは飲み食い中心の中国の「グリーンツーリズム」と差別化する／一線を画するためだ。
- ⑭ 月の光の反射を考慮／計算して建てられたものだ。
- ⑮ 地元の経済活性化のために／地元にお金を落とすために日帰りツアーを手配する。
- ⑯ トロッコ列車に乗って山奥に行く。
- ⑰ レンタサイクルで高低差 105m、半径 100m、長さ 2.4km のループ橋でサイクリングする。
- ⑱ ダム湖でカヌー／カヤックをこぐ。
- ⑲ スモッグ/PM2.5 の蔓延する中国の都会人にとっては新鮮な感じがするだろう。
- ⑳ ガイドは神主を兼任する。
- 21 インバウンド／訪日客誘致による農村振興プロジェクトが進行中である。

中国語で学ぶ日本②⑤観光実務 単語表現帳 氏名

1 皆様お揃いになりました。/お知らせ	
2 もう少し近くにお集まり下さい/3 トランクルーム	
4 到着ロビー/私をご案内します。	
5 カートはあちらにお願いします。	
1 スーツケース/3 改めて皆様の訪問を歓迎します	
3 中国側の添乗員とともに精一杯皆様のお世話をいたします。	
4 道中至らぬところもあるとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。	
5 ご意見ご要望などございましたら、くれぐれもご遠慮なくおっしゃってください。	
6 謹んで ^{つつし} 承 ^{うけたまわ} る/7 郷に入りては郷に従え（各成語）	
1 腕時計を一時間進める/2 空港リムジン	
2 皆似たような形をしている/3 ナンバープレート	
4 信号無視する/青になるのを確認する/横断歩道	
5 嫌煙権/6 罰金に科される/7 旅券を提示する	
8 使用後の紙をトイレに入れて流す/9 交通渋滞	
1 弓のような形をした島国/2 平野	
3 フロントの斜め向かいには両替所がある。	
3 本日のレートは1元16円です。	
4 カードキーをドアの近くの差込みにいれると電気がつく。	
5 クローゼット/6 卓上/湯沸かし器/インスタントコーヒー	

5 サービスでティーバッグのお茶が用意してある。	
7 セーフティボックス/パスワード/8 朝刊	
9 リンス/ひげそり/歯磨きセット/10 バスタブに湯をはる	
10 湯があふれ床が水浸しになる/11 入れ歯	
11 コンタクトレンズ/12 プラグ/13 アダプター	
14 当ホテルでは無線LANが完備されている。	
15 アイロン/アイロン台/16 タクシーを利用する	
16 タクシー乗り場/初乗り運賃/メーターで計算する	
16 深夜料金/17 EMS/航空便/船便/18 ポスト	
19 ATM/キャッシュカードを利用する/20 バイキング	
20 朝食券/21 チェックアウト	
1 ドラッグストア/2 品質も良く値段も手ごろだ（二種類の成語）	
3 謝恩セール/4 マスカラ/アイシャドウ/パック	
6 クレジットカード払い/一括払い/分割払い	
7 埋立地にする/8 これをきっかけに	
9 レンガ造りの建物/木造建築/10 超一流ブランド	
10 フラッグシップストア/ 11 皆様お待ちかねの	
11 繰り返し申し上げます	
1 搭乗カウンター/2 機内持ち込みの手荷物/預ける	
3 私が皆様を出発ゲートに案内します。	

4 本日皆様にご利用の便名は〇〇です。/離陸時間	
5 セキュリティ・チェック/ ^{けんえき} 検疫カード/出入国管理局	
7 ファーストクラス/エコノミークラス	
8 お粗末な歌で失礼しました。	
1 思い切って（成語）	
2 枝葉の剪定はおろか、草花の名前さえあやふやだ	
3 庭は生きた芸術品だ/定期的に剪定しないと草ボウボウになる	
4 それなりの対価を得るため/体験型旅行/富裕層	
5 オンリーワン/7SNS に写真をアップする/8 テントを張る	
9 テンションが上がる/10〜と差別化する/11 山みず	
12 薪割り/お湯が冷めたら薪をくべる	
13 グリーンツーリズムと一線を画する/15 日帰りツアー	
16 トロッコ列車に乗って山奥に行く/17 サイクリング	
18 カヌー/19 スモッグ/20 神主/21 プロジェクト	